

学会発表

Titles of Speeches at Scientific Meetings etc.

合田幸広：治験用新規生薬製剤の品質保証。
医療薬学フォーラム2022／第30回クリニカルファーマシーシンポジウム（2022.7.24）

合田幸広：生薬・生薬製剤の標準化と多成分系新規天然物医薬品への道。
日本生薬学会第68回年会（2022.9.10）

合田幸広：報告「品質保証に係るモノからの健康・医療へのアプローチ」について。
第96回日本薬理学会／日本臨床薬理学会学術総会公開シンポジウム「品質保証と創薬研究」（2022.12.2）

合田幸広：日本薬局方における定量NMRの実装における道のり。
日本薬学会143年会シンポジウム：医薬品，食品分野等における定量NMRの実装とこれから（2023.3.27）

吉田寛幸，阿部康弘，富田奈緒美，稲垣葵，栗田麻里，伊豆津健一：ジェネリック医薬品品質情報検討会における骨粗鬆症治療剤等の品質評価。
第55回日本薬剤師会学術大会（2022.10.09）

吉田寛幸，阿部康弘，富田奈緒美，伊豆津健一：溶出試験における試験液量（900 mLと1000 mL）の影響評価。
第59回全国衛生化学技術協議会（2022.10.31）

Hiroyuki Yoshida: Modernization and Strengthening of BE Guidelines in Japan.
4th International Symposium on BA/BE of Oral Drug Products（2022.11.19）

森田時生，吉田寛幸，阿部康弘，富田奈緒美，稲垣葵，伊豆津健一：後発医薬品の継続的な品質評価における溶出性変動の要因解析。
日本薬学会第143年会（2023.3.27）

山本朱莉^{*1}，荒井智貴^{*1}，森田時生，秋好健志^{*1,2}，今岡鮎子^{*1}，大谷壽一^{*1,2,3}：クランベリージュース中のフラボノイド類によるOATP1A2およびOATP2B1阻害活性の解析。
日本薬学会第143年会（2023.3.26）

^{*1} 慶應義塾大学薬学部

^{*2} 慶應義塾大学医学部

^{*3} 慶應義塾大学病院薬剤部

佐藤匠^{*}，羽石一輝^{*}，小出達夫，井上元基^{*}，深水啓朗^{*}：ラマン分光法を用いたリポソーム調製工程におけるin situリアルタイムモニタリング。
日本薬剤学会第37年会（2022.5.26）

^{*} 明治薬科大学

大橋令^{*}，藤井ありあ^{*}，福井可那子^{*}，小出達夫，深水啓朗：透過型ラマン分光法による軟膏剤の非破壊定量分析。
日本薬剤学会第37年会（2022.5.26）

^{*} 明治薬科大学

安藤大介，武田佳彦^{*1}，小澤秋沙^{*2}，坂上元栄^{*2}，宮崎玉樹，山本栄一，伊豆津健一：マイクロX線CTによる溶解型マイクロニードルの皮膚穿刺状態のイメージング。
日本薬剤学会第37年会（2022.5.28）

^{*1} (株)リガク

^{*2} 麻布大学

安藤大介，山本栄一，宮崎玉樹，小出達夫，伊豆津健一：顕微ラマン分光法を用いた溶解型マイクロニードル製剤の針部薬物分布評価法の検討。
第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム（2022.8.26）

嶋根京子^{*}，米持悦生^{*}，宮崎玉樹：定容積せん断セル法測定データの変動要因の検討。
第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム（2022.8.26）

^{*} 星薬科大学

小出達夫，菅野仁美，坂本知昭，伊豆津健一：令和3年度登録検査機関及び地方衛生研究所における精度管理事業について。
第59回全国衛生化学技術協議会年会（2022.10.31）

宮崎玉樹，菅野仁美，安藤大介，山本栄一，伊豆津健一：多機関で行う共同実験の手順書作成で重要なこと。
第59回全国衛生化学技術協議会年会（2022.10.31）

菅野仁美，安藤大介，宮崎玉樹，伊豆津健一，山本栄一：

日本薬局方に収載された類縁物質試験法に孕むリスクに関する考察—シロドシンおよびシロドシン錠の例—
第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

安藤大介：溶解型マイクロニードルアレイ製剤の品質評価法の開発。
日本薬剤学会第12回経皮投与製剤FGシンポジウム (2023.2.22)

小出達夫, 深水啓朗*, 伊豆津健一：透過ラマン分光法を用いた共結晶医薬品の非破壊定量法の開発に関する研究。
日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

* 明治薬科大学

山本佳久^{*1}, 小槻幸太^{*1}, 深水啓朗^{*2}, 小出達夫：レボフロキサシンOD錠に含まれる主成分についての製剤学的検証。
日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

^{*1} 帝京平成大学

^{*2} 明治薬科大学

安藤大介, 宮崎玉樹, 小出達夫, 伊豆津健一：溶解型マイクロニードルの針の物理的強度試験に影響を及ぼす測定条件の検討。
日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

宮崎玉樹, 武田佳彦*, 安藤大介, 小出達夫, 山本栄一, 伊豆津健一：DSCアルミパンの形状が非晶質ニフェジピンの結晶化速度に及ぼす影響。
日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

* (株)リガク

加藤楓*, 橘敬祐*, 安藤大介, 伊豆津健一, 近藤昌夫*: 溶解型マイクロニードルアレイ製剤の皮膚バリア機能への影響の評価。
日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

* 大阪大学

志村啓*, 愛甲健二*, 茂原瑞希*, 小野統矢*, 坂本知昭, 佐々木哲朗：テラヘルツ吸光分光を用いた市販錠剤中のレボフロキサシンの状態の違いの分析。
日本薬剤学会第37年会 (2022.5.26)

* 日立ハイテク

Sasaki T*, Ando S*, Otsuka M*, Sakamoto T: Crystal quality evaluation of N-(4-methoxybenzylidene) aniline by terahertz laser spectroscopy.
47th International Conference on Infrared, Millimeter and Terahertz waves (IRMMW-THz2022) (2022.8.29)

* Shizuoka University

佐々木哲朗^{*1}, 大塚誠^{*1}, 坂本知昭, 田邊匡生^{*2}, 劉庭秀^{*3}, 眞子岳^{*3}：テラヘルツレーザー分光による有機結晶中の欠陥評価。
日本金属学会2022年秋季第171回講演大会 シンポジウム 医用材料・医療機器開発の最前線 (III) ～光を用いる生体情報センシング～ (2022.9.20)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 芝浦工業大学

^{*3} 東北大学

藤巻康人*, 知久馬敏幸, 坂本知昭：絶対PL量子効率測定を用いた医薬品評価手法。
第83回応用物理学会秋季学術講演会 (2022.9.21)

* 東京都立産業技術研究センター

Shimura K^{*1}, Ono T^{*1}, Sasaki T^{*2}, Mohara M^{*1}, Aiko K^{*1}, Sakamoto T: Frequency-domain terahertz spectroscopy for solid samples in normal humidity conditions with a method for suppressing absorption peaks by water vapor.
The Federation of Analytical Chemistry and Spectroscopy Societies (FACSS) and the SciX Conference (FACSS-SciX2022) (2022.10.2)

^{*1} Hitachi High-Tech

^{*2} Shizuoka University

里園浩*, 秋山高一郎*, 堀田和希*, 高橋和宏*, 坂本知昭：テラヘルツATR分光による医薬品分析。
日本赤外線学会 (2022.11.7)

* 浜松ホトニクス

坂本知昭, 峯紗理奈^{*1}, 田村耕平^{*1}, 福田晋一郎^{*2}, 赤

尾賢一^{*1}, 正田卓司: 超小型ラマン分光器を用いた原薬フロー合成工程におけるPAT評価系構築の試み.
日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

^{*1} 日本分光

^{*2} ジャスコエンジニアリング

秋山高一郎*, 堀田和希*, 高橋和宏*, 里園浩*, 坂本知昭: フロースルー法を用いたテラヘルツ時間領域減衰全反射分光法による濃度変化と化学反応の連続モニタリング.
日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

* 浜松ホトニクス

藤巻康人*, 知久馬敏幸, 坂本知昭: 絶対PL量子収率測定を用いた医薬品の製造工程管理.
日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

* 東京都立産業技術研究センター

阿部康弘, 白井明子, 吉田寛幸, 伊豆津健一: メトホルミン塩酸塩錠とPTP包装資材の反応によるニトロソアミン類生成リスクの評価法の構築.
日本薬剤学会第37年会 (2022.5.26)

原矢佑樹, 扇田隆司^{*1}, 小谷真菜^{*1}, 河野弘樹^{*1}, 斉藤千尋^{*2}, 朝比奈裕子^{*1}, 西辻和親^{*3}, 内村健治^{*4}, 佐藤毅^{*1}, 川野竜司^{*2}, 加藤くみ子^{*5}, 伊豆津健一, 斎藤博幸^{*1}: 両親媒性アルギニンペプチドの脂質膜相互作用および細胞膜透過に及ぼす疎水性モーメントの影響.
日本膜学会第44年会 (2022.6.10)

^{*1} 京都薬科大学

^{*2} 東京農工大学

^{*3} 和歌山県立医科大学

^{*4} (仏) 国立科学研究センター

^{*5} 北里大学

阿部康弘, 白井明子, 原矢佑樹, 吉田寛幸, 伊豆津健一: メトホルミン塩酸塩錠のニトロソアミン類生成リスク低減に向けた簡易スクリーニング法の開発.
第12回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2022.9.10)

伊豆津健一, 阿部康弘, 栗田麻里, 吉田寛幸: 医薬品の供給不足の原因解析と製剤開発の重要性.
第12回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2022.9.10)

Abe Y: Evaluation of Nanomedicines.
12th Global Summit on Regulatory Science (2022.10.20)

三浦友郁^{*1}, 井上雅己^{*1,2}, 阿部康弘, 伊勢知子^{*2}, 永田諭志^{*2}, 角田慎一^{*1,2}: 免疫難病治療薬を目指した新規抗ヒトBAFF受容体モノクローナル抗体の創製と特性解析.
日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

^{*1} 神戸学院大学薬学部

^{*2} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

野中萌愛^{*1}, 井上雅己^{*1,2}, 阿部康弘, 伊勢知子^{*2}, 永田諭志^{*2}, 角田慎一^{*1,2}: ヒトBAFF受容体のB細胞リンパ腫治療標的分子としての有用性.
日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

^{*1} 神戸学院大学薬学部

^{*2} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

原矢佑樹: 原子間力顕微鏡法を用いたナノ脂質膜小胞の力学的特性計測法の開発とその応用.
日本薬学会第143年会／物理系薬学部会シンポジウム (2023.3.27)

Ishii-Watabe A: Recent Achievements and Current Interests in Research on the Characterization and Quality Control of Biopharmaceuticals.
The Pittsburgh Conference on Analytical Chemistry and Applied Spectroscopy (2022.5.19)

黄雪丹^{*1}, 日向須美子^{*2}, 伊東秀憲^{*2}, 小田口浩^{*2}, 内山奈穂子, 日向昌司, 天倉吉章^{*3}, 袴塚高志, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1}: 麻黄エキス, EFE, あるいはエフェドリンアルカロイドを経口投与したマウスの心拍変動解析.
第72回日本東洋医学会学術大会 (2022.5.27-29)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} 松山大学薬学部

木吉真人, 中木戸誠^{*1}, 柴田寛子, 長門石曉^{*1}, 津本浩平^{*1}, 伊東祐二^{*2}, 石井明子: 特異的ペプチドコンジュゲートによる抗体医薬品のADCC活性増強及び熱安定性の向上.
第22回蛋白質科学会 (2022.6.8)

*¹ 東京大学工学系研究科

*² 鹿児島大学大学院理工学研究科

橋井則貴, 小幡千紘, 田尻道子*, 石井明子: Multi-attribute methodによる抗体医薬品の構造特性評価.

第70回質量分析総合討論会 (2022.6.24)

* 横浜市立大学

日向昌司, 多田稔, 石井明子: 質量分析を用いたプロテオミクスの宿主細胞由来タンパク質試験法への応用と課題.

第70回質量分析総合討論会 (2022.6.24)

石井明子: バイオ医薬品の品質評価とレギュラトリーサイエンス.

第38回物性物理化学研究会 (2022.7.7)

柴田寛子, 木吉真人, 原園景, 石井明子: バイオ後続品製剤の品質評価に関する検討.

日本ジェネリック医薬品バイオシミラー学会第16回学術大会 (2022.8.7)

日向昌司, 成澤理世*, 多田稔, 石井明子: LC/MSを用いたHCP試験法の試料調製における還元アルキル化条件の検討.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

* 明治薬科大学

中村萌*, 高橋莉子*, 日向昌司, 多田稔, 石井明子: LC/MSを用いたHCP試験法の試料調製における消化酵素量の検討.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

* 明治薬科大学

西村仁孝, 橋井則貴, 石井明子: エクソソーム製剤の特性解析手法確立のための基礎的検討.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

中森俊輔^{*1}, 日向須美子^{*2}, 大嶋直浩, 内山奈穂子, 白畑辰弥^{*1}, 日向昌司, 天倉吉章^{*4}, 袴塚高志, 合田幸広,

小田口浩^{*2}, 小林義典^{*1}: 酸誘発性筋肉痛モデルに対するエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) の鎮痛作用の解析.

第39回和漢医薬学会学術大会 (2022.8.27)

*¹ 北里大学薬学部

*² 北里大学東洋医学総合研究所

*³ 松山大学薬学部

中川真代^{*1}, 秋間美久^{*1}, 石川幸志^{*1}, 黄雪丹^{*1}, 日向須美子^{*2}, 内山菜穂子, 日向昌司, 天倉吉章^{*3}, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1}: Paclitaxel誘発末梢神経障害性仏痛発症後のEFE, 牛車腎気丸, ジクロフェナクの鎮痛効果の比較.

第39回和漢医薬学会学術大会 (2022.8.27)

*¹ 北里大学薬学部

*² 北里大学東洋医学総合研究所

*³ 松山大学薬学部

西村和子, 柴田寛子, 前田卓哉^{*1}, 森田公一^{*2}, 斎藤嘉朗, 石井明子: 新型コロナウイルスに対する抗体検査キットの一斉性能評価試験.

第12回レギュラトリーサイエンス学会 (2022.9.10)

*¹ 埼玉医科大学臨床検査医学

*² 長崎大学熱帯医学研究所

石井明子, 西村和子, 柴田寛子, 斎藤嘉朗: バイオ後続品と先行バイオ医薬品の品質特性の比較に関する現状と信頼性確保のための課題に関する考察.

第12回レギュラトリーサイエンス学会 (2022.9.10)

柴田寛子: ICH Q2 (R2)/Q14: 最新動向と今後の課題.

第12回レギュラトリーサイエンス学会 (2022.9.10)

青山道彦, 多田稔, 石井明子: 抗体薬物複合体の非標的細胞における毒性に関する研究.

第29回日本免疫毒性学会学術年会 (2022.9.12)

多田稔, 青山道彦, 石井明子: BiTE型二重特異性抗体の凝集体による免疫細胞活性化リスクの評価.

第29回日本免疫毒性学会学術年会 (2022.9.12)

石井明子, 柴田寛子, 西村和子, 斎藤嘉朗: バイオ医薬品の免疫原性評価において求められる臨床試料収集の要件に関する検討.

第29回日本免疫毒性学会学術年会 (2022.9.12)

Ishii-Watabe A, Saito Y: ICH M10 Draft vs Final Guideline, and FAQ.

16th Workshop on Recent Issues in Bioanalysis. (2022.9.28)

Ishii-Watabe A, Shibata H, Nishimura K, Saito Y: Anti-SARS-CoV-2 Neutralizing Antibody Titer as a Clinical Endpoint of Vaccine Clinical Study in Japan.

16th Workshop on Recent Issues in Bioanalysis. (2022.9.28)

石井明子: 次世代抗体医薬品の効率的実用化推進のための品質管理手法研究.

第74回日本生物工学会100周年記念大会 (2022.10.19)

石井明子, 柴田寛子, 西村和子, 斎藤嘉朗: 新型コロナウイルスに対する抗体検査キットの性能評価に関する国内での取り組みと抗体価の標準化に向けた国際的動向. 第59回全国衛生化学技術協議会年会薬事部門研究会 (2022.11.1)

手塚健太^{*1}, 小野寺大志^{*1}, 多田稔, 高起良^{*2}, 相良康子^{*3}, 中村仁美^{*3}, 倉光球^{*1}, 大隈和^{*4}, 高橋宜聖^{*1}, 浜口功^{*1}: HTLV-1 水平感染者で誘導される Env 特異的抗体の性状解析.

第8回日本HTLV-1学会学術集会 (2022.11.5)

^{*1} 国立感染症研究所

^{*2} 大阪鉄道病院

^{*3} 日本赤十字社

^{*4} 関西医科大学

日向須美子^{*1}, 中森俊輔^{*2}, 黄雪丹^{*2}, 関根麻理子^{*1}, 日向昌司, 内山奈穂子, 天倉吉章^{*3}, 小林義典^{*2}, 合田幸広, 花輪壽彦^{*1}, 小田口浩^{*1}: 長井長義先生による麻黄のエフェドリン発見からEFEの開発研究まで. 日本薬史学会2022年会 (2022.11.5)

^{*1} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*2} 北里大学薬学部

^{*3} 松山大学薬学部

Ishii-Watabe A, Iwata D^{*1}, Horiuchi T^{*1}, Tanaka S^{*2}, Katashima M^{*3}, Hashimoto M^{*4}, Mabuchi M^{*5}, Saito Y: ICH M10 guideline for Bioanalytical Method Validation

and Study Sample Analysis.

日本薬物動態学会第37回年会 (2022.11.8)

^{*1} Pharmaceuticals and Medical Devices Agency

^{*2} ASKA Pharmaceutical Co., Ltd.

^{*3} formerly of Astellas Pharma Inc.

^{*4} Sumitomo Pharma Co., Ltd.

^{*5} Mitsubishi Tanabe Pharma Corporation

木吉真人, 中木戸誠^{*1}, Abdur Rafique^{*2}, 多田稔, 青山道彦, 長門石曉^{*3}, 柴田寛子, 津本浩平^{*1,3}, 伊東祐二^{*2}, 石井明子: 特異的ペプチドコンジュゲーションによる抗体医薬品のADCC活性増強及び安定性の向上. 第1回日本抗体学会設立記念学術大会 (2022.11.26)

^{*1} 東京大学大学院工学系研究科

^{*2} 鹿児島大学大学院理工学研究科

^{*3} 東京大学医科学研究所

青山道彦, 多田稔, 三澤隆史, 出水庸介, 石井明子: 薬物修飾部位の異なる抗体薬物複合体の特性解析. 第1回日本抗体学会設立記念学術大会 (2022.11.26)

多田稔, 青山道彦, 石井明子: Fcγ受容体発現レポーター細胞を用いた抗体医薬品の品質・安全性評価. 第1回日本抗体学会設立記念学術大会 (2022.11.26)

橋井則貴, 東阪嘉子, 鈴木琢雄, 石井明子: インタクト質量分析による血液試料中ADCの薬物抗体比分布分析. 第1回日本抗体学会設立記念学術大会 (2022.11.27)

日向昌司, 多田稔, 石井明子: 抗薬物抗体を活用した宿主細胞由来タンパク質解析用の試料調製方法の開発. 第1回日本抗体学会設立記念学術大会 (2022.11.27)

橋井則貴, 増井翔*, 鈴木琢雄, 米澤淳*, 石井明子: ヒト血清中抗体医薬品後続品及び先行品の翻訳後修飾の比較.

第95回日本生化学会大会 (2022.11.27)

* 京都大学

柴田寛子, 西村和子, 宮間ちづる, 石井明子: 体外診断用医薬品インフリキシマブキットにおけるインフリキシマブ先行品及びバイオ後続品の免疫化学的反応性の比較.

第43回日本臨床薬理学会学術総会 (2022.11.30)

石井明子, 岩田大祐^{*1}, 堀内大士^{*1}, 田中誠治^{*2}, 片島正貴^{*3}, 橋本雅世^{*4}, 間瀬雅成^{*5}, 斎藤嘉朗: ICH M10: 生体試料中薬物濃度分析法バリデーション及び実試料分析に関する国際調和ガイドライン.

第43回日本臨床薬理学会学術総会 (2022.12.2)

^{*1} 医薬品医療機器総合機構

^{*2} あすか製薬

^{*3} 元アステラス製薬

^{*4} 住友ファーマ

^{*5} 田辺三菱製薬

石井明子, 斎藤嘉朗: ICH M10の概要.

第14回JBFシンポジウム (2023.3.1)

柴田寛子, 西村和子, 前田卓哉^{*1}, 森田公一^{*2}, 斎藤嘉朗, 石井明子: 新型コロナウイルス中和抗体測定キットの性能評価に関する検討.

第14回JBFシンポジウム (2023.3.2)

^{*1} 埼玉医科大学 臨床検査医学

^{*2} 長崎大学 熱帯医学研究所

西村和子, 柴田寛子, 碓川絵夢^{*1}, 鈴木琢雄, 鈴木康夫^{*1,2}, 斎藤嘉朗, 石井明子: 免疫原性評価においてADAスクリーニングアッセイのS/N比を抗体価の代替指標として用いる場合の留意事項.

第14回JBFシンポジウム (2023.3.3)

^{*1} 銀座セントラルクリニック

^{*2} 東邦大学医学部

橋井則貴: インタクト質量分析による血液試料中ADCの薬物抗体比分布分析.

第14回JBFシンポジウム (2023.3.3)

Noritaka Hashii: Evaluation of structural characteristics of therapeutic antibodies by Multi-attribute method. Pittcon 2023 (2023.3.21)

石井明子, 西村仁孝, 橋井則貴: エクソソーム製剤の品質評価.

第22回日本再生医療学会総会 (2023.3.25)

原園景, 柴田寛子, 石井明子: 抗体医薬品の電荷プロファイル評価法: キャピラリー等電点電気泳動とイオン交換クロマトグラフィーの比較.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

豊川顕世^{*1}, 中川真代^{*1}, 潘辛夷^{*1}, 佐々木健人^{*1}, 黄雪丹^{*1}, 日向須美子^{*2}, 内山奈穂子, 日向昌司, 天倉吉章^{*3}, 伊藤美千穂, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 小林義典^{*1}: 麻黄湯によるパクリタキセル誘発末梢神経障害性疼痛の発症予防効果.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} 松山大学薬学部

潘辛夷^{*1}, 豊川顕世^{*1}, 中川真代^{*1}, 黄雪丹^{*1}, 日向須美子^{*2}, 内山奈穂子, 日向昌司, 天倉吉章^{*3}, 伊藤美千穂, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 小林義典^{*1}: パクリタキセル誘発末梢神経障害性疼痛に対する麻黄湯の治療効果について.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} 松山大学薬学部

上田智也^{*1}, 中森俊輔^{*1}, 日向須美子^{*2}, 白畑辰弥^{*1}, 内山奈穂子, 日向昌司, 天倉吉章^{*3}, 伊藤美千穂, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 小林義典^{*1}: EFE配合麻杏薏甘湯去麻黄エキスの作製と鎮痛作用の解析.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} 松山大学薬学部

橋井則貴, 東阪嘉子, 日向昌司, 石井明子: LC/MSを利用した抗体医薬品に含まれるproblematic host cell proteinの定量手法の検討.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

石井明子: バイオ医薬品の品質安全性確保のためのレギュラトリーサイエンス研究 ~薬学教育への期待~. 日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

鈴木琢雄, 多田稔, 石井明子: 抗薬物抗体検出系の性能評価に用いるインフリキシマブとアダリムマブに対する抗薬物抗体パネルの作製.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

西村仁孝, 橋井則貴, 石井明子: エクソソーム製剤の特性解析に有用な粒子径測定法の分析性能評価.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

柴田寛子, 寺邊正大^{*1}, 柴野友梨子^{*1,2}, 齋藤智^{*1}, 高杉智博^{*3}, 林侑生^{*3}, 岡部真二^{*4}, 山口裕加^{*4}, 安川秀仁^{*4}, 末友裕行^{*5}, 宮鍋一紘^{*6}, 大林尚美^{*7}, 秋丸倫子^{*8}, 齋藤俊太郎^{*8}, 伊藤大祐^{*9}, 仲野篤史^{*9}, 小島昌太^{*10}, 宮原佑弥^{*11}, 佐々木健次^{*11}, 丸野孝浩^{*12}, 野田勝紀^{*12}, 木吉真人, 原園景, 鳥巢哲生^{*2}, 内山進^{*2}, 石井明子: フローイメージング法によるシリコン油滴とタンパク質凝集体の分類に関する多機関共同研究.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

^{*1} 中外製薬 (株)

^{*2} 大阪大学大学院工学研究科

^{*3} アステラス製薬 (株)

^{*4} JCRファーマ (株)

^{*5} 協和キリン (株)

^{*6} 小野薬品工業 (株)

^{*7} Meiji Seika ファルマ (株)

^{*8} 第一三共 (株)

^{*9} (一社) 日本血液製剤機構

^{*10} 持田製薬 (株)

^{*11} 田辺三菱製薬 (株)

^{*12} (株) ユー・メディコ

青山道彦, 多田稔, 石井明子: 抗体医薬品のADCC活性評価においてバイオアッセイ系の違いが試験性能に及ぼす影響.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

日向昌司, 多田稔, 石井明子: LC/MSを用いた宿主細胞由来タンパク質 (HCP) 解析に適した試料調製条件の最適化.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

石井明子, 柴田寛子, 多田稔: 抗体医薬品のレギュラトリーサイエンス-免疫原性リスクマネジメント推進を指向して-.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

鈴木真梨子^{*}, 田川茂奈^{*}, 讃岐祥一^{*}, 大内正^{*}, 亀山雄二郎^{*}, 齋藤理枝子^{*}, 福地準一^{*}, 柴田寛子, 多田稔, 橋井則貴, 原園景, 日向昌司, 石井明子, 前川彦一郎^{*}: 日本薬局方への抗体医薬品ジェネラルモノグラフ収載に向けた共通規格項目候補の検討.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

^{*} 医薬品医療機器総合機構

田中理恵, 花尻 (木倉) 瑠理: 危険ドラッグ製品中のHexahydrocannabinol (HHC) の同定.

日本法中毒学会第41年会 (2022.6.25)

水谷佐久美, 河村麻衣子, 正田卓司, 出水庸介, 花尻 (木倉) 瑠理: GC-QTOF-MSによるLSDと異性体の識別法の検討.

日本法中毒学会第41年会 (2022.6.25)

河村麻衣子, 田中理恵, 水谷佐久美, 正田卓司, 出水庸介, 花尻 (木倉) 瑠理: LSD及びLSD構造類似化合物の分析法に関する検討.

日本法中毒学会第41年会 (2022.6.25)

Pineda Garcia Jorge Carlos^{*1}, 李任時^{*2}, 花尻 (木倉) 瑠理, 田中嘉孝^{*1}, 石井祐次^{*1}: 新規合成カンナビノイド作用の時間軸解析: 行動および内因性カンナビノイドレベル変動の解析.

日本法中毒学会第41年会 (2022.6.25)

^{*1} 九州大学大学院薬学研究院

^{*2} 中国薬科大学

緒方潤, 水谷佐久美, 花尻 (木倉) 瑠理: シロシビン合成系遺伝子を用いたマジックマッシュルーム識別法の検討-第2報-.

日本法中毒学会第41年会 (2022.6.26)

丸山卓郎^{*}, 小栗一輝^{*}, 清水聖子^{*}, 鈴木淳子^{*}, 小松かつ子^{*}, 川原信夫^{*}, 河野徳昭^{*}, 高野昭人^{*}, 酒井英二^{*}, 中嶋順一^{*}, 山口茂治^{*}, 徳本廣子^{*}, 伊藤美千穂^{*}: 日本薬局方における生薬の性状記載の改正及び整備について.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

^{*} 日本薬局方生薬の性状班

柘植厚志, 伊藤美千穂, 政田さやか: 日米欧医薬品公定規格に収載される生薬の確認試験法および成分定量法の比較.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

後藤佑斗, 政田さやか, 袴塚高志*, 伊藤美千穂: 味認識装置を用いたベルベリンの苦味測定について.
第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

* 日本薬科大学

Kikura-Hanajiri R, Mizutani S, Kawamura M, Tanaka R, Shoda T, Demizu Y: The differentiation of LSD and its 17 related compounds by GC-EI-MS and GC-CI-QTOF-MS.
The 59th TIAFT 2022 (2022.9.5)

Tanaka R, Kawamura M, Mizutani S, Kikura-Hanajiri R: Analyses of LSD analogs in illegal products: The identification of 1cP-AL-LAD, 1cP-MIPLA and 1V-LSD.
The 59th TIAFT 2022 (2022.9.5)

Noritake K^{*1}, Saka K^{*1}, Unuma K^{*2}, Funakoshi T^{*2}, Kikura-Hanajiri R, Makino Y^{*1}, Iwase H^{*1}, Uemura K^{*2}: Fatal Intoxication with a mixture of *para*-methoxyamphetamine, *N*-ethylpentylone and ketamine.
The 59th TIAFT 2022 (2022.9.5)

*¹ 東京大学医学部

*² 東京医科歯科大学医学部

政田さやか, 後藤佑斗, 伊藤美千穂, 袴塚高志^{*1}, 柘植厚志, 児玉有希^{*2}, 岸 正都^{*2}, 日坂真輔^{*2}, 能勢充彦^{*2}: Berberine-baicalin複合体が黄連解毒湯の苦味に与える影響について.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

*¹ 日本薬科大学

*² 名城大学薬学部

丸山卓郎, 河野徳昭^{*1}, 朱姝^{*2,3}, 曾根美佳子^{*4}, 木谷友紀^{*5}, 吉田雅昭^{*5}, 近藤誠三^{*5}, 松浦匡^{*4}, 白鳥誠^{*6}, 横倉胤夫^{*7}, 山本豊^{*8}, 山田修嗣^{*9}, 岡本拓也^{*10}, 小松かつ子^{*2}, 伊藤美千穂: 遺伝子情報を利用したロクジョウの確認試験及びトナカイに対する純度試験について.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

*¹ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*² 富山大学和漢医薬学総合研究所

*³ 和歌山県立医科大学薬学部

*⁴ (株) ツムラ

*⁵ 小太郎漢方製薬 (株)

*⁶ (株) ウチダ和漢薬

*⁷ 日本粉末薬品 (株)

*⁸ (株) 栃本天海堂

*⁹ アルプス薬品工業 (株)

*¹⁰ イスクラ産業 (株)

柘植厚志, 伊藤美千穂, 政田さやか: チョウトウコウおよび抑肝散エキス中に含まれるgeissoschizine methyl ether含有量の比較.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

高橋朔良*, 後藤佑斗, 政田さやか, 柏田良樹*, 田中直伸*: 紅花由来の含窒素キノカルコンC-配糖体tinctormineの構造の再検討.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

* 徳島大学薬学部

今井卓也^{*1}, 平倉一弘^{*1}, 神本敏弘^{*1}, 小栗一輝^{*1}, 青木勝之^{*1}, 松浦匡^{*1}, 山路弘樹^{*2}, 斉建凱^{*2}, 刀志灵^{*3}, 山本豊^{*4}, 白鳥誠^{*5}, 小松かつ子^{*6}, 河野徳昭^{*7}, 丸山卓郎, 袴塚高志: テンモンドウ基原植物及び近縁植物の含有成分差異.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

*¹ (株) ツムラ

*² 深圳津村薬業有限公司

*³ 中国科学院昆明植物研究所

*⁴ (株) 栃本天海堂

*⁵ (株) ウチダ和漢薬

*⁶ 富山大学和漢医薬学総合研究所

*⁷ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

近藤真由菜^{*1}, 文田昌盛^{*1}, 小松かつ子^{*2}, 川原信夫^{*2}, 河野徳昭^{*2}, 高野昭人^{*2}, 伊藤美千穂^{*2}, 中嶋順一^{*2}, 鈴木淳子^{*2}, 清水聖子^{*2}, 小栗一輝^{*2}, 山口茂治^{*2}, 徳本廣子^{*2}, 丸山卓郎^{*2}, 酒井英二^{*1,2}: ヨクイニン末の確認試験, 純度試験について.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

*¹ 岐阜薬科大学

*² 日本薬局方生薬の性状班

董昱卓^{*1}, 當銘一文^{*1}, 君島伸^{*1}, 張含培^{*1}, 朱姝^{*1},

何毓敏^{*2}, 蔡少青^{*3}, 丸山卓郎, 小松かつ子^{*1}: 骨碎補の品質標準化を目指したNMRメタボローム分析.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

^{*1} 富山大学和漢医薬学総合研究所

^{*2} 三峽大学医学部

^{*3} 北京大学薬学部

臼井千恵^{*1}, 北添達樹^{*1}, 白畑辰弥^{*1,5}, 古平栄一^{*1}, 丸山卓郎, 河野徳昭^{*2}, 瀧野裕之^{*2}, 山本和彦^{*2}, 北野康史^{*3}, 川原信夫^{*2,4}, 小田口浩^{*5}, 吉松嘉代^{*2}, 小林義典^{*1,5}: ヒメハギ属生薬のNIRを用いたメタボリックプロファイリング; サポニン含量予測モデルの構築.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

^{*3} 日本粉末薬品 (株)

^{*4} 高知県立牧野植物園

^{*5} 北里大学東洋医学総合研究所

山本和彦^{*1}, 北添達樹^{*2}, 白畑辰弥^{*2}, 丸山卓郎, 北野康史^{*3}, 高田泰生^{*3}, 河野徳昭^{*1}, 小林義典^{*2}, 吉松嘉代^{*1}: 人工栽培環境におけるヒロハセネガ培養苗の養液栽培条件の検討.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

^{*1} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

^{*2} 北里大学薬学部

^{*3} (株) 日本粉末薬品

内山奈穂子, 細江潤子, 石附京子, 杉本直樹, 鈴木梓^{*1}, 浅野龍二^{*1}, 五十嵐靖^{*1}, 三浦亨^{*2}, 武藤康弘^{*2}, 末松孝子^{*3}, 小松功典^{*3}, 日向野太郎^{*4}, 古川茶勲^{*4}, 嶋田典基^{*5}, 合田幸広: プシモノエステルアルカロイドの相対モル感度 (RMS) を用いた日本薬局方定量法の検討.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

^{*1} (株) ツムラ

^{*2} 富士フイルム和光純薬 (株)

^{*3} (株) JEOL RESONANCE

^{*4} 大正製薬 (株)

^{*5} (株) 常磐植物化学研究所

田中誠司, 政田さやか, 伊藤美千穂, 内山奈穂子: オン

ラインSFE/SFC/Q-TOFMSシステムを用いた柑橘類生薬のメタボローム解析に関する研究 (2).
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

田中誠司, 内山奈穂子, 後藤佑斗, 政田さやか, 伊藤美千穂: 生薬等の官能評価規格の可視化及び数値化に関する研究 (1): 色彩計測定データを用いた基準色との色差による客観的な色調評価手法の構築.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

後藤佑斗, 政田さやか, 田中誠司, 内山奈穂子, 伊藤美千穂: 生薬等の官能評価規格の可視化及び数値化に関する研究 (2): 色彩計を用いた生薬末及び単味生薬エキスの色の数値化.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

新井玲子, 内山奈穂子, 伊藤美千穂: エネルギー分散型蛍光X線分析装置 (EDX) を用いた生薬に含まれる重金属のスクリーニング分析 (1).
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.10)

徳本廣子, 山本栄一, 伊藤美千穂, 内山奈穂子: 生薬の内部形態観察へのX線CTスキャンの応用 (3) インチンコウについて.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.11)

高松さくら^{*1,2}, 内倉崇^{*2}, 好村守生^{*2}, 内山奈穂子, 伊藤美千穂, 天倉吉章^{*2}: タイソウの確認試験における指標成分の探索研究.
日本生薬学会第68回年会 (2022.9.11)

^{*1} 愛媛大学大学院農学研究科

^{*2} 松山大学薬学部

森田いずみ^{*1}, 木口裕貴^{*1}, 大山浩之^{*1}, 八巻耕也^{*1}, 花尻 (木倉) 瑠理, 上田宏^{*2}, 沼澤聡^{*3}, 吉田武美^{*3}, 小林典裕^{*1}: 誘導体化イムノアッセイによるメタンフェタミンおよびアンフェタミンの群特異的検出.
第72回日本薬学会関西支部総会・大会 (2022.10.8)

^{*1} 神戸薬科大学

^{*2} 東京工業大学科学技術創成研究院

^{*3} 昭和大学薬学部

最所和宏, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 令和3年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査についてー強壮用健康食品等ー.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.30-11.1)

田中理恵, 河村麻衣子, 水谷佐久美, 花尻 (木倉) 瑠理:
令和3年-令和4年の新規流通危険ドラッグ成分の同定.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31-11.1)

河村麻衣子, 堺田志穂, 最所和宏, 伊藤美千穂, 花尻 (木倉) 瑠理: いわゆる強壮用健康食品中のED治療薬及び類縁体のSFC-QTOF-MSによるスクリーニング法の検討.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.30-11.1)

田中誠司, 伊藤美千穂, 内山奈穂子: オンラインSFE/SFC/Q-TOFMSを用いた柑橘類生薬の分析
第33回クロマトグラフィー科学会議 (2022.11.5)

合田隆大*, 飯田哲生*, 内山奈穂子, 田中誠司: オンラインSFE-SFC-QTOFMSを用いた医薬品および不純物スクリーニング手法の開発
第33回クロマトグラフィー科学会議 (2022.11.5)

*島津製作所

内山奈穂子, 清田浩平^{*1}, 細江潤子, 小松功典^{*2}, 杉本直樹, 石附京子, 小出達夫, 村林美香^{*3}, 小林謙吾^{*4}, 藤峰慶徳^{*5}, 横瀬俊幸^{*5}, 大藤克也^{*6}, 清水仁^{*6}, 長谷部隆^{*7}, 浅井由美^{*7}, 江奈英里^{*7}, 菊池純子^{*1}, 藤田和弘^{*1}, 牧野吉伸^{*8}, 岩本芳明^{*9}, 三浦亨^{*9}, 武藤康弘^{*9}, 朝倉克夫^{*10}, 末松孝子^{*2}, 武藤仁美^{*2}, 小浜亜以^{*11}, 五島隆志^{*12}, 安田万寿^{*12}, 植田知彦^{*13}, 合田幸広: ³¹P-qNMRを利用した有機リン化合物ソホスブールの絶対純度の検討.

第4回日本定量NMR研究会年会 (2022.12.16)

^{*1} 塩野義製薬 (株)

^{*2} (株) JEOL RESONANCE

^{*3} 武田薬品工業 (株)

^{*4} 第一三共 (株)

^{*5} 大塚製薬 (株)

^{*6} 中外製薬 (株)

^{*7} エーザイ (株)

^{*8} 十全化学 (株)

^{*9} 富士フイルム和光純薬 (株)

^{*10} 日本電子 (株)

^{*11} (一財) 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

^{*12} 日本新薬 (株)

^{*13} 住友ファーマ (株)

田中理恵, 花尻 (木倉) 瑠理: qNMR法によるインターネット買上製品中カンナビノイド成分 (CBD, CBG, CBN) の定量分析.

第4回日本定量NMR研究会年会 (2022.12.16)

柘植厚志, 政田さやか, 伊藤美千穂: TLCを用いたセネガ確認試験法の検討.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

田中理恵, 花尻 (木倉) 瑠理: インターネット上で流通するオイル製品中のTHCアナログの同定.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

河村麻衣子, 三澤隆史, 辻巖一郎, 黒原崇, 伊藤美千穂, 出水庸介, 花尻 (木倉) 瑠理: 大麻草由来成分の構造類似体の分析法に関する検討.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

水谷佐久美, 河村麻衣子, 田中理恵, 三澤隆史, 辻巖一郎, 黒原崇, 伊藤美千穂, 出水庸介, 花尻瑠理: 大麻成分由来23化合物の一斉分析法の検討.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

Gorge Carlos Pineda Garcia^{*1}, 趙爽利^{*1}, 李任時^{*2}, 花尻瑠理, 出水庸介, 田中嘉孝^{*1}, 石井祐次^{*1}: delta9-THC-O-acetateおよびdelta8-THC-O-acetateのヒト肝臓ミクロゾームによる酵素化学的加水分解とdelta9-THCおよびdelta8-THC生成.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

^{*1} 九州大学大学院薬学研究院

^{*2} 中国薬科大学

山路弘樹^{*1}, 小栗一輝^{*2}, 王浩涵^{*1}, 齊建凱^{*1}, 司馬真央^{*2}, 曾根美佳子^{*2}, 松浦匡^{*2}, 成暁^{*3}, 刀志霊^{*3}, 田中伸幸^{*4}, 山本豊^{*5}, 白鳥誠^{*6}, 小松かつ子^{*7}, 河野徳昭^{*8}, 丸山卓郎, 袴塚高志^{*9}, 伊藤美千穂: 中国で流通する「天門冬」原植物の多様性に関する追加検討-ミャンマー産, 雲南省産生薬の原植物解明.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

^{*1} 深圳津村薬業有限公司

^{*2} (株) ツムラ

^{*3} 中国科学院昆明植物研究所

*⁴ 国立科学博物館

*⁵ (株) 栃本天海堂

*⁶ (株) ウチダ和漢薬

*⁷ 富山大学和漢医薬学総合研究所

*⁸ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*⁹ 日本薬科大学

董昱卓^{*1}, 當銘一文^{*1}, 君島伸^{*1}, 張含培^{*1}, 朱姝^{*1}, 何毓敏^{*2}, 東田千尋^{*1}, 楊熙蒙^{*1}, 蔡少青^{*3}, 丸山卓郎, 小松かつ子^{*1}: 骨碎補の品質標準化を目指したNMRメタボローム分析.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

*¹ 富山大学和漢医薬学総合研究所

*² 三峽大学医学部

*³ 北京大学薬学部

田中誠司, 小木曾汐音^{*}, 新井玲子, 伊藤美千穂, 内山奈穂子: 日本薬局方外生薬規格への収載を目指したキサゲエキスの確認試験及び定量法の検討.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

* 京都大学薬学部

新井玲子, 内山奈穂子, 伊藤美千穂: エネルギー分散型蛍光X線分析装置(EDX)を用いた生薬に含まれる重金属のスクリーニング分析(2).

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

徳本廣子, 山本栄一, 伊藤美千穂, 内山奈穂子: 生薬の内部形態観察へのX線CTスキャンの応用(4) シャゼンシについて.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

能勢充彦^{*1}, 加藤明日香^{*1}, 永田久美子^{*1}, 日坂真輔^{*1}, 政田さやか, 袴塚高志^{*2}: 漢方処方の科学的解析(第36報) 甘草配合漢方処方投与後の血中グリチルレチン酸濃度推移について(その1).

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

*¹ 名城大学薬学部

*² 日本薬科大学

高橋朔良^{*1}, 後藤佑斗, 政田さやか, 辻大輔^{*2}, 赤木玲子^{*2}, 柏田良樹^{*1}, 田中直伸^{*1}: 紅花から単離した含窒素キノカルコンC-配糖体の構造と生物活性.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

*¹ 徳島大学薬学部

*² 安田女子大学薬学部

横尾英知, 田中誠司, 山本栄一, 辻巖一郎, 出水庸介, 内山奈穂子: 高分解能固体NMRを用いたラニチジン塩酸塩の結晶形の解析.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

Sato Y: Japan's Recent Progress in Induced Pluripotent Stem Cell (iPSC)-based Therapies.

The 2022 World Stem Cell Summit (2022.6.11)

Sato Y: Regulatory Science for Ensuring the Quality and Safety of Cell Therapy Products and its Interface with Basic Stem Cell Science.

International Society for Stem Cell Research 2022 (2022.6.15)

Henry M^{*1}, Lemmens M^{*2}, Sato Y, Marginean D^{*1}, Harada K^{*3}, Watanabe T^{*3}, Bando K^{*4}, Terai O^{*4}, Moss D^{*1}, Chen C^{*5}, Nicholas N^{*1}, Mouriès LP^{*5}, Smart M^{*1}, Libertini S^{*2}, Yasuda S: Safety of cell therapy products: *In-vitro* methods to assess the tumorigenicity of human cell-based therapeutic products.

International Society for Stem Cell Research 2022 Annual Meeting (2022.6.17)

*¹ Cell and Gene Therapy Catapult

*² Novartis

*³ Takeda Pharmaceutical Company

*⁴ Sumitomo Pharma

*⁵ Health and Environmental Sciences Institute

Sato Y: Regulatory Science Research for Clinical Applications of Products Derived from Human Induced Pluripotent Stem Cells.

KSSCR 2022 Annual Meeting (2022.8.12)

安田智: 細胞加工製品の品質・安全性評価における動向と課題.

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.16)

佐藤陽治: ICH Q5A(R2)「ヒト又は動物細胞株を用いて製造されるバイオテクノロジー応用医薬品のウイルス

安全性評価」のステップ2 公開ドラフトの概要について。

日本PDA製薬学会第29回年会（2022.11.29）

三浦巧, 河野掌^{*1}, 高野慈美, 黒田拓也, 山本由美子^{*1}, 草川森士, 森岡勝樹^{*1}, 菅原亨^{*2}, 平井孝昌, 安田智, 澤田留美, 松山さと子^{*3}, 川路英哉^{*1}, 粕川雄也^{*1}, 伊藤昌可^{*1}, Jay W Shin^{*1}, 梅澤明弘^{*4}, 河合純^{*1}, 佐藤陽治: 間葉系幹細胞の薬理効果に寄与するバイオマーカーの効率的な同定法の開発。

日本再生医療学会第2 回科学シンポジウム（2022.12.2）

^{*1} 理化学研究所

^{*2} 横浜市立大学

^{*3} 大阪はびきの医療センター

^{*4} 国立成育医療研究センター研究所

草川森士, 安田智, 佐藤陽治: 細胞加工製品の品質評価におけるサンプルサイズの設定について。

日本再生医療学会第2 回科学シンポジウム（2022.12.2）

黒田拓也, 安田智, 松山さと子, 三浦巧, 澤田留美, 松山晃文^{*1}, 森岡勝樹^{*2}, 粕川雄也^{*2}, 山本由美子^{*2}, 川路英哉^{*2,3}, 伊藤昌可^{*2}, 阿久津英憲^{*4}, 河合純^{*2,5}, 佐藤陽治: 神経細胞製造の原料としてのヒト多能性幹細胞の品質試験法の開発。

日本再生医療学会第2 回科学シンポジウム（2022.12.2）

^{*1} 大阪はびきの医療センター

^{*2} 理化学研究所

^{*3} 東京都医学総合研究所

^{*4} 国立成育医療研究センター

^{*5} 神奈川県立産業技術総合研究所

平井孝昌, 河野健, 片岡清子, 遊佐敬介^{*}, 内田和久^{*}, 佐藤陽治: 次世代シーケンサーを用いたウイルス検出における留意点。

日本再生医療学会第2 回科学シンポジウム（2022.12.2）

^{*} 神戸大学

高田のぞみ^{*}, 安田智, 草川森士, 高野慈美, 三浦巧, 八代嘉美^{*}, 佐藤陽治: 浮遊培養細胞製品に混在する形質転換細胞の高感度検出法の開発及び性能評価。

日本再生医療学会第2 回科学シンポジウム（2022.12.2）

^{*} 東京都健康長寿医療センター

佐藤陽治: MEASURE2: 概要説明。

第22回日本再生医療学会総会（2023.3.23）

安田智, 岡村愛^{*}: MEASURE2: 多能性幹細胞検出のためのddPCR試験の国際多施設バリデーション。

第22回日本再生医療学会総会（2023.3.23）

^{*} 富士フィルム（株）

三浦巧, 河野掌^{*1}, 高野慈美, 黒田拓也, 山本由美子^{*1}, 草川森士, 森岡勝樹^{*1}, 菅原亨^{*2}, 平井孝昌, 安田智, 澤田留美, 松山さと子^{*3}, 川路英哉^{*1}, 粕川雄也^{*1}, 伊藤昌可^{*1}, Jay W Shin^{*1}, 梅澤明弘^{*4}, 河合純^{*1}, 佐藤陽治: 単一細胞遺伝子発現解析による間葉系幹細胞の血管新生能予測バイオマーカーの探索。

第22回日本再生医療学会総会（2023.3.23）

^{*1} 理化学研究所

^{*2} 横浜市立大学

^{*3} 大阪はびきの医療センター

^{*4} 国立成育医療研究センター研究所

黒田拓也, 安田智, 松山さと子, 三浦巧, 澤田留美, 松山晃文^{*1}, 森岡勝樹^{*2}, 粕川雄也^{*2}, 山本由美子^{*2}, 川路英哉^{*2,3}, 伊藤昌可^{*2}, 阿久津英憲^{*4}, 河合純^{*2,5}, 佐藤陽治: ヒトiPS細胞における神経分化予測マーカーによる神経分化調節機構の解明。

第22回日本再生医療学会総会（2023.3.24）

^{*1} 大阪はびきの医療センター

^{*2} 理化学研究所

^{*3} 東京都医学総合研究所

^{*4} 国立成育医療研究センター

^{*5} 神奈川県立産業技術総合研究所

高田のぞみ^{*}, 安田智, 草川森士, 高野慈美, 三浦巧, 八代嘉美^{*}, 佐藤陽治: T細胞製品に混在する形質転換細胞の高感度検出法の開発及び性能評価。

第22回日本再生医療学会総会（2023.3.24）

^{*} 東京都健康長寿医療センター

佐藤陽治: 再生医療ナショナルコンソーシアムの成果としてのNRMD (National Regenerative Medicine Database)。

第22回日本再生医療学会総会（2023.3.25）

佐藤陽治：再生医療等の品質確保の観点から。
第22回日本再生医療学会総会 (2023.3.25)

草川森士, 安田智, 佐藤陽治：細胞加工製品の品質評価
におけるサンプルサイズの設定について—形質転換細胞
検出試験を例に一。

第22回日本再生医療学会総会 (2023.3.25)

平井孝昌, 河野健, 片岡清子, 遊佐敬介*, 内田和久*,
佐藤陽治：次世代シーケンサーを用いた細胞加工製品
におけるウイルス検出法の開発。

第22回日本再生医療学会総会 (2023.3.25)

* 神戸大学

水上智晴^{*1}, 白砂圭崇^{*1}, 深澤秀輔^{*1}, 長瀬翔太郎^{*2},
清水芳実^{*3}, 脇田隆字^{*1}, 鈴木哲朗^{*4}, 谷英樹^{*5}, 近藤
昌夫^{*2}, 黒田拓也, 安田智, 佐藤陽治, 花田賢太郎^{*1},
深澤征義^{*1}：iPS細胞に感染できるC型肝炎ウイルス重
株の分離と性状解析。

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

*¹ 国立感染症研究所

*² 大阪大学大学院薬学研究科

*³ 帝京平成大学薬学部

*⁴ 浜松医科大学医学部

*⁵ 富山県衛生研究所

井上貴雄：mRNA医薬の規制整備に向けた取り組み。
日本薬剤学会第37年会 (2022.5.27)

井上貴雄：核酸医薬の安全性確保：毒性の予測と回避。
日本薬剤学会第37年会学術シンポジウム (2022.5.27)

山下拓真, 内藤雄樹*, 山本武範, 吉田徳幸, 内田恵理
子, 井上貴雄：特異性の低いガイドRNAを利用した
SaCas9によるオフターゲット編集配列の解析。

日本ゲノム編集学会第7回大会 (2022.6.8)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

鈴木孝昌, 山影康次, 安井学, 築茂由則, 井上貴雄, 小
原有弘*, 杉山圭一*：“ゲノム編集のオンターゲット毒
性”小核誘発とクロモスリプシス。

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30)

* 医薬基盤・健康・栄養研究所

大岡伸通, 内藤幹彦*, 出水庸介：デコイ核酸を利用し
たキメラ分子による標的タンパク質分解。

第26回日本がん分子標的治療学会学術集会 (2022.6.30)

* 東京大学大学院薬学系研究科

井上貴雄：感染症の予防と診断：来るべきパンデミック
に備えて。

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

山下拓真, 内藤雄樹*, 山本武範, 吉田徳幸, 内田恵理
子, 井上貴雄：SaCas9によるゲノム編集の安全性評価
のために考慮すべきオフターゲット変異候補配列に関す
る検討。

第28回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2022.7.15)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

山本武範, 山下拓真, 内田恵理子, 井上貴雄：陰イオン
交換-UHPLCによるアデノ随伴ウイルスベクターの中空
粒子評価法に関する研究。

第28回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2022.7.15)

内田恵理子：遺伝子細胞治療の開発にかかる規制の最新
動向。

第28回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2022.7.15)

山口卓男*, 櫻井耀太*, 山本知佳*, 杉田慧*, 吉田徳幸,
井上貴雄, 小比賀聡*：1'-C,3'-O-架橋型D-アルトリト
ール核酸の合成と機能評価。

日本核酸医薬学会第7回年会 (2022.8.1)

* 大阪大学大学院薬学研究科

吉田徳幸：核酸医薬の規制整備に向けた取り組み。

日本核酸医薬学会第7回年会 (2022.8.1)

山口卓男*, 羽瀧貴紀*, 杉浦隆也*, 加藤剛*, 吉田徳幸,
井上貴雄, 小比賀聡*：5'-シクロプロピレン修飾核酸
の合成と機能評価。

日本核酸医薬学会第7回年会 (2022.8.1)

* 大阪大学大学院薬学研究科

秋田智香^{*1}, 神前静香^{*1}, 井上貴雄, 小比賀聡^{*2}, 川上
純司^{*1}：Shortmer副生成物の結合親和性はヌクレオチ
ド欠損位置によって異なる。

日本核酸医薬学会第7回年会 (2022.8.1)

*¹ 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*² 大阪大学大学院薬学研究科

唐澤薫^{*1}, 岩崎了教^{*1}, 川上純司^{*2}, 井上貴雄, 小比賀聡^{*3}: オリゴ核酸不純物の迅速かつ網羅的検出および配列確認法の開発.

日本核酸医薬学会第7回年会 (2022.8.1)

*¹ エービー・サイエックス (株)

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

西風隆司^{*1}, 川上純司^{*2}, 井上貴雄, 小比賀聡^{*3}, 早川禎宏^{*1}: 卓上MALDI-TOF MSを用いたアンチセンス核酸医薬品の配列確認.

日本核酸医薬学会第7回年会 (2022.8.1)

*¹ 島津製作所 (株)

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

鈴木里沙^{*1}, 加藤紀子^{*1}, 久保田諒^{*1}, 川上純司^{*2}, 井上貴雄, 小比賀聡^{*3}, 早川禎宏^{*1}: シングル四重極型質量分析計を用いた簡易的な核酸医薬品の合成確認.

日本核酸医薬学会第7回年会 (2022.8.1)

*¹ 島津製作所 (株)

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

斎藤恵美^{*1}, 櫻井葉玲^{*1}, 南海浩一^{*1}, 井上貴雄, 川上純司^{*2}, 小比賀聡^{*3}: オリゴ核酸のHPLC分析におけるカラムの検討.

日本核酸医薬学会第7回年会 (2022.8.2)

*¹ 味の素バイオフィーマサービス ジーンデザイン (株)

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

石田和也^{*1}, 吉田徳幸, 赤堀有美^{*1}, 川上純司^{*2}, 小比賀聡^{*3}, 井上貴雄: オリゴヌクレオチド類縁物質 (ヌクレオチド欠失体/付加体) のオフターゲット評価.

日本核酸医薬学会第7回年会 (2022.8.2)

*¹ (一財) 化学物質評価研究機構

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

井上貴雄: 多様化するモダリティのオフターゲット評価に関する考察.

日本核酸医薬学会第7回年会 (2022.8.3)

吉田徳幸: RNA分解型アンチセンスのオフターゲット評価に関する基盤研究.

日本核酸医薬学会第7回年会 (2022.8.3)

山本真梨子, 築茂由則, 鈴木孝昌, 野口耕司^{*}, 井上貴雄: プライマー結合部位に生じるウイルス変異の影響に関する検討.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

* 東京理科大学薬学部

山下拓真, 内藤雄樹^{*}, 山本武範, 吉田徳幸, 内田恵理子, 井上貴雄: ゲノム編集に伴うオフターゲット変異の予測・評価法に関する研究.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

Suzuki T, Yamakage K, Yasui M, Tsukumo Y, Kohara A^{*}, Sugiyama K: Designed synthesis of translocations and induction of chromosomal aberrations by genome editing.

13th International Conference on Environmental Mutagens (2022.9.1)

* 医薬基盤・健康・栄養研究所

築茂由則, 吉田徳幸, 大岡伸通, 内田恵理子, 鈴木孝昌, 井上貴雄: 緊急開発されたCOVID-19診断用核酸増幅検査薬の構成に関する調査.

第12回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2022.9.10)

山本真梨子, 築茂由則, 鈴木孝昌, 野口耕司^{*}, 井上貴雄: プライマー結合領域内のミスマッチ変異が核酸増幅反応に与える影響の解析.

第12回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2022.9.10)

* 東京理科大学薬学部

吉田徳幸:核酸医薬のオフターゲット効果に関する研究.
第12回レギュラトリサイエンス学会学術大会 (2022.9.10)

井上貴雄:核酸医薬の規制整備－革新的医薬品等実用化
促進事業のバトンを受けて－.

第12回レギュラトリサイエンス学会学術大会 (2022.9.10)

築茂由則:コンパニオン診断薬の開発状況と規制.
化学工学会第53回秋季大会 (2022.9.14)

山本真梨子, 築茂由則, 鈴木孝昌, 野口耕司*, 井上貴
雄: ウイルス変異が核酸増幅反応に与える影響の解析.
第66回日本薬学会関東支部大会 (2022.9.17)

* 東京理科大学薬学部

Yamamoto T: Two-Dimensional Droplet Digital PCR as
a Tool for Titration and Integrity Evaluation of
Recombinant Adeno-Associated Viral Vectors.
16th WRIB (Workshop on Recent Issues in
Bioanalysis) (2022.9.26)

築茂由則, 大岡伸通, 内藤幹彦*, 鈴木孝昌: EGFR変
異がんに対する新たな治療標的分子の同定.
第81回日本癌学会学術総会 (2022.9.29)

* 東京大学大学院薬学系研究科

鈴木孝昌, 築茂由則, 小原有弘*: ゲノム編集を用いた
がん遺伝子パネル検査用転座標準品の作製.
第81回日本癌学会学術総会 (2022.9.30)

* 医薬基盤・健康・栄養研究所

大岡伸通, 内藤幹彦*: デコイ核酸をリガンドに利用し
たエストロゲン受容体分解キメラ分子の開発.
第81回日本癌学会学術総会 (2022.10.1)

* 東京大学大学院薬学系研究科

Suzuki R^{*1}, Kato N^{*1}, Kubota R^{*1}, Kawakami J^{*2},
Inoue T, Obika S^{*3}, Hayakawa Y^{*1}: Development of
Analytical Methods for Oligonucleotide Therapeutics
Impurities.

18th Annual Meeting of the Oligonucleotide
Therapeutics Society (2022.10.2-5)

^{*1} Shimadzu Corp.

^{*2} Konan University

^{*3} Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka
University

Yamamoto M, Tsukumo Y, Suzuki T, Noguchi K*,
Inoue T: Validation of the effects of viral mutations on
nucleic acid amplification reactions.

The 17th Congress of Asian Society for Clinical
Pathology and Laboratory Medicine (2022.10.9)

* Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo
University of Science

Tsukumo Y, Yoshida T, Ohoka N, Suzuki T, Uchida E,
Inoue T: Performance evaluation of COVID-19
diagnostic nucleic acid amplification tests using
purified SARS-CoV-2 genomic RNAs.

The 17th Congress of Asian Society for Clinical
Pathology and Laboratory Medicine (2022.10.9)

Inoue T, Tsukumo Y, Suzuki T, Yoshida T, Ohoka N,
Uchida E: Performance evaluation of COVID-19
diagnostic nucleic acid amplification tests (NATs)
using recombinant viruses with the fragment of SARS-
CoV-2 genomic RNAs.

The 17th Congress of Asian Society for Clinical
Pathology and Laboratory Medicine (2022.10.9)

山本武範: 遺伝子治療用製品の規制動向.
BioJapan 2022 (2022.10.14)

山田雅巳^{*1}, 小薮大智^{*1}, 栗洋^{*2}, 鈴木孝昌: アリスト
ロキア酸により誘発されるDNA付加体と突然変異につ
いて.

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.10.15)

^{*1} 防衛大学

^{*2} 上海交通大学

鈴木孝昌, 山影康次, 安井学, 鶴飼明子, 築茂由則, 小
原有弘*, 杉山圭一: ゲノム編集による転座染色体のデ
ザイン合成と染色体異常誘発性.

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.10.15)

* 医薬基盤・健康・栄養研究所

鈴木孝昌：ゲノム編集の安全性評価と変異原研究。
日本環境変異原ゲノム学会第51回大会（2022.10.16）

Yamamoto T: Validation of the effects of transport on
COVID-19 mRNA vaccines.
The 12th Global Summit on Regulatory Science
(2022.10.19)

井上貴雄, 築茂由則, 吉田徳幸, 大岡伸通, 内田恵理子,
鈴木孝昌：緊急開発されたCOVID-19診断用核酸増幅検
査薬の一斉評価試験。
第59回全国衛生化学技術協議会年会（2022.10.31）

築茂由則, 吉田徳幸, 大岡伸通, 内田恵理子, 鈴木孝昌,
井上貴雄：日米で緊急使用許可を受けたCOVID-19診断
用NAT検査薬の構成。
第59回全国衛生化学技術協議会年会（2022.10.31）

山下拓真, 内藤雄樹*, 山本武範, 吉田徳幸, 内田恵理
子, 井上貴雄：ゲノム編集により生じるオフターゲット
変異の*in silico*予測に関する研究。
第59回全国衛生化学技術協議会年会（2022.10.31）

* ライフサイエンス統合データベースセンター

山本武範, 山下拓真, 内田恵理子, 井上貴雄：イオン交
換-UHPLCを用いたアデノ随伴ウイルスベクターの中空
粒子含有率の定量的評価。
第59回全国衛生化学技術協議会年会（2022.10.31）

吉田徳幸, 森廣邦彦^{*1,2,3}, 内藤雄樹^{*4}, 三上敦士^{*1}, 笠
原勇矢^{*1,2}, 小比賀聡^{*1,2}, 井上貴雄：RNA分解型アン
チセンスによる肝毒性の低減手法に関する研究。
第59回全国衛生化学技術協議会年会（2022.10.31）

^{*1} 大阪大学大学院薬学研究科

^{*2} 医薬基盤・健康・栄養研究所

^{*3} 東京大学大学院工学系研究科

^{*4} ライフサイエンス統合データベースセンター

鈴木孝昌, 小原有弘*, 築茂由則, 井上貴雄：次世代型
標準品の創出 ―ゲノム編集を用いたがん遺伝子パネル
検査用標準品の作製―。
第59回全国衛生化学技術協議会年会（2022.11.1）

* 医薬基盤・健康・栄養研究所

井上貴雄：感染症診断用核酸検査薬の信頼性確保に関す
る取り組み。
第59回全国衛生化学技術協議会年会（2022.11.1）

吉田徳幸：アンチセンス医薬による毒性の低減手法に関
する研究。
核酸化学若手フォーラム2022（2022.11.5）

築茂由則, 井上貴雄：早期に使用許可を受けたCOVID-19
診断用核酸増幅検査薬の構成に関する調査。
第69回日本臨床検査医学会学術集会（2022.11.18）

井上貴雄, 築茂由則：緊急開発される核酸増幅検査薬の
信頼性確保に向けた国立衛研の取り組み。
第69回日本臨床検査医学会学術集会（2022.11.18）

富田恵麗沙^{*1}, 秋田智香^{*1}, 柏木歩夢^{*1}, 佐野蓮心^{*1},
畠中陸希^{*1}, 井上貴雄, 小比賀聡^{*2}, 川上純司^{*1}：アン
チセンス核酸医薬のモデルとしてのRNA/DNA二重鎖
におけるRNA鎖長が熱力学的パラメータに与える影響。
第45回日本分子生物学会年会（2022.11.30）

^{*1} 甲南大学

^{*2} 大阪大学大学院薬学研究科

山本真梨子, 築茂由則, 鈴木孝昌, 野口耕司*, 井上貴
雄：プライマー結合部位に生じるウイルス変異が核酸増
幅反応に与える影響の検証。
第45回日本分子生物学会年会（2022.11.30）

* 東京理科大学薬学部

吉田徳幸, 安原秀典*, 佐々木澄美, 小比賀聡*, 井上
貴雄：アンチセンス核酸のオフターゲット効果に対する
塩基長の影響。
第45回日本分子生物学会年会（2022.11.30）

* 大阪大学大学院薬学研究科

大岡伸通, 山本武範, 築茂由則, 吉田徳幸, 井上貴雄：
タンパク質分解医薬のオフターゲット作用に関する種特
異性の検証。
第45回日本分子生物学会年会（2022.12.1）

井上貴雄：mRNA医薬の品質評価に関する考察。
第5回日本遺伝子細胞治療学会若手研究会セミナー
（2022.12.9）

山下拓真, 内藤雄樹*, 山本武範, 吉田徳幸, 内田恵理子, 井上貴雄: ゲノム編集酵素によるオフターゲット切断部位を正確性高く検出する方法の開発.

第5回日本遺伝子細胞治療学会若手研究会セミナー (2022.12.9)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

山本武範: 超高速液体クロマトグラフィーを用いたアデノ随伴ウイルスベクターの品質評価.

第5回日本遺伝子細胞治療学会若手研究会セミナー (2022.12.9)

Ohoka N, Suzuki M^{*1}, Uchida T^{*1}, Tsuji G, Tsukumo Y, Yoshida M^{*1}, Inoue T, Demizu Y, Ohki H^{*1}, Naito M^{*2}: Development of Gilteritinib-based Chimeric Small Molecules that Potently Induce Degradation of FLT3-ITD Protein.

12th AACR-JCA Joint Conference: Breakthroughs in Cancer Research —Translating Knowledge into Practice (2022.12.13)

^{*1} Daiichi Sankyo Co., Ltd

^{*2} Graduate School of Pharmaceutical Sciences, University of Tokyo

井上貴雄: 核酸医薬の開発動向と将来展望.

日本人類遺伝学会第67回大会 (2022.12.17)

井上貴雄, 山本武範: mRNA医薬の分析手法に関する取り組み.

第19回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム/第16回核酸医薬レギュラトリーサイエンスシンポジウム (2023.1.17)

吉田徳幸: mRNA医薬の炎症原性評価に関する取り組み.

第19回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム/第16回核酸医薬レギュラトリーサイエンスシンポジウム (2023.1.17)

Suzuki T, Yamakage K, Yasui M, Tsukumo Y, Kohara A*, Sugiyama K: Designed synthesis of translocations and induction of chromosomal aberrations by genome editing.

45th Environmental Mutagen Society of India Annual Meeting and International Conference (2023.1.30)

* 医薬基盤・健康・栄養研究所

Nankai H^{*1}, Saito E^{*1}, Sakurai H^{*1}, Inoue T, Kawakami J^{*2}, Obika S^{*3}: Adsorption of Oligonucleotide to HPLC Columns.

TIDES ASIA (2023.3.8-9)

^{*1} Ajinomoto Bio-Pharma Services GeneDesign, Inc.

^{*2} Konan University

^{*3} Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University

Hiramatsu T^{*1}, Nishikaze T^{*1}, Kubota R^{*1}, Kato N^{*1}, Kawakami J^{*2}, Inoue T, Obika S^{*3}, Hayakawa Y^{*1}: Oligonucleotide Sequence Confirmation.

TIDES ASIA (2023.3.8-9)

^{*1} Shimadzu Corp.

^{*2} Konan University

^{*3} Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University

井上貴雄: 動物試験で検出困難な毒性を予測するオフターゲット評価法の確立.

創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2023.3.8)

山本武範: mRNA医薬の品質特性評価.

ニューモダリティ医薬のLC/MS分析フォーラム (2023.3.17)

石田健太^{*1,2}, 千賀陽子^{*2}, 仁田峠海斗^{*1}, 岡正啓^{*2}, 大岡伸通, 星野秀和^{*2}, 出水庸介, 井上貴雄, 小比賀聡^{*1}, 笠原勇矢^{*2}: 糖・塩基部デュアル修飾型人工核酸を用いた抗CHIP/STUB1 アプタマーの創出.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

^{*1} 大阪大学大学院薬学研究科

^{*2} 医薬基盤・健康・栄養研究所

楠本嵩志*, 佐々木澄美, 立花洗季*, 橋本蒼太*, 山口絢香*, 小川真奈加*, 石原理沙*, 吉田徳幸, 井上貴雄, 奥平桂一郎*: 線虫における核酸トランスポーターSID-1のヒト相同分子の解析.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

* 大阪医科薬科大学大学院薬学研究科

石垣卓^{*1}, 大山泰史^{*2}, 鈴木仁子^{*2}, 神前静香^{*3}, 秋田智香^{*3}, 井上貴雄, 小比賀聡^{*1}, 川上純司^{*3}: 核酸医薬に含まれる不純物のCDスペクトルを用いた検出.
日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

^{*1} 大阪大学大学院薬学研究科

^{*2} 日本分光 (株)

^{*3} 甲南大学フロンティアサイエンス学部

井上貴雄: mRNAワクチンの品質評価に関する考察.
日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

山下拓真, 山本武範, 内田恵理子, 井上貴雄: ゲノム編集によるオフターゲット変異の高感度検出法に関する検討.
日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

高嶺竜太郎^{*1}, 山口卓男^{*1}, 井上貴雄, 小比賀聡^{*1}, 川上純司^{*2}: ベンダーフリーな定量ソフトウェアを用いた核酸医薬品不純物の定量解析.
日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

^{*1} 大阪大学大学院薬学研究科

^{*2} 甲南大学フロンティアサイエンス学部

築茂由則, 鈴木孝昌, 吉田徳幸, 大岡伸通, 内田恵理子, 井上貴雄: 緊急に開発される核酸増幅検査薬の信頼性確保に関わる取り組み.
日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

井上貴雄: 核酸・遺伝子医薬の安全性確保に向けた取り組み.
日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

Uematsu M, Miyamoto Y, Sakoda H, Okamoto Y, Nakaoka R, Haishima Y: Novel measurement method of residual proteins in cleanliness evaluation of reusable and reprocessed medical devices.
Computer Assisted Radiology and Surgery 2022 (2022.6.9)

宮島敦子, 野村祐介, 中岡竜介, 岡本吉弘, 迫田秀行, 齋島由二: 他社製デバイス本体/リード組合せ時のMRI検査に及ぼす影響評価と安全対策に関する研究の概要.
第68回日本不整脈心電学会学術大会 (2022.6.10)

山本栄一, 菅野仁美: 薬物中のニトロソアミン類の液体

クロマトグラフィーによる高感度定量を目的とした汎用試料前処理法.
第29回クロマトグラフィーシンポジウム (2022.6.10)

藤本啓輔^{*1}, 大崎洋充^{*2}, 東山滋明^{*3}, 河邊譲治^{*3}, 中岡竜介, 清水昭伸^{*1}: 骨シンチグラムの陽性高集積検出システムにおける市販後学習.
第41回日本医用画像工学会大会 (2022.7.29)

^{*1} 東京農工大学大学院 工学研究院

^{*2} 群馬県立県民健康化学大学大学院 診療放射線学研究科

^{*3} 大阪市立大学医学部附属病院 核医学科

岡本悠佑, 福井千恵, 赤根弘敏, 豊田武士, 梶山健次*, 権英淑*, 神山文男*, 小川久美子, 伊豆津健一, 山本栄一, 野村祐介: コーティング型マイクロニードルアレイにおける穿刺性及び薬剤透過性の評価.
第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

* コスメディ製薬株式会社

富田康暉^{*1}, 福永一星^{*1}, 渋谷周平^{*1}, 樋口晴^{*1}, ハツ代論^{*2}, 俵和也^{*2}, 中井俊子^{*3}, 安部治彦^{*4}, 宮島敦子, 黒田輝^{*5}, 青木茂樹^{*1}: 他社の本体リード組み合わせからなる植込み型心臓デバイスのMR安全性: 発熱に関する承認組み合わせとの比較.
第50回日本磁気共鳴医学会 (2022.9.9)

^{*1} 順天堂大学

^{*2} BioView株式会社

^{*3} 日本大学

^{*4} 産業医科大学

^{*5} 東海大学

伊藤愛純^{*1}, 矢田部優貴^{*1}, 吉田尚恵^{*2}, 関口真裕^{*2}, 秋田一雅^{*3}, 中村義一^{*3}, 野村祐介, 石川岳志^{*4}, 山岸賢司^{*2}, 坂本泰一^{*1}: IgGに結合するアプタマーへの化学修飾の影響.
第60回日本生物物理学会 (2022.9.28)

^{*1} 千葉工業大学

^{*2} 日本大学

^{*3} 株式会社リボミック

^{*4} 鹿児島大学

岡本悠佑, 野村祐介, 福井千恵, 山本栄一: TTCアプローチにおけるN-ニトロソ・アゾキシ化合物群の網羅的解析.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

宮島敦子, 河上強志, 小森谷薫, 加藤玲子, 伊佐間和郎*: THP-1細胞における酸化亜鉛ナノ粒子の細胞毒性と免疫応答.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.1)

* 帝京平成大学

中岡竜介, 古川浩*, 加藤玲子, 岡本吉弘: AIを利用した医療機器プログラムに対する薬事規制のあり方について.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.1)

* (一社) 日本画像医療システム工業会

野村祐介, 岸田晶夫^{*1}, 山岡哲二^{*2}, 岩崎清隆^{*3}, 中岡竜介, 岡本吉弘, 加藤玲子, 岡本悠佑, 福井千恵, 迫田秀行, 山本栄一: 脱細胞化組織を利用した医療機器の評価法に関する研究.

第60回日本人工臓器学会大会 (2022.11.4)

^{*1} 東京医科歯科大学

^{*2} 国立循環器病研究センター

^{*3} 早稲田大学

迫田秀行, 岡本吉弘, 山本栄一, 今釜崇^{*1}, 坂井孝司^{*1}, 濱田英敏^{*2}, 菅野伸彦^{*2}: マイクロスラリーエロージョン法による抜去人工股関節超高分子量ポリエチレンコンポーネントの広範囲強度評価.

第49回日本臨床バイオメカニクス学会 (2022.11.4)

^{*1} 山口大学

^{*2} 大阪大学

迫田秀行, 岡本吉弘, 山本栄一, 今釜崇^{*1}, 坂井孝司^{*1}, 濱田英敏^{*2}, 菅野伸彦^{*2}: 抜去人工股関節ライナーの簡易的摩耗量評価法の開発.

第49回日本臨床バイオメカニクス学会 (2022.11.4)

^{*1} 山口大学

^{*2} 大阪大学

植松美幸, 宮本優子, 伊藤嘉章*, 内藤朋子*, 藤井慎

二*, 中岡竜介, 靄島由二, 山本栄一: 新規残留蛋白質評価法の再使用可能な医療機器の再生処理における臨床的な有用性評価.

第60回日本人工臓器学会大会 (2022.11.5)

* 三浦工業株式会社

岡本吉弘, 森脇健司*, 迫田秀行, 山本栄一: 大血管の一時閉塞用バルーンから血管が受ける圧力に関する基礎的検討.

第60回日本人工臓器学会大会 (2022.11.5)

* 弘前大学

森脇健司^{*1}, 繁浦瑠偉^{*2}, 山田昭博^{*2}, 岡本吉弘, 白石泰之^{*2}, 藤崎和弘^{*1}, 山家智之^{*2}: 血管モデルへの接触圧力分布がモニタリング可能なカテーテルシミュレータの開発.

第60回日本人工臓器学会大会 (2022.11.5)

^{*1} 弘前大学

^{*2} 東北大学

岡本吉弘, 森脇健司^{*1}, 山家弘雄^{*2}, 迫田秀行, 山本栄一: バルーンカテーテが血管へ与える圧力に関する検討.

第38回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2022.11.11)

^{*1} 弘前大学

^{*2} 昭和大学

森脇健司^{*1}, 岡本吉弘, 山家弘雄^{*2}, 藤崎和弘^{*1}: フィルムセンサによるバルーンカテーテル拡張時に血管壁に作用する圧力の評価.

第38回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2022.11.11)

^{*1} 弘前大学

^{*2} 昭和大学

岡本悠佑, 福井千恵, 赤根弘敏, 豊田武士, 梶山健次*, 権英淑*, 神山文男*, 小川久美子, 伊豆津健一, 山本栄一, 野村祐介: コーティング型マイクロニードルアレイにおける高極性薬剤の皮膚透過性の評価.

第44回日本バイオマテリアル学会大会 (2022.11.21)

* コスメディ製薬株式会社

中岡竜介, 横山結実, 岩下紘子^{*1}, 堀裕一^{*1}, 馬渕清

資^{*2}, 靛島由二, 山本栄一: 色素露出の影響評価を目的としたカラーコンタクトレンズの摩擦係数測定.
第44回日本バイオマテリアル学会大会 (2022.11.22)

^{*1} 東邦大学大学院医学系研究科 眼科学講座

^{*2} 北里大学

A.Miyajima-Tabata: Development and evaluation of alternative methods to skin sensitization tests for medical devices.

3rd Asian Congress for Alternatives to Animal Experiments (ACAAE 2022) (2022.12.15)

迫田秀行, 岡本吉弘, 山本栄一, 今釜崇^{*1}, 坂井孝司^{*1}, 濱田英敏^{*2}, 菅野伸彦^{*2}: 抜去人工股関節ポリエチレンコンポーネントの分析.

第53回日本人工関節学会 (2023.2.18)

^{*1} 山口大学

^{*2} 大阪大学

馬淵清資^{*1}, 酒井利奈^{*1}, 岩下紘子^{*2}, 中岡竜介: 振子法摩擦測定に用いられるStantonの式の精度.
第42回バイオトライボロジシンポジウム (2023.3.17)

^{*1} 北里大学 医療衛生学部

^{*2} 東邦大学大学院医学系研究科 眼科学講座

天野裕太^{*}, 三澤隆史, 宮崎玉樹, 安藤大介, 金澤秀子^{*}, 花岡健二郎^{*}, 山本栄一: リアルタイムin situ X線マイクロコンピューター断層撮影による非晶質ニフェジピンの結晶化の観察: ニフェジピンの結晶化に対する不純物の影響.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

^{*} 慶応大学

岡本悠佑, 福井千恵, 小林俊夫^{*1}, 森岡久子^{*1}, 水町秀之^{*2}, 猪俣依子^{*3}, 金木淳史^{*3}, 靛島由二, 山本栄一, 野村祐介: 医療機器における皮膚感作性試験用陽性対照材料の開発に関する研究.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

^{*1} 一般財団法人化学物質評価研究機構

^{*2} 花王株式会社

^{*3} テルモ株式会社

大嶋直浩, 高木規峰野, 酒井信夫, 五十嵐良明: マイクロチャンバー及び加熱脱離GC/MSによる穀物由来揮発性有機化合物のメタボローム解析.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.20)

Kobayashi N, Tsuchiya Y, Takagi S^{*}, Ikarashi Y: GC/MS target screening method for 176 agricultural chemicals in raw and drinking water samples.

Nontarget Analysis for Environmental Risk Assessment, SETAC Focused Topic Meeting (2022.5.22)

^{*} Osaka Institute of Public Health

森寄仁美^{*}, 竹中基^{*}, 里見直義^{*}, 松本舞^{*}, 村山直也^{*}, 田原麻衣子, 河上強志, 五十嵐良明, 室田浩之^{*}: 留置外套針によるアレルギー性接触皮膚炎の1例.

第121回日本皮膚科学会総会 (2022.6.2)

^{*} 長崎大学病院

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: メイクアップ化粧品に含まれる微量元素不純物の実態調査: アイシャドウ.
第47回日本化粧品学会 (2022.6.10)

田原麻衣子, 河上強志, 五十嵐良明: ヘリウム代替キャリアーガスを用いたエアゾール製品中のメタノール, トリクロロエチレンおよびテトラクロロエチレンのGC-MS分析.

第30回環境化学討論会 (環境化学物質3学会合同大会) (2022.6.14)

河上強志, 小濱とも子, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 色素中の特定芳香族アミン類の分析法開発及び実態調査.

第30回環境化学討論会 (環境化学物質3学会合同大会) (2022.6.14)

久保田領志, 小峯宏之^{*}, 鈴木俊也^{*}, 河上強志, 五十嵐良明: マイクロ波分解-ICP-MSによる家庭用品中水銀試験法の検討.

環境化学物質3学会合同大会 第30回環境化学討論会 (環境化学物質3学会合同大会) (2022.6.15)

^{*} 東京都健康安全研究センター

小林憲弘, 高木総吉^{*1}, 木下輝昭^{*2}, 坂田脩^{*3}, 仲野富美^{*4}, 渡辺直人^{*5}, 野村あづみ^{*6}, 河相暢幸^{*7}, 平岩俊

也^{*8}, 奥村学^{*9}, 古川浩司^{*10}, 粕谷智浩^{*11}, 岩間紀知^{*12}, 米久保淳^{*13}, 高原玲華^{*14}, 田中誠也^{*15}, 土屋裕子, 五十嵐良明: LC/MS/MSによる水道水中の有機フッ素化合物21種の一斉分析法の開発と妥当性評価.

第30回環境化学討論会 (環境化学物質 3 学会合同大会) (2022.6.16)

^{*1} 大阪健康安全基盤研究所

^{*2} 東京都健康安全研究センター

^{*3} 埼玉県衛生研究所

^{*4} 神奈川県衛生研究所

^{*5} 広島市水道局

^{*6} 川崎市上下水道局

^{*7} 福山市上下水道局

^{*8} 神奈川県企業庁

^{*9} 名古屋市上下水道局

^{*10} 三重県環境保全事業団

^{*11} 千葉県薬剤師会検査センター

^{*12} 岐阜県公衆衛生検査センター

^{*13} 日本ウォーターズ

^{*14} ジーエルサイエンス

^{*15} アジレントテクノロジー

渡部春奈*, 山岸隆博*, 小林憲弘, 阿部良子*, 小塩正朗*, 山本裕史*: 影響指向型解析を用いた公共用水域の生態影響評価と原因化学物質の探索.

第30回環境化学討論会 (環境化学物質 3 学会合同大会) (2022.6.16)

* 国立環境研究所

小林憲弘, 内野正, 五十嵐良明: ヒト用医薬品の環境モニタリングおよび環境動態予測手法の構築.

第49回日本毒性学会学術年会シンポジウム「ヒト用医薬品の環境リスク評価研究の進展と将来展望」(2022.7.2)

森葉子^{*1}, 井上凌子^{*1}, 青木明^{*1}, 岡本誉士典^{*1}, 大嶋直浩, 田原麻衣子, 酒井信夫, 香川 (田中) 聡子^{*2}, 神野透人^{*1}: TVOCのデコンボリューション解析による室内空気汚染化学物質の探索.

第68回日本薬学会東海支部総会・大会 (2022.7.9)

^{*1} 名城大学薬学部

^{*2} 横浜薬科大学

Kobayashi N, Takagi S^{*1}, Kinoshita T^{*2}, Sakata O^{*3}, Nakano F^{*4}, Watanabe N^{*5}, Nomura A^{*6}, Kawai N^{*7},

Hiraiwa T^{*8}, Okumura M^{*9}, Furukawa K^{*10}, Kasuya T^{*11}, Iwama N^{*12}, Yonekubo J^{*13}, Takahara R^{*14}, Tanaka S^{*15}, Tsuchiya Y, Ikarashi Y: Development and validation of an analytical method for simultaneous determination of perfluoroalkyl acids in drinking water by liquid chromatography/tandem mass spectrometry. Water and Environment Technology Conference Online 2022 (2022.7.9)

^{*1} Osaka Institute of Public Health

^{*2} Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

^{*3} Saitama Institute of Public Health

^{*4} Kanagawa Prefectural Institute of Public Health

^{*5} Waterworks Bureau, The City of Hiroshima

^{*6} Waterworks Bureau, City of Kawasaki

^{*7} Fukuyama City Waterworks and Sewerage Bureau

^{*8} Kanagawa Prefectural Public Enterprises Agency

^{*9} Nagoya City Waterworks and Sewerage Bureau

^{*10} Mie Prefecture Environmental Conservation Agency

^{*11} Chiba Pharmaceutical Association

^{*12} Gifu Research Center for Public Health

^{*13} Nihon Waters K.K.

^{*14} GL Sciences Inc.

^{*15} Agilent Technologies Japan

大嶋直浩, 河上強志, 高橋夏子, 高木規峰野, 小濱とも子, 田原麻衣子, 酒井信夫, 五十嵐良明: 規格化を指向した一般用マスクに含まれる揮発性有機化合物の実態調査.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

大嶋直浩, 高橋夏子, 高木規峰野, 小濱とも子, 田原麻衣子, 河上強志, 酒井信夫, 五十嵐良明: 家庭用マスクから放散される揮発性有機化合物.

フォーラム2022 衛生薬学・環境トキシコロジー (2022.8.31)

寺田麻結*, 大越一輝*, 三宅伶奈*, 佐藤聡*, 大嶋直浩, 羽田紀康*: ミャンマー産ハトムギの成分探索 (2). 日本生薬学会第68回年会 (2022.9.8)

* 東京理科大学薬学部

原田紫織*, 大越一輝*, 大嶋直浩, 羽田紀康*: 五苓散におけるエキス剤と散剤の成分比較.

日本生薬学会第68回年会 (2022.9.8)

* 東京理科大学薬学部

齋藤真穂*, 大越一輝*, 大嶋直浩, 羽田紀康*: 生薬の配合による当帰由来リグスチリドの抽出量変化 (3).

日本生薬学会第68回年会 (2022.9.8)

* 東京理科大学薬学部

香川 (田中) 聡子^{*1}, 酒井信夫, 神野透人^{*2}: 室内空気中総揮発性有機化合物 (TVOC) に関する最新の動向. 第63回大気環境学会年会 (2022.9.14)

^{*1} 横浜薬科大学

^{*2} 名城大学薬学部

Azuma K^{*1}, Jinno H^{*2}, Tanaka-Kagawa T^{*3}, Sakai S: Hazard and risk assessment for indoor air pollutants: dimethylsiloxanes, glycols, butanediol, hydrocarbons, trimethylbenzenes, benzene, naphthalene, and ethyltoluene, 34th Annual Conference of the International Society for Environmental Epidemiology (ISEE 2022) (2022.9.19)

^{*1} Faculty of Medicine, Kindai University

^{*2} Faculty of Pharmacy, Meijo University

^{*3} Yokohama University of Pharmacy

水野彩加^{*1,2}, 欠田成人^{*1}, 山中恵一^{*2}, 杉山真理子^{*3,4}, 松永佳世子^{*3,4}, 田原麻衣子, 河上強志: ダーマボンド[®]アドバンスドの2-octylcyanoacrylateによる接触皮膚炎症候群の1例.

第73回皮膚科学会中部支部学術大会 (2022.10.29)

^{*1} 済生会松阪総合病院

^{*2} 三重大学

^{*3} 藤田医科大学医学部

^{*4} 一般社団法人SSCI-Net

河上強志, 田原麻衣子, 石原三枝, 五十嵐良明: 家庭用品中のアレルギー性染料に関する調査.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

河上強志, 井上薫, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 家庭用品規制法における有害物質候補の順位付け方法に関する検討.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

大嶋智子*, 角谷直哉*, 河上強志: 家庭用品規制法における防炎加工剤の試験法の検討 (V).

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

* 大阪健康安全基盤研究所

西以和貴*, 吉富太一*, 田原麻衣子, 河上強志: クレオソート油及びその処理木材中多環芳香族炭化水素類試験法の検討—精製法及び改正試験法の添加回収試験—. 第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

* 神奈川県衛生研究所

田原麻衣子, 河上強志, 五十嵐良明: 家庭用品規制法におけるヘリウム不足に対応した繊維および革製品中のアゾ化合物試験法に関する検討.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

久保田領志, 河上強志, 五十嵐良明: マイクロ波分解-ICP-MSによる家庭用品中水銀スクリーニング法の検討.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

小林憲弘, 内野正, 五十嵐良明: 水系暴露濃度予測モデルによるヒト用医薬品11種の河川水中濃度の推計.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

竹内和也^{*1}, 神谷孝平^{*1}, 渡辺真一^{*2}, 山鹿宏彰^{*2}, 若林晃次^{*3}, 田原宥^{*3}, 堀江宣行^{*4}, 藤本恵一^{*4}, 河上強志, 小島幸一^{*5}, 寒水孝司^{*6}, 小島肇, 山本裕介^{*7}, 藤田正晴^{*7}, 笠原利彦^{*7}, 小野敦^{*8}: *in chemico*皮膚感作性試験ADRA法のガイドライン改訂に向けたリング試験.

日本動物実験代替法学会第35回大会 (2022.11.1)

^{*1} 日産化学株式会社 生物科学研究所 安全性研究部

^{*2} ライオン株式会社 研究開発本部 安全性科学研究所

^{*3} 三井化学株式会社 RC・品質保証部 化学品安全センター

^{*4} 住友化学株式会社 生物環境科学研究所

^{*5} 一般社団法人食品薬品安全センター

^{*6} 東京理科大学 工学部

^{*7} 富士フイルム株式会社 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター

^{*8} 岡山大学 医歯薬学総合研究科

大嶋直浩, 高木規峰野, 高橋夏子, 酒井信夫, 五十嵐良明, 千葉真弘^{*1}, 柴田学^{*2}, 岩館樹里^{*3}, 後藤吉乃^{*4}, 佐藤智子^{*5}, 田中智子^{*6}, 大竹正芳^{*7}, 角田徳子^{*8}, 上村仁^{*9}, 田中礼子^{*10}, 高居久義^{*11}, 中村雄介^{*12}, 堀井裕子^{*13}, 望月映希^{*14}, 伊藤彰^{*15}, 山本優子^{*16}, 大野浩之^{*17}, 藤本恭史^{*18}, 吉田俊明^{*19}, 古市裕子^{*20}, 八木正博^{*21}, 伊達英代^{*22}, 谷脇妙^{*23}, 松本弘子^{*24}, 吉村裕紀^{*25}, 前田美奈子^{*26}: 令和3年度室内空気環境汚染に関する全国実態調査.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.1)

^{*1} 北海道立衛生研究所

^{*2} 札幌市衛生研究所

^{*3} 青森県環境保健センター

^{*4} 岩手県環境保健研究センター

^{*5} 宮城県保健環境センター

^{*6} 千葉県衛生研究所

^{*7} 千葉市環境保健研究所

^{*8} 東京都健康安全研究センター

^{*9} 神奈川県衛生研究所

^{*10} 横浜市衛生研究所

^{*11} 川崎市健康安全研究所

^{*12} 新潟県保健環境科学研究所

^{*13} 富山県衛生研究所

^{*14} 山梨県衛生環境研究所

^{*15} 静岡県環境衛生科学研究所

^{*16} 愛知県衛生研究所

^{*17} 名古屋市衛生研究所

^{*18} 京都府保健環境研究所

^{*19} 大阪健康安全基盤研究所

^{*20} 大阪市立環境科学研究センター

^{*21} 神戸市環境保健研究所

^{*22} 広島県立総合技術研究所保健環境センター

^{*23} 高知県衛生環境研究所

^{*24} 福岡市保健環境研究所

^{*25} 長崎県環境保健研究センター

^{*26} 沖縄県衛生環境研究所

大嶋直浩, 田原麻衣子, 酒井信夫, 五十嵐良明: 一般居住住宅における室内空気質に関する全国実態調査.

2022年度室内環境学会学術大会 (2022.12.1)

森葉子^{*1}, 香川 (田中) 聡子^{*2}, 田原麻衣子, 河上強志, 青木明^{*1}, 岡本誉士典^{*1}, 磯部隆史^{*2}, 大河原晋^{*2}, 埴岡伸光^{*2}, 東賢一^{*3}, 酒井信夫, 神野透人^{*1}: 2-Ethyl-1-hexanol, TexanolおよびTXIBによる侵害刺激の種差に関する研究.

2022年室内環境学会学術大会 (2022.12.1)

^{*1} 名城大学薬学部

^{*2} 横浜薬科大学

^{*3} 近畿大学医学部

千葉真弘^{*}, 兼俊明夫^{*}, 大泉詩織^{*}, 田原麻衣子, 大嶋直浩, 酒井信夫: 室内空気中の揮発性有機化合物 (VOCs) 分析における除湿管の影響.

2022年度室内環境学会学術大会 (2022.12.1)

^{*} 北海道立衛生研究所

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 家庭用品等に含まれる感作性物質の実態調査—家庭用マスク中のホルムアルデヒド, 紫外線吸収剤及び分散染料—.

第52回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会 (2022.12.16)

欠田成人^{*1}, 水野彩加^{*1,2}, 山中恵一^{*2}, 杉山真理子^{*3,4}, 松永佳世子^{*3,4}, 田原麻衣子, 河上強志: ダーマボンド[®]アドバンスドの2-オクチルシアノアクリレートによる接触皮膚炎症候群.

第4回日本アレルギー学会東海地方会 (2023.3.4)

^{*1} 済生会松阪総合病院

^{*2} 三重大学

^{*3} 藤田医科大学医学部

^{*4} 一般社団法人SSCI-Net

田原麻衣子, 河上強志, 石原三枝, 五十嵐良明: 家庭用品に含有されるビスフェノール類の実態調査.

日本薬学会第143年会 (2023.3.16)

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: ワセリン及び流動パラフィン中の多環芳香族炭化水素類 (PAHs) 分析法の開発.

日本薬学会第143年会 (2023.3.16)

藤井まき子^{*1}, 橋崎要^{*1}, 田口博之^{*1}, 田原麻衣子, 五十嵐良明, 矢上晶子^{*2}: タクロリムス軟膏ジェネリック製品による有害事象の原因検討—添加物と性状の影響—.

日本薬学会第143年会 (2023.3.16)

^{*1} 日本大学薬学部

^{*2} 藤田医科大学医学部

西以和貴*, 吉富太一*, 河上強志：市販繊維製品からのAryl hydrocarbon receptor活性の検出.
日本薬学会第143年会 (2023.3.16)

* 神奈川県衛生研究所

高木規峰野, 大嶋直浩, 田原麻衣子, 酒井信夫, 五十嵐良明：GC-MS/MSを用いた室内空气中殺虫剤の分析法.
日本薬学会143回年会 (2023.3.16)

大嶋直浩, 高木規峰野, 酒井信夫, 五十嵐良明：機能性繊維製品から放散する揮発性有機化合物のGC/MS分析に用いるキャリアガスの比較.
日本薬学会143回年会 (2023.3.16)

寺田麻結*, 大越一輝*, 三宅伶奈*, 佐藤聡*, 大嶋直浩, 羽田紀康*：ミャンマー産ハトムギの成分探索 (3).
日本薬学会143回年会 (2023.3.16)

* 東京理科大学薬学部

新野美奈*, 齋藤真穂*, 大越一輝*, 大嶋直浩, 羽田紀康*：生薬の配合による当帰由来リグスチリドの抽出量変化 (4).
日本薬学会143回年会. (2023.3.16)

* 東京理科大学薬学部

久保田領志, 河上強志, 五十嵐良明：マイクロ波分解-ICP-MSによる家庭用品中金属類スクリーニング法の検討.
日本薬学会第143年会 (2023.3.16)

五十嵐良明, 小濱とも子, 秋山卓美, 安田純子^{*1}, 久世哲也^{*2}, 野村淳子^{*3}, 小山十糸子^{*4}, 榊原直樹^{*5}, 中村絢^{*6}, 小島尚^{*7}, 藤井まき子^{*8}：香粧品試験法 ホルムアルデヒド.
日本薬学会第143年会 (2023.3.16)

^{*1} (株) コーセー

^{*2} (株) カネボウ化粧品

^{*3} (株) 資生堂

^{*4} ポーラ化成工業 (株)

^{*5} 日本食品分析センター

^{*6} 東京都健康安全研究センター

^{*7} (一社) 適防会議医薬品適正使用・乱用防止推進会議

^{*8} 日本大学薬学部

吉田仁*, 高木総吉*, 安達史恵*, 小池真生子*, 小林憲弘, 土屋裕子, 山口進康*：LC-QTOFMSによる河川水中の農薬類ターゲットスクリーニング分析法の定量精度.

第57回日本水環境学会年会 (2023.3.16)

* 大阪健康安全基盤研究所

山原慎之助^{*1}, 久保田領志, 沖田純平^{*1}, 中田晴彦^{*2}：Portable XRF を用いたプラスチック中の無機元素分析法の有用性評価－漂着プラごみ・プラスチック片への応用－.
第57回日本水環境学会年会 (2023.3.17)

^{*1} 熊本大学大学院自然科学研究科

^{*2} 熊本大学大学院先端科学研究部

高木総吉*, 小林憲弘, 吉田仁*, 土屋裕子, 村田楓果：LC-MS/MSを用いた水道原水および水道水中PFBAの分析における注意点.
第57回日本水環境学会年会 (2023.3.17)

* 大阪健康安全基盤研究所

小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明：LC-MS/MSを用いた水道水中の陰イオン界面活性剤 (LAS) の分析法の検討.
第57回日本水環境学会年会 (2023.3.17)

内山奈穂子：「³¹P-qNMRを用いた有機リン化合物 (医薬品) の純度測定」, 一般シンポジウム「医薬品, 食品分野等における定量NMRの実装とこれから」.
日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明：水道水質検査方法におけるヘリウムガス供給問題への対応.
日本薬学会第143年会 環境・衛生部会衛生試験法シンポジウム：水環境における化学物質分析の最新動向 (2023.3.27)

門倉百花^{*1}, 竹井朝香^{*1}, 鈴木美成, 安達玲子, 中村公亮, 伊藤里恵^{*1}, 福家辰樹^{*2}, 穂山浩^{*1}：食物アレルギー表示のリスク評価における卵および乳タンパク質の暴露推定.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.19)

^{*1} 星薬科大学

^{*2} 国立成育医療研究センター

山崎由貴, 鈴木美成, 北山育子, 布目真梨^{*1}, 近藤翠, 坂井隆敏, 根本了, 穂山浩^{*2}, 堤智昭: 農産物中のジベレリン天然含有量の実態調査.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.19)

^{*1} 立命館大学薬学部

^{*2} 星薬科大学

尾形駿介^{*1}, 高橋未来, 穂山浩^{*2}, 堤智昭, 井之上浩一^{*1}: LC-MS/MSを用いた畜水産物中のスピラマイシン分析法の開発.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.20)

^{*1} 立命館大学薬学部

^{*2} 星薬科大学

田口貴章, 山村真由^{*}, 難波樹音, 穂山浩^{*}, 堤智昭: 機能性表示食品に含まれるプロシアニジンA2の安定性の検討.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.20)

^{*} 星薬科大学

菊地博之, 坂井隆敏, 大倉知子, 根本了, 穂山浩^{*}, 堤智昭: LC-MS/MSを用いた畜産物中のイソキサフルトール試験法の開発.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.20)

^{*} 星薬科大学

中村公亮, 千葉慎司, 木内隆, 柏原奈央, 山崎由貴, 佐々木敏^{*1}, 吉池信男^{*2}, 穂山浩^{*3}, 堤智昭: 加工食品を含む食品からの残留農薬等の摂取量を推定できる新たな手法の開発の試み.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.20)

^{*1} 東京大学大学院医学系研究科

^{*2} 青森県立保健大学大学院健康科学研究科

^{*3} 星薬科大学

千葉慎司, 中村公亮, 木内隆, 鍋師裕美, 堤智昭, 蜂須賀暁子, 穂山浩: 果実とそれらを加工した食品に関する公開放射性セシウム検査データの経時変化.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.20)

堤智昭, 足立利華, 川嶋文人^{*1}, 山本一樹^{*2}, 上田祐子^{*2}, 高附巧, 穂山浩^{*3}: 自動前処理装置を用いた肉類

及び卵類中のダイオキシン類分析の検討.

第30回環境化学討論会 (2022.6.14)

^{*1} 愛媛大学大学院農学研究科

^{*2} 三浦工業 (株)

^{*3} 星薬科大学

飛石和大^{*1}, 佐藤環^{*1}, 堀就英^{*1}, 堤智昭, 穂山浩^{*2}: 食品中のハロゲン系難燃剤の一斉分析法の検討 (2).

第30回環境化学討論会 (2022.6.14)

^{*1} 福岡県保健環境研究所

^{*2} 星薬科大学

佐藤環^{*1,2}, 飛石和大^{*1}, 堀就英^{*1}, 堤智昭, 穂山浩^{*3}, 松井利郎^{*2}: 市販の調理済み食品 (弁当類) からの臭素系難燃剤ヘキサブロモシクロドデカンの摂取量調査.

第30回環境化学討論会 (2022.6.14)

^{*1} 福岡県保健環境研究所

^{*2} 九州大学大学院農学研究院

^{*3} 星薬科大学

鈴木美成, 張本雅恵, 近藤翠, 穂山浩^{*}, 堤智昭: 魚介類試料中に含まれている銀ナノ粒子測定のための前処理法の開発.

環境化学物質3学会合同大会 (2022.6.16)

^{*} 星薬科大学

鈴木美成: トータルダイエット試料を用いた化学物質の曝露量推定とリスク評価.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

Suzuki Y, Kitayama I, Harimoto M, Kondo M, Akiyama H^{*}, Tsutsumi T: Dietary exposure to trace elements in Japan in 2019-2021 with time trends since 1977.

The 8th International Symposium on Metallomics (2022.7.13)

^{*} Hoshi University

Saito-Shida S, Kashiwabara N, Nemoto S, Akiyama H^{*}: Determination of 8 α -hydroxymutillin as a marker residue for tiamulin in swine tissue by liquid chromatography-tandem mass spectrometry.

2022 North American Chemical Residue Workshop

(NACRW 2022) (2022.7.26)

* Hoshi University

高橋未来, 北山育子, 鈴木美成, 堤智昭: ミネラルウォーター類における有機フッ素化合物の含有量調査を目指した分析法の基礎検討.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

竹井朝香^{*1}, 門倉百花^{*1}, 鈴木美成, 安達玲子, 中村公亮, 伊藤里恵^{*1}, 福家辰樹^{*2}, 穂山浩^{*1}: 食物アレルギー表示のリスク評価における小麦タンパク質の暴露推定. 第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

^{*1} 星薬科大学

^{*2} 国立成育医療研究センター

山崎由貴, 中村公亮, 千葉慎司, 柏原奈央, 穂山浩, 堤智昭: 国際機関の農薬評価データの網羅的解析に基づく食品の加工係数予測モデルの構築.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

Yamasaki Y, Nakamura K, Chiba S, Kashiwabara N, Akiyama H, Tsutsumi T: Development of a prediction model for processing factor of pesticides based on comprehensive analysis of international organization's reports.

2022 AOAC INTERNATIONAL Annual Meeting & Exposition (2022.8.31)

Nakamura K, Kiuchi T, Chiba S, Yamasaki Y, Sasaki S^{*1}, Yohiike N^{*2}, Akiyama H^{*3}, Tsutsumi T: Development of a refined dietary exposure assessment method for pesticides using a nationwide dietary survey data.

2022 AOAC INTERNATIONAL Annual Meeting & Exposition (2022.8.31)

^{*1} Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

^{*2} Aomori University of Health and Welfare

^{*3} Hoshi University

Saito-Shida S, Nemoto S, Akiyama H*, Tsutsumi T:

Development of an analytical method for determination of acetochlor and its metabolites in crops by liquid chromatography-tandem mass spectrometry.

2022 AOAC INTERNATIONAL Annual Meeting & Exposition (2022.9.1)

* Hoshi University

Sakai T: Analytical method for glyphosate, glufosinate and their metabolites in agricultural products using LC-MS/MS.

2022 APEC Online Communication Platform for Testing Techniques for Food-Pesticide Residue Workshop (2022.9.13)

駒場啓祐^{*1}, 大河内博^{*1}, 鈴木美成, 川嶋文人^{*2}: 都市大気中および雨水中農薬の実態解明と個人 暴露評価のためのウェアラブルサンプラーの開発.

第63回大気環境学会年会 2022年9月14日 (大阪)

^{*1} 早稲田大学理工学部

^{*2} 愛媛大学大学院農学研究科

Sato T^{*1,2}, Tobiishi K^{*1}, Hori T^{*1}, Tsutsumi T, Akiyama H^{*3}, Matsui T^{*2}: Exposure to Halogenated Flame Retardants from Fish Oil Supplements.

42nd International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (2022.10.10)

^{*1} Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences

^{*2} Faculty of Agriculture, Graduate School of Kyushu University

^{*3} Hoshi University

Suzuki Y, Harimoto M, Akiyama H*, Tsutsumi T: Estimation of dietary exposure to Ag-nanoparticles using a total diet study.

The 12th Global Summit on Regulatory Science (2022.10.20)

* Hoshi University

菊地博之, 坂井隆敏, 大倉知子, 根本了, 穂山浩*, 田口貴章, 堤智昭: LC-MS/MSによる畜産物中のフラボフォスフォリボル分析法の開発.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

* 星薬科大学

坂井隆敏, 菊地博之, 根本了, 田口貴章, 堤智昭: 畜水産食品中のニフルスチレン酸ナトリウム分析法の開発.
第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

鍋師裕美, 前田朋美, 張天齊, 蜂須賀暁子, 堤智昭: 流通食品中の放射性セシウム濃度調査 (2021年度).
第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

高附巧, 張天齊, 前田朋美, 足立利華, 河野洋一*, 小杉正樹*, 柳俊彦*, 鍋師裕美, 堤智昭: トータルダイエツト試料によるダイオキシン類の摂取量推定 (令和3年度).
第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

* (一財) 日本食品分析センター

張天齊, 高附巧, 足立利華, 前田朋美, 飛石和大*, 佐藤環*, 堀就英*, 鍋師裕美, 堤智昭: 魚油を原料とする健康食品からのポリ塩化ビフェニルの摂取量調査.
第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

* 福岡県保健環境研究所

高橋未来, 北山育子, 鈴木美成, 堤智昭: LC-MS/MSによるパーフルオロアルキル化合物 (PFAS) の一斉分析法の検討.
第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

中村公亮, 千葉慎司, 木内隆, 柏原奈央, 山崎由貴, 佐々木敏^{*1}, 吉池信男^{*2}, 穂山浩^{*3}, 堤智昭: ~最新の全国食品摂取量データを用いた解析~日本人の残留農薬等のばく露量推計の精密化の試み.
第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

^{*1} 東京大学大学院医学系研究科

^{*2} 青森県立保健大学大学院健康科学研究科

^{*3} 星薬科大学

志田 (齊藤) 静夏: 残留農薬等分析における試料調製について.
第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.1)

Nabeshi H, Tsutsumi T, Imamura M, Uekusa U, Takatsuki S, Maeda T, Nakamura K, Hachisuka A,

Matsuda R, Teshima R, Akiyama H: Estimation of annual committed effective dose of radioactive cesium in Japan after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: Market basket study from 2013 to 2019. ICRP 2021+1, the 6th International Symposium on the System of Radiological Protection, and 2021 Annual Meeting of the Canadian Radiation Protection Association (Online, 2022.11.7)

志田 (齊藤) 静夏, 齊藤真希, 根本了, 堤智昭: ガスクロマトグラフィー/大気圧化学イオン化質量分析による穀類・豆類中の残留農薬一斉分析~窒素及びヘリウムキャリアーガスの比較~.
日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.10)

山崎由貴, 中村公亮, 柏原奈央, 千葉慎司, 穂山浩, 堤智昭: 農薬の物理化学的性質に基づく食品の加工係数予測モデルの開発.
日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.10)

小山達也*, 中村公亮, 吉池信男*: 日本食品標準成分表に掲載されている加工食品の原材料配合比を推測する方法の検討.
日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.10)

* 青森県立保健大学大学院健康科学研究科

北村真理子*, 朝倉敬行*, 竹内理貴*, 宮田昌弘*, 中里光男*, 安田和男*, 根本了: 畜水産物中のニコザマイシン分析法.
日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.11)

* (一財) 東京顕微鏡院

竹内理貴*, 朝倉敬行*, 北村真理子*, 宮田昌弘*, 中里光男*, 安田和男*, 根本了: LC-MS/MSを用いた畜産物中のラサロシド分析法.
日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.11)

* (一財) 東京顕微鏡院

田口貴章, 山下涼香, 穂山浩*, 堤智昭: 食品テロ対策のためのLC-MS/MSによる血液・尿等人体試料中の高極性農薬の分析法検討.
日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.11)

* 星薬科大学

関澤純平*, 山村真由*, 田口貴章, 伊藤里恵*, 穂山浩*: LC-MS/MSを用いた機能性表示食品中に含まれる14種フラバノールの一斉分析法の検討.

日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.11)

* 星薬科大学

鍋師裕美, 張天齊, 蜂須賀暁子, 堤智昭: マーケットバスケット方式による放射性セシウム及びストロンチウム90の預託実効線量の推定 (2020年調査).

第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.11)

高橋未来, 鈴木美成, 張本雅恵, 穂山浩, 堤智昭: 銀ナノ粒子の食品の曝露推定を目的としたトータルダイエツト調査.

第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.11)

佐藤環^{*1,2}, 飛石和大^{*1}, 堀就英^{*1}, 堤智昭, 穂山浩^{*3}, 松井利郎^{*2}: 魚介類を主菜とする市販の調理済み食品(弁当類)からの塩素系難燃剤デクロラン類の摂取量調査.

第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.11)

^{*1} 福岡県保健環境研究所

^{*2} 九州大学大学院農学研究院

^{*3} 星薬科大学

志田(齊藤)静夏, 齋藤真希, 根本了, 堤智昭: 果実における試料調製方法の検討: ドライアイスまたは液体窒素を用いた凍結粉碎法と常温磨砕法の比較.

第45回農薬残留分析研究会 (2022.11.24)

根本了: 食品に残留する農薬等の試験法「通知一斉試験法について」.

日本農薬学会第45回農薬残留分析研究会 (2022.11.13)

Fukuie T^{*1}, Takeuchi S^{*2}, Saito M^{*2}, Adachi R, Akiyama H^{*3}, Suzuki Y, Ohya Y^{*1}, Saito H^{*4}: Bayesian statistics and modeling approaches for estimating allergic reactions to foods and evaluating quantitative risk assessment in Japan.

2023 American Academy of Allergy, Asthma & Immunology (AAAAI) Annual Meeting (2023.2.26)

^{*1} National Center for Child Health and Development

^{*2} University of Nagasaki

^{*3} Hoshi University

^{*4} National Research Institute for Child Health.

鈴木美成, 高橋未来, 近藤翠, 張本雅恵, 穂山浩*, 堤智昭: 食品に含まれる銀ナノ粒子の実態と曝露量推定.

日本薬学会第143年会 (2022.3.26)

* 星薬科大学

森田胡桃^{*1}, 峰岸元気^{*1}, 山崎由貴, 星野雅輝^{*2}, 新田真一郎^{*2}, 宮嶋篤志^{*1}, 古谷裕^{*3}, 松浦和知^{*3}, 小林カオル^{*1}: インターフェロン α 受容体アゴニストによるCYP1A2活性への影響.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

^{*1} 明治薬科大学

^{*2} LSIメディエンス

^{*3} 東京慈恵会医科大学

塩谷瑠奈*, 石川和樹*, 橋本実里*, 橋元誠*, 田口貴章, 市瀬浩志*: Actinorhodin生合成の*in vitro*再構成に向けた酵素反応条件の最適化 (第2報).

日本薬学会第143年会 (2022.3.27)

* 武蔵野大学

真宮彩乃*, 長友涼介*, 堤智昭, 井之上浩一*: LC-MS/MSを用いた食品中有機フッ素化合物の高精度分析法の開発 食品内在性の胆汁酸によるPFOS偽陽性リスクの検討.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

* 立命館大学大学院薬学研究科

杉本直樹: 医薬品, 食品分野等における定量NMRの実装とこれから. 定量NMRの標準化と実用化.

日本薬学会第143年会一般シンポジウム (2023.3.27)

多田敦子, 堀江正一^{*1}, 内山陽介^{*2}, 栗田史子^{*3}, 門間公夫^{*3}, 山嶋裕季子^{*4}, 杉浦潤^{*5}, 大槻崇^{*6}, 渡部緑^{*7}, 金田祥子^{*8}, 久保田浩樹, 建部千絵, 寺見祥子, 日置冬子, 佐藤恭子, 杉本直樹: 食品中の食品添加物分析法改正に向けた検討 (令和3年度).

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.1)

^{*1} 大妻女子大学

^{*2} 神奈川県衛生研究所

^{*3} 川崎市健康安全研究所

*⁴ 東京都健康安全研究センター

*⁵ 名古屋市衛生研究所

*⁶ 日本大学

*⁷ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*⁸ 横浜市衛生研究所

久保田浩樹, 村越早織^{*1}, 小金澤望^{*1}, 滝川香織^{*1}, 木村雅子^{*2}, 林柚衣^{*2}, 根岸真奈美^{*2}, 関根百合子^{*2}, 佐々木隆宏^{*3}, 門間公夫^{*3}, 藤田直希^{*4}, 安永恵^{*4}, 渡部緑^{*5}, 中島安基江^{*5}, 竹下智章^{*6}, 小川尚孝^{*6}, 仲眞弘樹^{*7}, 喜屋武千早^{*7}, 古謝あゆ子^{*7}, 寺見祥子, 建部千絵, 長尾なぎさ, 多田敦子, 佐藤恭子, 杉本直樹: 令和3年度マーケットバスケット方式による食品添加物の一日摂取量調査.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.1)

*¹ 札幌市衛生研究所

*² 仙台市衛生研究所

*³ 東京都健康安全研究センター

*⁴ 香川県環境保健研究センター

*⁵ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*⁶ 長崎市保健環境試験所

*⁷ 沖縄県衛生環境研究所

建部千絵, 藤原由美子, 久保田浩樹, 多田敦子, 佐藤恭子, 杉本直樹: HS-GC/MSを用いたショ糖脂肪酸エステル中の残留溶媒分析法の検討.

日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.11)

西崎雄三, 建部千絵, 石附京子, 増本直子, 吉田久美^{*}, 杉本直樹, 佐藤恭子: 外部標準法定量NMR (EC-qNMR) によるアントシアニンの純度測定.

日本食品化学会第28回総会・学術大会 (2022.5.19)

* 名古屋大学

西崎雄三, 鳥海栄輔^{*}, 中西資^{*}, 石附京子, 増本直子, 杉本直樹: 既存添加物: 乾留抽出物製品のPAHs定量分析法の開発と実態調査.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.1)

* (一財) 日本食品分析センター

西崎雄三, 石附京子, 吉村弘伸^{*}, 松熊伸也^{*}, 朝倉克夫^{*}, 末松孝子^{*}, 杉本直樹: Q値を指標にした外部標準法定量NMR (EC-qNMR) の測定自動化とその定量精度について.

第61回NMR討論会 (2022.11.8)

* 日本電子株式会社

増本直子, 中島馨, 西崎雄三, 石附京子, 杉本直樹, 佐藤恭子: クロロゲン酸類縁体の構造と相対モル感度の関係.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.19)

石附京子, 西崎雄三, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子: 乾留抽出により得られる既存添加物の成分比較 (木酢液・チャ乾留物・モウソウチク乾留物).

日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.11)

中島馨, 増本直子, 西崎雄三, 石附京子, 杉本直樹, 佐藤恭子: りんごに含まれるクロロゲン酸類の相対モル感度を用いた定量法の確立.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.20)

加藤菜帆^{*}, 西崎雄三, 増本直子, 石附京子, 中島馨, 大概崇^{*}, 松藤寛^{*}, 杉本直樹, 佐藤恭子: 天然苦味料ニガヨモギ抽出物の成分規格作成を目的とした基礎的検討.

日本食品化学会第28回総会・学術大会 (2022.5.19)

* 日本大学

都築明日香^{*}, 西崎雄三, 増本直子, 鈴木俊宏^{*}, 兎川忠晴^{*}, 杉本直樹: 外部標準法定量NMR (EC-qNMR): 試料間でレシーバーゲインが異なるときの補正について.

第4回日本定量NMR研究会年会 (2022.12.16)

* 明治薬科大学

天倉吉章^{*}, 内倉崇^{*}, 好村守生^{*}, 増本直子, 西崎雄三, 杉本直樹: 既存添加物ヒマワリ種子抽出物の成分解析.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

* 松山大学

六鹿元雄, 阿部智之^{*1}, 阿部裕, 岩越景子^{*2}, 大野浩之^{*3}, 尾崎麻子^{*4}, 金子令子^{*5}, 河村葉子, 中西徹^{*6}, 松井秀俊^{*7}, 渡辺一成^{*8}: 生活用品試験法 器具・容器包装および玩具試験法 プラスチック製品中のビスフェノールAの溶出試験および材質試験.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

*¹ (公社) 日本食品衛生協会

*² 東京都健康安全研究センター

*³ 名古屋市衛生研究所

*⁴ (地独) 大阪健康安全基盤研究所

*⁵ 前東京都健康安全研究センター

*⁶ (一財) 日本食品分析センター

*⁷ 東洋製罐

*⁸ (一財) 化学研究評価機構 高分子試験・研究センター

阿部裕, 山口未来, 六鹿元雄, 佐藤恭子, 杉本直樹: 電子レンジ調理食品用器具・容器包装の溶出試験条件の検討.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

阿部 裕, 山口未来, 片岡洋平, 六鹿元雄, 佐藤恭子, 杉本直樹: 乳幼児用おもちゃにおける過マンガン酸カリウム消費量と総有機炭素量の関係.

日本食品衛生学会第118会学術講演会 (2022.11.11)

片岡洋平, 四柳道代, 近藤翠, 阿部裕, 六鹿元雄, 佐藤恭子: ポリカーボネート製器具・容器包装における蛍光検出器を用いたビスフェノールA分析法の検討.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.20)

片岡洋平, 近藤翠, 阿部裕, 六鹿元雄, 近藤一成, 杉本直樹: 洗浄剤中のヒ素試験法および重金属試験法の改良.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.1)

藤原恒司, 山口未来, 西崎雄三, 阿部裕, 六鹿元雄, 杉本直樹: ポリ塩化ビニル製玩具に検出された未知可塑性剤に関する調査.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

山口未来, 阿部裕, 片岡洋平, 六鹿元雄, 佐藤恭子: 器具容器包装のメタクリル酸メチル試験へのHPLCの適用.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.20)

山口未来, 阿部裕, 片岡洋平, 六鹿元雄, 佐藤恭子, 杉本直樹: ポリ塩化ビニル製おもちゃの使用可塑性剤実態調査 (第3報).

日本食品衛生学会第118会学術講演会 (2022.11.11)

Hayashi S, Keenan CM^{*1}, Bradley A^{*2}, Goodman DG^{*3}, Harada T^{*4}, Herbert R^{*5}, Jacobsen M^{*6}, Kellner R^{*7},

Mahler B^{*5}, Meseck E^{*8}, Nolte T^{*9}, Sato J^{*10}, Rittinghausen S^{*7}, Vahle J^{*11}, Yoshizawa K^{*12}: INHAND: International harmonization of nomenclature and diagnostic criteria for lesions - An Update - 2022. 第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

*¹ CM Keenan ToxPath Consulting

*² Charles River

*³ Independent Consultant

*⁴ The Institute of Environmental Toxicology

*⁵ National Institute of Environmental Health Sciences

*⁶ Astra Zeneca

*⁷ Fraunhofer ITEM

*⁸ Novartis

*⁹ Boehringer Ingelheim

*¹⁰ LSI Medience

*¹¹ Eli Lilly

*¹² Mukogawa Womens's University

Hayashi S, Bach U^{*1}, Bradley AE^{*2}, Cesta M^{*3}, Goodman DG^{*4}, Harada T^{*5}, Jacobsen M^{*6}, Keenan CM^{*7}, Kellner R^{*8}, Mahler B^{*3}, Nolte T^{*9}, Rittinghausen S^{*8}, Sato J^{*10}, Vahle JL^{*11}, Yoshizawa K^{*12}: INHAND: International Harmonization of Nomenclature and Diagnostic Criteria for Lesions - New Mission - 2023

第39回日本毒性病理学会学術集会 (2023.1.25)

*¹ Bayer

*² Charles River

*³ National Institute of Environmental Health Sciences

*⁴ Independent Consultant

*⁵ The Institute of Environmental Toxicology

*⁶ Astra Zeneca

*⁷ CM Keenan ToxPath Consulting

*⁸ Fraunhofer ITEM

*⁹ Boehringer Ingelheim

*¹⁰ LSI Medience

*¹¹ Eli Lilly

*¹² Mukogawa Womens's University

大城直雅, 長沢寛弥^{*1}, 渡辺美遥^{*1}, 西村美桜^{*2}, 國吉杏子, 小林直樹^{*1}, 小西良子^{*1}, 朝倉宏, 立原一憲^{*1}, 安元健^{*3}: 琉球列島産バラハタ *Variola louti* のシガトキシン類組成と含量.

沖縄生物学会第59回大会 (2022.5.28)

*¹ 麻布大学生命環境科学部

*² 琉球大学理学部

*³ 日本食品分析センター

山口哲央^{*1}, 三浦将太^{*1}, 小森光二^{*1}, 青木弘太郎^{*1}, 佐々木貴正, 植松昭彦^{*2}, 菅原庸^{*3}, 久恒順三^{*3}, 菅井基行^{*3}, 石井良和^{*1}, 館田一博^{*1}: 食肉(豚)処理場由来MRSAおよびヒト由来市中感染型MRSAに関する検討.

MRSAフォーラム2022 (2022.7.9)

*¹ 東邦大学医学部

*² (株) エスアールエル

*³ 国立感染症研究所

佐々木貴正: 人胃腸炎由来のカンピロバクター及びサルモネラの性状.

第24回関東鶏病臨床研究会 (2022.7.15)

Yamamoto S, Hasegawa M*, Iwabuchi E*, Asakura H: Association between the physiological heterogeneity and surface properties of biofilm-forming *Listeria monocytogenes*.

27th International ICFMH conference (FoodMicro 2022) (2022.8.29)

* Tenshi College

櫻井由絵^{*1}, 山口英美^{*2}, 池田徹也^{*3}, 佐々木貴正: 感染源としてカラスが強く疑われた牛サルモネラ症発生事例.

令和4年度獣医学術北海道地区学会 (2022.9.1)

*¹ (地独) 北海道立総合研究機構 畜産試験場

*² 農研機構 動物衛生研究所

*³ 北海道立衛生研究所

杉浦萌香^{*1}, 佐々木貴正, 杉山美千代^{*2}, 浅井鉄夫^{*2}: 豚肉由来家畜関連型MRSAの薬剤感受性と遺伝学的性状.

第165回日本獣医学会学術集会 (2022.9.6)

*¹ 岐阜大学応用生物科学部

*² 岐阜大学大学院連合獣医学研究科

朝倉宏, 山本詩織, 壁谷英則^{*1}, 杉山広^{*2}, 高井伸二^{*3}, 前田健^{*2}: アナグマ食肉における衛生実態の探索.

第165回日本獣医学会学術集会 (2022.9.7)

*¹ 日本大学生物資源科学部

*² 国立感染症研究所

*³ 北里大学獣医学部

朝倉宏, 山本詩織, 窪田邦宏, 吉富真理^{*1}, 温泉川肇彦^{*1}, 五十君静信^{*2}: 仕出し弁当の保存過程における細菌増殖挙動に関する検討.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

*¹ 国立保健医療科学院

*² 東京農業大学

朝倉宏, 山本詩織, 吉富真理^{*1}, 中馬猛久^{*2}, 森田幸雄^{*3}: 馬とたいに対するHACCP外部検証微生物試験法の設定に向けた検討.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

*¹ 国立保健医療科学院

*² 鹿児島大学共同獣医学部

*³ 麻布大学獣医学部

山本詩織, 秋元真一郎^{*1}, 迫井千晶^{*2}, 山田研^{*2}, 壁谷英則^{*3}, 杉山広^{*4}, 高井伸二^{*5}, 前田健^{*4}, 朝倉宏: 低温調理による野生鹿肉及び猪肉での中心温度挙動と細菌不活化効果に関する検討.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

*¹ エコール辻東京

*² 辻調理師専門学校

*³ 日本大学生物資源科学部

*⁴ 国立感染症研究所

*⁵ 北里大学獣医学部

岡田由美子, 筒浦さとみ^{*1}, 西海理之^{*1}, 鈴木穂高^{*2}, 百瀬愛佳, 野田衛: 加熱調理前的高圧処理による焼き鳥中の食中毒菌低減効果.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

*¹ 新潟大学農学部

*² 茨城大学農学部

百瀬愛佳, 鈴木穂高^{*}, 岡田由美子: 市販バターにおける衛生指標菌汚染実態と認証取得代替試験法の検証.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

* 茨城大学農学部

上間匡, 大山夏実*, 窪谷壮人*: フェージを利用した簡便なウイルス除去効果検証法.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

* 明治薬科大学

斎藤博之*, 秋野和華子*, 野田衛, 上間匡: パンソルビン・トラップ法により食品検体からノロウイルスが検出された食中毒2事例.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

* 秋田県健康環境センター

中村寛海*, 山元誠司*, 朝倉宏, 阿部仁一郎*: 食中毒原因施設の調理環境におけるカンピロバクター二次汚染実態把握の試み.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

* 大阪健康安全基盤研究所

山田和弘*, 高橋佑太*, 松田達也*, 都築秀明*, 佐藤克彦*, 朝倉宏: 市販鶏肉から分離された*Campylobacter jejuni*の分子疫学解析.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.30)

* 愛知県衛生研究所

佐々木貴正: 国産鶏肉のカンピロバクター汚染状況と分離株の薬剤耐性.

第25回関東鶏病臨床研究会 (2022.10.13)

朝倉宏, 山本詩織, 今野貴之^{*1}, 島田慎一^{*2}, 赤瀬悟^{*3}, 阿部光一郎^{*4}, 小川紋^{*5}, 山田和弘^{*6}, 水野卓也^{*7}, 中村寛海^{*8}, 野本竜平^{*9}: カンピロバクター定量試験法の標準化に向けた検討.

第15回日本カンピロバクター研究会総会 (2022.10.29)

^{*1} 秋田県健康環境センター

^{*2} 埼玉県衛生研究所

^{*3} 東京都健康安全研究センター

^{*4} 川崎市健康安全研究所

^{*5} 静岡県環境衛生科学研究所

^{*6} 愛知県衛生研究所

^{*7} 岐阜県保健環境研究所

^{*8} 大阪健康安全基盤研究所

^{*9} 神戸市健康科学研究所

佐々木貴正, 米満研三^{*1}, 池田徹也^{*2}, 上間匡, 朝倉宏: 国産鶏肉のカンピロバクター汚染定量調査.

第15回日本カンピロバクター研究会 (2022.10.29)

^{*1} 国立感染症研究所

^{*2} 北海道立衛生研究所

小林まなみ^{*1}, 増田潤一^{*1}, 國吉杏子, 大城直雅, 安元健^{*2}: シガトキシン類縁体の新規高感度・高分離LC/MS/MS分析法.

日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.10)

^{*1} (株) 島津製作所

^{*2} (一財) 日本食品分析センター

山本直美*, 田畑佳世*, 神藤正則*, 大城直雅: LC-MS/MSを用いたシガトキシン類の分析条件の検討.

日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.10)

* 堺市衛生研究所

上間匡, 南村幸世, 朝倉宏: 食品からのウイルス検出における核酸抽出法の比較.

日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.10)

山本詩織, 有田佳子, 五十君静信*, 朝倉宏: 国内の市販鶏肉におけるESBL産生菌の定量的汚染実態の評価.

日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.10)

* 東京農業大学

佐々木貴正, 百瀬愛佳, 池田徹也*, 朝倉宏: 国産鶏肉のサルモネラ汚染状況と分離株の薬剤耐性.

日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.11)

* 北海道立衛生研究所

斎藤博之*, 秋野和華子*, 野田衛, 上間匡: 食品のノロウイルス汚染検出法としてのパンソルビン・トラップ法の有用性の検討.

第69回日本ウイルス学会学術集会 (2022.11.13)

* 秋田県健康環境センター

佐々木貴正: 国産鶏肉のサルモネラ及びカンピロバク

ター汚染状況.

東北鶏病臨床研究会 (2022.12.16)

岡田由美子, 鈴木穂高*, 渡辺愛*, 中庭美玲*, 百瀬愛佳: 国内流通冷凍野菜における *Listeria monocytogenes* 汚染状況.

第96回日本細菌学会 (2023.3.17)

* 茨城大学農学部

尾城椋太*, 小澤俊介*, 岡野拡*, 高嶋和巳*, 高橋康徳*, 唐倩*, 鄒昕羽*, 吉田敏則*, 吉成知也, 渋谷淳*: マウスを用いたエンニアチンBの薬物動態試験及び28日間反復経口投与毒性試験.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30)

* 東京農工大学

Misaki Hirayama*, Maiko Watanabe, Sayaka Ban*, Takashi Yaguchi*, Yukiko Hara-Kudo, Tomoya Yoshinari: Development of an analytical method for emerging mycotoxin produced by *Fusarium* spp. isolated from cereal rye.

Asian Mycological Congress 2021 (2022.8.5)

* Chiba University

林克彦, 豊田淑江^{*1}, 佐野瑞生^{*2}, 大屋賢司, 森田雄二^{*2}, 山口照英^{*1,3}, 工藤由起子: 献血由来ヒト末梢血単核球による発熱性物質検出試験に向けた細胞凍結保存条件の検討.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

^{*1} 日本薬科大学

^{*2} 明治薬科大学

^{*3} 金沢工業大学加齢医工学先端技術研究所

廣瀬昌平, 吉成知也, 林克彦, 大屋賢司, 大西貴弘, 渡辺麻衣子, 田原口智士^{*1}, 目堅博久^{*2}, 谷口隆秀^{*3}, 新井沙倉, 合田幸広, 工藤由起子: MALDI-ToF/MSによるSARS-CoV-2の新規検出法の開発.

第165回日本獣医学会学術集会 (2022.9.6)

^{*1} 麻布大学

^{*2} 宮崎大学

^{*3} 東京農工大学

Maiko Watanabe, Misaki Hirayama^{*1}, Sayaka Ban^{*1}, Takashi Yaguchi^{*1}, Kiminori Shimizu^{*2}, Haruo Takahashi, Yukiko Hara-Kudo, Tomoya Yoshinari: Occurrence of mycotoxins and distribution of trichothecene-producing *Fusarium* spp. in Job's tears products in Japanese retail foods.

ISMICO2022 & ICM2022 (2022.9.7)

^{*1} Chiba University

^{*2} Tokyo University of Science

Tomoya Yoshinari: Occurrence of emerging mycotoxins in retail foods in Japan..

ISMICO2022 & ICM2022 (2022.9.7)

Rania I. A. Ismail*, Sharmin Sultana*, Maiko Watanabe, Tomoya Yoshinari, Masafumi Shimizu*, Haruhisa Suga*: Determinative mutation for fumonisin B₂ production in *Fusarium fujikuroi*.

ISMICO2022 & ICM2022 (2022.9.7)

* Gifu University

Mai Yonaha^{*1}, Tomoya Yoshinari, Yoshiko Sugita-Konishi^{*2}, Naoki Kobayashi^{*1}: Effects of environmental changes on sterigmatocystin production in *Aspergillus* section *Versicolores*

ISMICO2022 & ICM2022 (2022.9.9)

^{*1} Azabu University

^{*2} Tokyo University of Agriculture

渡辺麻衣子: 形態観察と遺伝子指標両方を用いた同定の実験.

日本防菌防黴学会第49回年次大会 (2022.9.27)

渡辺麻衣子, 大屋賢司, 吉富真理*, 工藤由起子: 世界の各地域におけるサルモネラ属菌血清型別のヒトへの危害性評価.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

* 国立保健医療科学院

新井沙倉, 土井りえ^{*1}, 小西典子^{*2}, 尾畑浩魅^{*2}, 榊田希^{*1}, 甲斐明美^{*3}, 廣瀬昌平, 工藤由起子: 食品からの *Escherichia albertii* 検出のための特異的リアルタイムPCR法の検討.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

- *¹ 埼玉県衛生研究所
 *² 東京都健康安全研究センター
 *³ (公社) 日本食品衛生協会

大西貴弘, 工藤由起子, 杉山広*: すぐに喫食可能なサバ加工品におけるアニサキス汚染実態調査.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

- * 国立感染症研究所

大屋賢司, 池内隼佑^{*1}, 林谷秀樹^{*1}, 吉富真理^{*2}, 工藤由起子: 輸入乾燥きくらげ由来サルモネラ属菌の血清型別及び汚染菌数測定.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.30)

- *¹ 東京農工大学
 *² 国立保健医療科学院

榊田希^{*1}, 尾畑浩魅^{*2}, 小西典子^{*2}, 土井りえ^{*1}, 新井沙倉, 甲斐明美^{*3}, 廣瀬昌平, 工藤由起子: 食品を対象とした*Escherichia albertii*分離培養法の検討.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

- *¹ 埼玉県衛生研究所
 *² 東京都健康安全研究センター
 *³ (公社) 日本食品衛生協会

廣瀬昌平, 小西典子^{*1}, 佐藤実佳^{*2}, 鈴木恭平^{*3}, 尾畑浩魅^{*1}, 大塚佳代子^{*2}, 後藤慶一^{*3}, 甲斐明美^{*4}, 新井沙倉, 工藤由起子: 食品・環境検体中での*Escherichia albertii*の挙動解析.

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

- *¹ 東京都健康安全研究センター
 *² 埼玉県衛生研究所
 *³ 東海大学
 *⁴ (公社) 日本食品衛生協会

山谷聡子^{*1}, 今野貴之^{*2}, 山中拓哉^{*3}, 床井由紀^{*4}, 柳本恵太^{*5}, 小嶋由香^{*6}, 高橋直人^{*7}, 小林章人^{*8}, 松永典久^{*9}, 齊木大^{*10}, 土井りえ^{*11}, 新井沙倉, 廣瀬昌平, 工藤由起子: *Escherichia albertii*の食品での試験法のコラボレイティブ・スタディによる評価 (1).

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

- *¹ 宮城県保健環境センター
 *² 秋田県健康環境センター
 *³ 岩手県環境保健研究センター
 *⁴ 宇都宮市衛生環境研究所
 *⁵ 山梨県衛生環境研究所
 *⁶ 川崎市健康安全研究所
 *⁷ 静岡市環境保健研究所
 *⁸ 三重県保健環境研究所
 *⁹ 福岡市保健環境研究所
 *¹⁰ 東京都健康安全研究センター
 *¹¹ 埼玉県衛生研究所

柳本恵太^{*1}, 松永典久^{*2}, 小林章人^{*3}, 高橋直人^{*4}, 小嶋由香^{*5}, 床井由紀^{*6}, 山谷聡子^{*7}, 山中拓哉^{*8}, 今野貴之^{*9}, 土井りえ^{*10}, 齊木大^{*11}, 新井沙倉, 廣瀬昌平, 工藤由起子: *Escherichia albertii*の食品での試験法のコラボレイティブ・スタディによる評価 (2).

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29)

- *¹ 山梨県衛生環境研究所
 *² 福岡市保健環境研究所
 *³ 三重県保健環境研究所
 *⁴ 静岡市環境保健研究所
 *⁵ 川崎市健康安全研究所
 *⁶ 宇都宮市衛生環境研究所
 *⁷ 宮城県保健環境センター
 *⁸ 岩手県環境保健研究センター
 *⁹ 秋田県健康環境センター
 *¹⁰ 埼玉県衛生研究所
 *¹¹ 東京都健康安全研究センター

吉成知也, 林克彦, 廣瀬昌平, 大屋賢司, 大西貴弘, 渡辺麻衣子, 田原口智士^{*1}, 目堅博久^{*2}, 谷口隆秀^{*3}, 前田卓哉^{*4}, 折原悠太^{*4}, 川村利江子^{*4}, 新井沙倉, 斎藤嘉朗, 合田幸広, 工藤由起子: MALDI-ToF MSを用いた鼻咽頭拭い液中のSARS-CoV-2の検出法の開発.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31-11.1)

- *¹ 麻布大学
 *² 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター
 *³ 東京農工大学
 *⁴ 埼玉医科大学病院

大屋賢司, 林克彦, 工藤由起子: 輸液バッグ製剤及びバイオ医薬品カートリッジ製剤における無菌試験の実施.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31-11.1)

大西貴弘, 渡辺麻衣子, 新井沙倉, 河上強志, 林克彦, 大屋賢司, 廣瀬昌平, 吉成知也, 田原口智士^{*1}, 目堅博久^{*2}, 谷口隆秀^{*3}, 五十嵐良明, 本間正充, 合田幸広, 工藤由起子: 生活環境表面における新型コロナウイルスおよびウシコロナウイルスの生残性.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31-11.1)

^{*1} 麻布大学

^{*2} 宮崎大学

^{*3} 東京農工大学

廣瀬昌平, 渡辺麻衣子, 多田敦子, 杉本直樹, 佐藤恭子, 工藤由起子: 第9版食品添加物公定書における微生物限度試験法の大腸菌試験に関する適合性の検討.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31-11.1)

吉成知也, 小杉正樹^{*1}, 佐藤英子^{*2}, 下山晃^{*3}, 竹内浩^{*4}, 谷口賢^{*5}, 福光徹^{*6}, 藤吉智治^{*7}, 森田剛史^{*8}, 工藤由起子: 環状デプシペプチド系カビ毒の分析法の開発と汚染実態調査.

第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.10)

^{*1} (一財) 日本食品分析センター

^{*2} 川崎市健康安全研究所

^{*3} (一財) 日本食品検査

^{*4} 三重県保健環境研究所

^{*5} 名古屋市衛生研究所

^{*6} 神奈川県衛生研究所

^{*7} (一財) 食品分析開発センターSUNATEC

^{*8} (一財) 日本穀物検定協会

池内隼佑*, 仁和岳史*, 奥村水門*, 佐々木貴正, 工藤由起子, 林谷秀樹*: 我が国で分離された *Salmonella* Schwarzengrund の分子遺伝子型別.

第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.10)

* 東京農工大学大学院

工藤由起子, 齋藤明美^{*1}, 大屋賢司, 渡辺麻衣子, 吉富真理^{*2}, 土屋禎^{*1}: サルモネラ汚染乾燥きくらげによる食中毒発生防止のための加熱条件の検討.

第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.10)

^{*1} (一財) 日本食品分析センター

^{*2} 国立保健医療科学院

小嶋由香^{*1}, 今野貴之^{*2}, 山中拓哉^{*3}, 床井由紀^{*4}, 柳

本恵太^{*5}, 山谷聡子^{*6}, 高橋直人^{*7}, 小林章人^{*8}, 松永典久^{*9}, 齊木大^{*10}, 土井りえ^{*11}, 新井沙倉, 廣瀬昌平, 工藤由起子: *Escherichia albertii* の食品での試験法のコラボレイティブ・スタディによる評価.

第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.10)

^{*1} 川崎市健康安全研究所

^{*2} 秋田県健康環境センター

^{*3} 岩手県環境保健研究センター

^{*4} 宇都宮市衛生環境研究所

^{*5} 山梨県衛生環境研究所

^{*6} 宮城県保健環境センター

^{*7} 静岡市環境保健研究所

^{*8} 三重県保健環境研究所

^{*9} 福岡市保健環境研究所

^{*10} 東京都健康安全研究センター

^{*11} 埼玉県衛生研究所

小西典子^{*1}, 榊田希^{*2}, 新井沙倉, 尾畑浩魁^{*1}, 土井りえ^{*2}, 廣瀬昌平, 甲斐明美^{*3}, 工藤由起子: 食品を対象とした *Escherichia albertii* の効率的な検出法に関する検討.

第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.10)

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 埼玉県衛生研究所

^{*3} (公社) 日本食品衛生協会

與那覇まい^{*1}, 吉成知也, 小西良子^{*2}, 小林直樹^{*1}: pH変化が *Aspergillus section Versicolores* のステリグマトシスチン産生に与える影響.

第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.10)

^{*1} 麻布大学

^{*2} 東京農業大学

伊藤紫野^{*1}, 山田修^{*2}, 水谷治^{*3}, 橋本一浩^{*4}, 川上裕司^{*5}, 後藤慶一^{*6}, 清水公德^{*1}, 高橋治男, 工藤由起子, 渡辺麻衣子: 黒麹菌とその近縁菌のカビ毒産生性及び遺伝子型別に関する研究.

第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.10)

^{*1} 東京理科大学

^{*2} 酒類総合研究所

^{*3} 琉球大学

^{*4} エフシージー総合研究所

^{*5} 東京家政大学大学院

*⁶ 東海大学

廣瀬昌平, 都丸亜希子, 穂山浩*, 工藤由起子: 牛肉の志賀毒素産生大腸菌汚染に対する消毒液の効果の検討.
第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.10)

* 星薬科大学

土井りえ^{*1}, 廣瀬昌平, 小西典子^{*2}, 鈴木恭平^{*3}, 尾畑浩魅^{*2}, 佐藤実佳^{*1}, 後藤慶一^{*3}, 甲斐明美^{*4}, 新井沙倉, 工藤由起子: 食品及び井戸水・海水中での*Escherichia albertii*の菌数変化.
第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.10)

*¹ 埼玉県衛生研究所

*² 東京都健康安全研究センター

*³ 東海大学

*⁴ (公社) 日本食品衛生協会

新井沙倉, 小西典子*, 尾畑浩魅*, 工藤由起子: 野菜における腸管毒素原性大腸菌の検出と型別を目的としたリアルタイムPCR法の検討.
第118回日本食品衛生学会学術講演会 (2022.11.10)

* 東京都健康安全研究センター

渡辺麻衣子, 大西貴弘, 新井沙倉, 河上強志, 林克彦, 大屋賢司, 廣瀬昌平, 吉成知也, 田原口智士^{*1}, 目堅博久^{*2}, 谷口隆秀^{*3}, 五十嵐良明, 本間正充, 合田幸広, 工藤由起子: 新型コロナウイルスおよびウシコロナウイルスの生活環境中での生残性評価.
2022年室内環境学会学術大会 (2022.12.1)

*¹ 麻布大学

*² 宮崎大学

*³ 東京農工大学

平山美咲*, 渡辺麻衣子, 矢口貴志*, 伴さやか*, 工藤由起子, 吉成知也: タイプAトリコテセン系カビ毒イソベルカロールの食品における汚染実態と生合成機構の解析.
第88回日本マイコトキシン学会学術講演会 (2023.1.6)

* 千葉大学

渡辺麻衣子, 伊澤和輝^{*1}, 橋本一浩^{*2}, 小林直樹^{*3}, 小沼ルミ^{*4}, 長谷川兼一^{*5}, 鍵直樹^{*1}, 川上裕司^{*6}, 秋山

泰^{*1}, 山崎朗子^{*7}, 工藤由起子, 鎌田洋一^{*8}, 伊香賀俊治^{*9}: 住宅床ハウスダストの真菌叢に影響を及ぼす住環境因子に関する研究.

日本マイコトキシン学会第88回学術講演会 (2023.1.6)

*¹ 東京工業大学

*² エフシージー総合研究所

*³ 麻布大学

*⁴ 東京都立産業技術研究センター

*⁵ 秋田県立大学

*⁶ 東京家政大学大学院

*⁷ 岩手大学

*⁸ 千里金蘭大学

*⁹ 慶應義塾大学

吉成知也, 関根葵*, 小林直樹*, 西崎雄三, 杉本直樹, 工藤由起子, 渡辺麻衣子: MALDI-ToF MSを用いた既存添加物酵素の基原生物の同定手法に関する研究.
日本農芸化学会2023年度大会 (2023.3.14)

* 麻布大学

渡辺麻衣子, 吉成知也, 西崎雄三, 増本直子, 多田敦子, 工藤由起子, 杉本直樹: 食品添加物の微生物限度試験における真菌数試験法の比較検討.
日本農芸化学会2023年度大会 (2023.3.14)

尾城椋太*, 岡野拡*, 小澤俊介*, 高嶋和巳*, 高橋康徳*, 唐倩*, 鄒昕羽*, 吉田敏則*, 吉成知也, 渋谷淳: 新興カビ毒エンニアチンBのマウスにおける薬物動態と28日間反復投与による一般毒性について.
第10回日本獣医病理学専門家協会学術集会 (2023.3.29)

* 東京農工大学

新井沙倉, 高橋直人^{*1}, 床井由紀^{*2}, 小林章人^{*3}, 松永典久^{*4}, 山中拓哉^{*5}, 今野貴之^{*6}, 土井りえ^{*7}, 齊木大^{*8}, 山谷聡子^{*9}, 小嶋由香^{*10}, 柳本恵太^{*11}, 廣瀬昌平, 工藤由起子: 食品における*Escherichia albertii*検出法のコラボレイティブスタディによる評価.
第96回日本細菌学会総会 (2023.3.16)

*¹ 静岡市環境保健研究所

*² 宇都宮市衛生環境試験所

*³ 三重県保健環境研究所

*⁴ 福岡市保健環境研究所

*⁵ 岩手県環境保健研究センター

*⁶ 秋田県健康環境センター

*⁷ 埼玉県衛生研究所

*⁸ 東京都健康安全研究センター

*⁹ 宮城県保健環境センター

*¹⁰ 川崎市健康安全研究所

*¹¹ 山梨県衛生環境研究所

工藤由起子, 新井沙倉, 廣瀬昌平: 新興食中毒細菌
Escherichia albertii.

第96回日本細菌学会総会 (2023.3.16)

廣瀬昌平, 中村由紀子*, 新井沙倉, 工藤由起子: 食品
中の*Escherichia albertii*を検出するための選択増菌培地
の開発.

第96回日本細菌学会総会 (2023.3.17)

* 大津市保健所

豊田淑江^{*1}, 田中健志^{*2}, 松村剛毅^{*3}, 吉原健司^{*3}, 林
克彦, 大倉華雪^{*4}, 松山晃文^{*4}, 大屋賢司, 内田恵理子,
工藤由起子, 山口照英^{*1,5}: 細胞治療を目的とする新た
なSuper Myeloid Angiogenic Cell (Super MAC) の開
発.

第22回日本再生医療学会総会 (2023.3.23)

*¹ 日本薬科大学

*² 昭和大学

*³ 東京女子大学

*⁴ 大阪はびきの医療センター

*⁵ 金沢工業大学加齢医工学先端技術研究所

林克彦, 吉成知也, 廣瀬昌平, 大屋賢司, 大西貴弘, 渡
辺麻衣子, 田原口智士^{*1}, 目堅博久^{*2}, 谷口隆秀^{*3}, 新
井沙倉, 前田卓哉^{*4}, 折原悠太^{*4}, 川村利江子^{*4}, 新井
沙倉, 斎藤嘉朗, 合田幸広, 工藤由起子: MALDI-ToF
MSによる鼻咽頭拭い液中SARS-CoV-2の直接検出法の
開発.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

*¹ 麻布大学

*² 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

*³ 東京農工大学

*⁴ 埼玉医科大学病院

黒原崇, 大澤陽, 伊藤貴仁, 柴田識人, 有竹浩介^{*1}, 内
藤幹彦^{*2}, 出水庸介: H-PGDS分解誘導剤のリンカー構
造に着目した構造活性相関研究.

日本ケミカルバイオロジー第16回年会 (2022.5.31)

*¹ 第一薬科大学

*² 東京大学薬学部

永沼美弥子, 大岡伸通, 松野研司^{*1}, 内藤幹彦^{*2}, 井上
貴雄, 辻巖一郎, 出水庸介: デコイ核酸をリガンドとし
たエストロゲン受容体分解誘導分子の創製.

日本ケミカルバイオロジー第16回年会 (2022.5.31)

*¹ 工学院大先進工学部

*² 東京大学大学院薬学系研究科

三澤隆史, 平野元春, 倉島恵愛, 山崎聖司*, 西野邦彦*,
出水庸介: 多剤耐性菌感染症治療を目的とした新規抗菌
ペプチドフォルダマーの開発.

ケミカルバイオロジー第16回年会 (2022.5.31)

* 大阪大学産業科学研究所

早川英佑^{*1}, 山下博子^{*2}, 佐藤伸一^{*1}, 橋本祐一^{*2}, 出
水庸介, 石川稔^{*1}, 友重秀介^{*1}: シャペロン介在型オー
トファジー誘導手法の開発.

ケミカルバイオロジー第16回年会 (2022.5.31)

*¹ 東北大学

*² 東京大学

正田卓司, 出水庸介: 長鎖アルキル基を有するエストロ
ゲン受容体 β 選択的アンタゴニストの開発.

第26回日本がん分子標的治療学会学術集会 (2022.6.30)

黒原崇, 伊藤貴仁, 辻巖一郎, 三澤隆史, 横尾英知, 柳
瀬雄太, 正田卓司, 坂井隆敏, 細江潤子, 内山奈穂子,
穂山浩*, 出水庸介: ノルジェストメットおよび17 β -異
性体の合成とプロゲステロン活性の評価

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエ
ンスフォーラム (2022.8.26)

* 星薬科大学

三澤隆史, 出水庸介: ペプチドの構造変性検出を目指し
たNMRフィンガープリント法の検討.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエ
ンスフォーラム (2022.8.26)

村上優貴*, 石田祥一*, 出水庸介, 寺山慧*: 非天然ア

ミノ酸を加味した低毒性抗菌ペプチド設計に向けた多目的ベイズ最適化の検討.

2022年日本バイオインフォマティクス学会年会, 大阪 (2022.9.14)

* 横浜市立大学

辻村はるな, 辻巖一郎, 大岡伸通, 井上貴雄, 内藤幹彦*, 出水庸介: DNAアプタマーを用いたエストロゲン受容体分解誘導剤の開発.

第66回日本薬学会関東支部大会 (2022.9.17)

* 東京大学大学院薬学系研究科

大澤陽, 黒原崇, 柴田識人, 有竹浩介^{*1}, 内藤幹彦^{*2}, 出水庸介: E3リガンドに着目したH-PGDS分解誘導剤の構造活性相関研究.

第66回日本薬学会関東支部大会 (2022.9.17)

^{*1} 第一薬科大学

^{*2} 東京大学薬学部

湯山円晴^{*1}, 三澤隆史, 出水庸介, 金谷貴行^{*1}, 佐藤忠章^{*1}, 栗原正明^{*2}: アセタール構造を有する新規ER α アンタゴニストの創製.

第66回日本薬学会関東支部大会 (2022.9.17)

^{*1} 国際医療福祉大学薬学部

^{*2} 湘南医療大学薬学部

横尾英知, 三澤隆史, 加藤巧馬, 田中正一, 出水庸介, 大庭誠: ヘリカルテンプレートを連結したオリゴアルギニンを用いたプラスミドDNAの細胞内デリバリー.

第72回日本薬学会関西支部総会・大会 (2022.10.8)

森谷俊介^{*1}, 米津実咲^{*1}, 近藤有寿^{*1}, 出水庸介, 栗原正明^{*2}, 橘高敦史^{*1}, 杉山亨^{*1}: Synthesis of dicationic cytosine derivative for peptide nucleic acid.

第59回ペプチド討論会 (2022.10.26)

^{*1} 帝京大学薬学部

^{*2} 湘南医療大学薬学部

横尾英知, 内田智士*, 出水庸介, 大庭誠*: Development of nanoparticle-based protein degradation inducers based on nucleic acid delivery.

第59回ペプチド討論会 (2022.10.26)

* 京都府立医科大学医学部

三澤隆史, 大岡伸通, 平野元春, 大庭誠*, 井上貴雄, 出水庸介: Structural development of helix-stabilized block peptides for intracellular delivery of siRNA.

第59回ペプチド討論会 (2022.10.26)

* 京都府立医科大学医学部

土屋圭輔, 木吉真人, 橋井則貴, 藤田陽, 石井明子, 福原潔*, 三澤隆史, 出水庸介: Development of CPP-conjugated LRH-1-derived peptides inhibiting Wnt/ β -catenin signaling pathway.

第59回ペプチド討論会 (2022.10.26)

* 昭和大学薬学部

横尾英知, 三澤隆史, 加藤巧馬^{*1}, 田中正一^{*2}, 出水庸介, 大庭誠^{*3}: Intracellular plasmid DNA delivery using helical template conjugated oligoarginine.

第59回ペプチド討論会 (2022.10.26)

^{*1} 大阪医科薬科大学薬学部

^{*2} 長崎大学薬学部

^{*3} 京都府立医科大学医学部

大澤陽, 黒原崇, 村上優貴, 柴田識人, 内藤幹彦*, 出水庸介: Structure-activity relationship study of PROTACs against hematopoietic prostaglandin D₂ synthase.

CBI学会2022年大会 (2022.10.26)

* 東京大学薬学部

村上優貴*, 石田祥一*, 出水庸介, 寺山慧*: Multi-objective Bayesian optimization of antimicrobial peptides design using non-natural amino acids.

CBI学会2022年大会 (2022.10.26)

* 横浜市立大学

辻巖一郎, 伊藤貴仁, 内山奈穂子, 細江潤子, 出水庸介: 日本薬局方の試験法改正に関する研究~HPLCでの定量試験法設定に向けた検討~.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.1)

Naganuma, M., Ohoka, N., Tsuji, G., Matsuno, K.^{*1}, Naito, M.^{*2}, Inoue, T., Demizu, Y.: Development of chimeric molecules that degrade the estrogen receptor using decoy oligonucleotide ligands.

The 49th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry, Tokyo (2022.11.2)

^{*1} Department of Pharmacy, Faculty of Pharmacy, Yasuda Women's University

^{*2} Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo

Kuriyama, M.^{*}, Katagiri, K.^{*}, Yamamoto, K.^{*}, Demizu, Y., Onomura, O.^{*}: Metal-free synthesis of phenols from diaryliodonium salts with water catalyzed by *N*-benzylpyridin-2-one.

The 15th International Symposium on Organic Reactions, Taiwan (2022.11.3)

^{*} Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University

Moriya, S.^{*1}, Yonezu, M.^{*1}, Kondo, Y.^{*1}, Demizu, Y., Kurihara, M.^{*2}, Kittaka, A.^{*1}, Sugiyama, T.^{*1}: Synthesis of peptide nucleic acid possessing dicationic cytosine derivative.

The 49th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry, Tokyo (2022.11.3)

^{*1} Faculty of Pharmaceutical Sciences, Teikyo University

^{*2} Faculty of Pharmaceutical Sciences, Shonan University of Medical Sciences

土屋圭輔, 木吉真人, 藤田陽, 三澤隆史, 石井明子, 福原潔^{*}, 出水庸介: 中分子ペプチドによる β -catenin 関連シグナル経路阻害剤の開発.

第95回日本生化学会大会 (2022.11.9)

^{*} 昭和大学薬学部

中森洋紀^{*}, 布目真梨^{*}, 辻巖一郎, 出水庸介, 増本直子, 杉本直樹, 井之上浩一^{*}: デザインSR-HPLC法によるアナトー色素の定量評価の構築.

日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.11)

^{*} 立命館大学薬学部

永沼美弥子, 大岡伸通, 辻巖一郎, 松野研司^{*1}, 内藤幹彦^{*2}, 井上貴雄, 出水庸介: 標的リガンドにオリゴヌクレオチドを応用したPROTACの創製.

第39回メディシナルケミストリーシンポジウム (2022.11.24)

^{*1} 工学院大先進工学部

^{*2} 東京大学大学院薬学系研究科

土屋圭輔, 木吉真人, 橋井則貴, 藤田陽, 石井明子, 福原潔^{*}, 三澤隆史, 出水庸介: 二次構造制御型ペプチドによる Wnt/ β -カテニン経路阻害剤の創製.

第39回メディシナルケミストリーシンポジウム (2022.11.24)

^{*} 昭和大学薬学部

三澤隆史, 平野元春, 倉島恵愛, 山崎聖司^{*}, 西野邦彦^{*}, 出水庸介: 多剤耐性菌感染症治療を目的とした両親媒性ヘリカルペプチドの開発.

第39回メディシナルケミストリーシンポジウム (2022.11.24)

^{*} 大阪大学産業科学研究所

高田浩行, 土屋圭輔, 出水庸介: ヘリック型膜透過生ペプチドを用いたアンチセンス核酸の細胞内送達.

第39回メディシナルケミストリーシンポジウム (2022.11.24)

古内志拓^{*}, 人見悠毅^{*}, 佐々木智未^{*}, 岡本岳大^{*}, 辻巖一郎, 黒原崇, 出水庸介, 大野修^{*}, 松野研司^{*}: Kynurenine産生を抑制する環状デブシペプチド KNP-1 の構造決定および全合成研究.

第39回メディシナルケミストリーシンポジウム (2022.11.25)

^{*} 工学院大先進工学部

許涵喬, 黒原崇, 柴田識人, 大岡伸通, 井上貴雄, 内藤幹彦^{*}, 出水庸介: 固相法によるPROTACの迅速合成.

第48回反応と合成の進歩シンポジウム (2022.11.28)

^{*} 東京大学薬学部

Osawa, H., Kurohara, T., Murakami, Y., Shibata, N., Naito, M.^{*}, Demizu, Y.: Structure-activity relationship study of PROTACs against hematopoietic prostaglandin D₂ synthase.

Ubiquitin New Frontier "from Neo-Biology to Targeted Protein Degradation" Tokyo (2022.12.3)

* Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo

Shih, Po-C.^{*}, Naganuma, M., Tsuji, G., Demizu, Y., Naito, M.^{*}: Towards development of protein degraders for targeting signal transducer and activator of transcription 3 (STAT3).

Ubiquitin New Frontier “from Neo-Biology to Targeted Protein Degradation” Tokyo (2022.12.3-4)

* Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo

三澤隆史, 平野元春, 倉島恵愛, 山崎聖司^{*}, 西野邦彦^{*}, 出水庸介: 多剤耐性菌感染症の治療を志向した新規抗菌性ヘリカルペプチドの開発.

第96回日本細菌学会総会 (2023.3.17)

* 大阪大学産業科学研究所

加藤巧馬^{*1}, 出水庸介, 田中正一^{*2}, 浅野晶子^{*1}, 土井光暢^{*1}: ロイシンとジ置換アミノ酸のヘテロペプチドにおけるジ置換アミノ酸の種類によるペプチド二次構造への影響評価.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.26)

^{*1} 大阪医科薬科大学薬学部

^{*2} 長崎大学薬学部

Jorge Carlos Pineda Garcia^{*}, 趙爽利^{*}, 李任時^{*}, 花尻瑠理, 出水庸介, 田中嘉孝^{*}, 石井祐次^{*}: Δ^9 -THC-O-acetateおよび Δ^8 -THC-O-acetateのヒト肝臓ミクロゾームによる酵素化学的加水分解と Δ^9 -THCおよび Δ^8 -THC生成.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.26)

* 九州大学薬学部

古内志拓^{*1}, 人見悠毅^{*1}, 佐々木智未^{*1}, 岡本岳大^{*1}, 辻巖一郎, 黒原崇, 出水庸介, 大野修^{*1}, 松野研司^{*2}: キヌレニン産生を抑制する環状デプシペプチドKNP-1の構造決定および全合成研究.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.26)

^{*1} 工学院大先進工学部

^{*2} 安田女子大学薬学部

正田卓司, 青木尚代, 出水庸介, 坂本知昭: 連結フロー反応による医薬品原薬の連続生産に関する技術要件の抽出.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

村上優貴^{*}, 石田祥一^{*}, 出水庸介, 寺山慧^{*}: 多目的ベイズ最適化を用いた非天然アミノ酸を考慮した抗菌ペプチド設計手法の検討.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

* 横浜市立大学

森谷俊介^{*1}, 米津実咲^{*1}, 近藤有寿^{*1}, 出水庸介, 栗原正明^{*2}, 橘高敦史^{*1}, 杉山亨^{*1}: ペプチド核酸のinvasionを目指したジカチオンを持つシトシン誘導体の合成.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

^{*1} 帝京大学薬学部

^{*2} 湘南医療大学薬学部

永沼美弥子, 大岡伸通, 辻巖一郎, 内藤幹彦^{*}, 井上貴雄, 出水庸介: 生体内安定性の向上を志向したデコイ核酸型PROTACの創製.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

* 東京大学大学院薬学系研究科

許涵喬, 黒原崇, 辻巖一郎, 大岡伸通, 柴田識人, 井上貴雄, 出水庸介: 汎用的なPROTAC固相合成法の開発.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

田村早季, 辻巖一郎, 出水庸介: アンチセンス核酸の効率的細胞内移行を志向した疎水性膜透過性ペプチドの探索.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

伊藤貴仁, 三澤隆史, 出水庸介: 組織選択的キャリア開発を目的としたヘリカルペプチドのデザイン.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

三澤隆史, 辻巖一郎, 出水庸介: JP各条品の試験法に用いる試薬・溶媒量の低減に向けた検討.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

黒原崇, 大澤陽, 柴田識人, 有竹浩介^{*1}, 内藤幹彦^{*2}, 出水庸介: H-PGDSを標的とするPROTACの構造活性相

関研究.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

*¹ 第一薬科大学

*² 東京大学薬学部

土屋圭輔, 堀越奏子, 三澤隆史, 福原潔*, 出水庸介:
疎水性ステーブルペプチドによるDDSキャリアの開発.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

* 昭和大学薬学部

平野元春, 横尾英知, 大庭誠*, 三澤隆史, 出水庸介:
両親媒性ステーブルペプチドを利用した核酸の細胞内輸
送.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

* 京都府立医科大学医学部

平野元春, 横尾英知, 大庭誠*, 三澤隆史, 出水庸介:
両親媒性ステーブルペプチドによるpDNA, mRNA, 及
びsiRNAの効率的な細胞内輸送.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

* 京都府立医科大学医学部

大澤陽, 黒原崇, 柴田識人, 有竹浩介*¹, 内藤幹彦*²,
出水庸介: CRBNリガンドに着目したH-PGDS分解誘導
剤の構造活性相関研究.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

*¹ 第一薬科大学

*² 東京大学薬学部

藤田陽, 土屋圭輔, 木吉真人, 石井明子, 三澤隆史, 出
水庸介: Wnt/ β -catenin経路阻害ペプチドの*in silico*設
計.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.27)

高野玲奈, 黒原崇, 大岡伸通, 大金賢司*, 井上貴雄,
出水庸介: PROTACに利用できる新規デグロン配列の
探索.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.28)

* お茶の水女子大学

伊藤海結, 関根優莉奈, 正田卓司, 橋井則貴, 原園景,

石井明子, 井上英史, 出水庸介: エキシマー蛍光を利用
した蛍光性糖鎖標識試薬の開発.

日本薬学会第143回年会 (2023.3.28)

* 東京薬科大学生命科学部

Yamada T*¹, Furutaka K*¹, Hachinohe M*², Hachisuka
A: Uncertainty determination in the screening of radio-
cesium in foods without a sample preparation
procedure.

The International Conference on Radionuclide
Metrology – Low-Level Radioactivity Measurement
Techniques 2022 (2022.5.4)

*¹ Kindai University

*² National Agriculture and Food Research
Organization

Yamada T*¹, Furutaka K*¹, Yamashita N*¹, Hachinohe
M*², Hachisuka A: Research project on the
development of evaluation methods for inspection
systems of radioactive materials in foods.

The International Conference on Radionuclide
Metrology – Low-Level Radioactivity Measurement
Techniques 2022 (2022.5.4)

*¹ Kindai University

*² National Agriculture and Food Research
Organization

曾我慶介, 江木智宏*¹, 成島純平, 吉場聡子, 真野潤
一*², 高畠令王奈*², 橘田和美*², 中村公亮, 柴田識人,
近藤一成: 新遺伝子組み換え表示制度に向けた試験法開
発～「遺伝子組み換えでない」表示の今後～.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエ
ンスフォーラム (2022.8.26)

*¹ FAMIC

*² 農研機構

蜂須賀暁子, 曾我慶介, 小室朋子, 近藤一成: 食品中の
天然放射性核種ポロニウム210からの被ばく線量推定
(2).

フォーラム2022衛生薬学・環境トキシコロジー (2022.8.31)

清水哲平*¹, 大橋祥子*¹, 吉本光喜*², 山本栄一, 浦澤
貴哉*¹, 高倉大輔*¹, 藤井博史*³, 蜂須賀暁子, 川崎ナ

ナ^{*1}：放射性核種標識抗体医薬品の品質・安全性評価に関する研究。

第12回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2022.9.9)

^{*1} 横浜市立大学

^{*2} 国立がん研究センター

^{*3} 日本アイソトープ協会

Shibata N, Cho N^{*1}, Koyama H^{*1}, Naito M^{*2}:
Development of a degrader against oncogenic fusion
protein FGFR3-TACC3.

The 81st annual meeting of the Japanese Cancer
Association (2022.10.1)

^{*1} RIKEN

^{*2} The University of Tokyo

近藤一成, 曾我慶介, 成島純平, 吉場聡子, 柴田識人,
田口千恵, 坂田こずえ, 加藤怜子: ゲノム編集によって
発生する意図しない変異はどこから来るのか。

NGS EXPO 2022 (2022.10.18)

成島純平, 木俣真弥, 志波優^{*1}, 権藤崇裕^{*2}, 秋元智,
杉野御祐, 曾我慶介, 吉場聡子, 中村公亮, 柴田識人,
近藤一成: NGSを用いた網羅的なオフターゲット変異候
補部位予測法の高GABA産生ゲノム編集トマトへの適用
と検証。

NGS EXPO 2022 (2022.10.18)

^{*1} 東京農業大学

^{*2} 宮崎大学

曾我慶介, 吉田光範^{*}, 成島純平, 吉場聡子, 柴田識人,
近藤一成: ナノポアロングリード用アセンブラツールの
比較検討 (キノコ編)。

NGS EXPO 2022 (2022.10.19)

^{*} 国立感染症研究所

吉場聡子, 成島純平, 曾我慶介, 杉野御祐, 柴田識人,
近藤一成: 遺伝子組換え食品の同定に資する新たなゲノ
ム解析技術の検討。

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

柴田識人, 成島純平, 曾我慶介, 吉場聡子, 近藤一成:
ゲノム編集食品における外来性遺伝子の残存を評価する
全ゲノムシーケンスデータ解析の標準化に向けた取り

組み。

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

田口千恵, 近藤一成: ゲノム編集食品に対する国民理解
の向上を目指した取り組み。

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

成島純平, 杉野御祐, 曾我慶介, 吉場聡子, 柴田識人,
近藤一成: NGSを用いた網羅的なオフターゲット変異候
補部位予測法の高GABA産生ゲノム編集トマトへの適用
と検証。

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

柴田識人, 成島純平, 曾我慶介, 吉場聡子, 近藤一成:
ゲノム編集食品の安全性評価における全ゲノムシーケ
ンスデータを用いた解析の標準化に向けた課題。

日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.11)

宮崎明子^{*1}, 渡辺聡^{*1}, 平尾宜司^{*1}, 酒井信夫, 安達玲
子, 緒方京子^{*2}, 永富靖章^{*2}, 國谷亮太^{*3}, 峯岸恭孝^{*3}:
レトルトモデル加工食品中の食物アレルギーを高感度で
検出する定性リアルタイムPCRの開発。

日本缶詰びん詰レトルト食品協会第71回技術大会
(2022.11.18)

^{*1} ハウス食品グループ本社 (株)

^{*2} (株) ファスマック

^{*3} (株) ニッポンジーン

Kondo K, Fukuda N, Soga K, Yoshiba S, Narushima J,
Shibata N, Taguchi C, Sakata K, Kato R: G2/M
synchronization with CDK1 inhibitor suppresses
genome-wide mutations and genome rearrangements
during genome editing.

CELL BIO 2022 An ASCB EMBO Meeting (2022.12.6)

Soga K, Yoshiba S, Narushima J, Shibata N, Kondo K:
Genome analysis of deadly poisonous mushroom
Amanita virosa using nanopore sequencing technology.
CELL BIO 2022 An ASCB EMBO Meeting (2022.12.6)

Taguchi C, Kondo K: The influence of information
provision on the acceptance level of genome-edited
foods among Japanese consumers.

22nd International Congress of Nutrition (2022.12.7)

Fukuie T^{*1}, Takeuchi S^{*2}, Saito M^{*2}, Adachi R,

Akiyama H^{*3}, Suzuki Y, Ohya Y^{*1}, Saito H^{*4}: Bayesian statistics and modeling approaches for the estimation of allergic reactions to foods and quantitative risk assessment in Japan.

2023 The American Academy of Allergy, Asthma & Immunology (AAAAI) Annual Meeting (2023.2.26)

^{*1} National Center for Child Health and Development

^{*2} University of Nagasaki

^{*3} Hoshi University

^{*4} National Research Institute for Child Health and Development

高島令王奈^{*1}, 大西真理^{*2}, 峯岸恭孝^{*3}, 布藤聡^{*2}, 曾我慶介, 柴田識人, 中村公亮, 近藤一成, 真野潤一^{*1}, 橘田和美^{*1}: アグロバクテリア法によって作出された遺伝子組換え植物中に存在する超短配列25 bpの検出法の開発.

第64回日本植物生理学会年会 (2023.3.16)

^{*1} 農研機構

^{*2} 株式会社ファスマック

^{*3} 株式会社ニッポンジーン

安達玲子: 医療分野等におけるAI技術の利用状況とリスク評価分野への適用性.

日本薬学会第143年会シンポジウム「ゲノム医療分野など大規模データを用いた研究の最新現状と課題」(2023.3.26)

為廣紀正: 機械・深層学習を利用した新たなアレルギー性予測手法の開発.

日本薬学会第143年会シンポジウム「ゲノム医療分野など大規模データを用いた研究の最新現状と課題」(2023.3.26)

曾我慶介, 成島純平, 吉場聡子, 柴田識人, 近藤一成: 猛毒キノコドクツルタケのドラフトゲノムを用いた新規毒性ペプチドの探索.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

最上(西巻)知子, 伊藤祥輔^{*}, 崔紅艶, 秋山卓美, 為廣紀正, 安達玲子, 若松一雅^{*}, 五十嵐良明, 近藤一成: 皮膚に白斑を誘発するフェノール類のヒトチロシナーゼによる代謝活性化の評価法.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

^{*} 藤田医科大学

蜂須賀暁子, 曾我慶介, 小室朋子, 片岡洋平, 近藤一成: 食品中放射性物質からの内部被ばく線量についての考察. 日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

大橋祥子^{*1}, 吉本光喜^{*2}, 清水哲平^{*1}, 高倉大輔^{*1}, 藤井博史^{*3}, 蜂須賀暁子, 川崎ナナ^{*1}: α 線放出核種が抗体医薬品の構造に与える影響.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

^{*1} 横浜市立大学

^{*2} 国立がん研究センター

^{*3} 日本アイソトープ協会

豊福肇^{*1}, 齋藤京子^{*2}, 畝山智香子, 小川久美子, 松田りえ子, 小谷聡司^{*3}, 松井保喜^{*3}, 田中里依^{*3}: 厚生労働科学研究「食品の安全確保推進研究」応募のススメ. 第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

^{*1} 山口大学共同獣医学部

^{*2} 淑徳大学

^{*3} 厚生労働省

豊福肇^{*1}, 齋藤京子^{*2}, 畝山智香子, 小川久美子, 松田りえ子, 扇屋りん^{*3}, 松井保喜^{*3}, 田中里依^{*3}: 厚生労働科学研究「食品の安全確保推進研究」応募のススメ. 日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.10)

^{*1} 山口大学共同獣医学部

^{*2} 淑徳大学

^{*3} 厚生労働省

畝山智香子, 小川久美子, 松田りえ子, 豊福肇^{*1}, 齋藤京子^{*2}, 扇屋りん^{*3}, 松井保喜^{*3}, 田中里依^{*3}: 厚生労働科学研究「食品の安全確保推進研究」応募のススメ. 日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

^{*1} 山口大学共同獣医学部

^{*2} 淑徳大学

^{*3} 厚生労働省

渡邊敬浩, 永山敏廣^{*1}, 中村歩^{*2}, 渡邊文子^{*2}, 河野洋一^{*2}, 伊佐川聡^{*2}, 加藤拓^{*3}, 荒川史博^{*4}, 松田りえ子, 畝山智香子: 玄米インカード試料を用いたQuEChERS法と公定法との性能比較.

第45回残留農薬分析研究会 (2022.11.24)

*¹ 明治薬科大学

*² 日本食品分析センター

*³ 東京農業大学

*⁴ 日本ハム株式会社 中央研究所

渡邊敬浩, 林恭子, 松田りえ子, 畝山智香子: 国内実施された残留農薬等検査の結果の収集と解析に関する研究.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.31)

渡邊敬浩, 永山敏廣^{*1}, 中村歩^{*2}, 渡邊文子^{*2}, 河野洋一^{*2}, 伊佐川聡^{*2}, 加藤拓^{*3}, 荒川史博^{*4}, 松田りえ子, 畝山智香子: 玄米インカード試料を用いたQuEChERS法の厳密な性能評価.

日本農薬学会第48回大会 (2023.3.10)

*¹ 明治薬科大学

*² 日本食品分析センター

*³ 東京農業大学

*⁴ 日本ハム株式会社 中央研究所

K. Kubota, H. Amanuma, M. Tamura, Y. Kumagai^{*1}, H. Asakura, F. Kasuga^{*2}: Estimating the Burden of Foodborne Illness for *Campylobacter*, *Salmonella* and *Vibrio parahaemolyticus* in Japan 2006-2019 (日本におけるカンピロバクター, サルモネラ及び腸炎ビブリオの食品由来感染症被害実態の推定, 2006-2019年)

International Conference on Emerging Infectious Diseases (ICEID), 2022 Meeting (2022.8.7, 8.8, 8.9, 8.10)

*¹ 和洋女子大学

*² 国立環境研究所

田村克, 天沼宏, 酒井真由美, 荻原恵美子, 畝山智香子, 窪田邦宏: 「食品安全情報 (微生物)」に見る海外の食中毒アウトブレイク (2019~2021年).

第43回日本食品微生物学会学術総会 (2022.9.29, 9.30)

田村克, 天沼宏, 酒井真由美, 荻原恵美子, 畝山智香子, 窪田邦宏: 「食品安全情報 (微生物)」と海外の食品回収情報に見る腸管出血性大腸菌アウトブレイク・食品汚染の状況 (2018~2022年).

第24回腸管出血性大腸菌感染症研究会 (2022.10.14)

登田美桜: 食中毒の原因となる有毒植物の近年の傾向.

第44回日本中毒学会学術集会教育講演 (2022.7.15)

友澤潤子^{*1}, 南谷臣昭^{*2}, 岩附綾子^{*2}, 竹内 浩^{*3}, 吉村英基^{*3}, 谷口 賢^{*4}, 吉岡直樹^{*5}, 野村千枝^{*6}, 山口瑞香^{*6}, 阿部尚仁^{*7}, 鈴木敏之^{*8}, 登田美桜: わが国の主な有毒きのこの多成分分析法.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31)

*¹ 滋賀県衛生科学センター

*² 岐阜県保健環境研究所

*³ 三重県保健環境研究所

*⁴ 名古屋市衛生研究所

*⁵ 兵庫県立健康科学研究所

*⁶ 大阪健康安全基盤研究所

*⁷ 岐阜薬科大学

*⁸ 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所

Sai K, Saito Y: Comparison of safety of original and generic lansoprazole in Japanese patients in the real world.

ISPE's 14th Asia Conference on Pharmacoepidemiology (2022.10.21)

佐井君江, 斎藤嘉朗: ランソプラゾール投薬症例のリアルワールドにおける製品別 (先発品・後発品) の有害事象の比較.

第27回日本薬剤疫学会学術総会 (2022.11.17)

佐井君江, 斎藤嘉朗: VigiBaseを用いた東及び東南アジア諸国の副作用発生状況の比較 - 抗精神病薬及び免疫抑制剤の解析.

第43回日本臨床薬理学会学術総会 (2022.12.2)

望月祐志^{*1,2}, 中野達也, 坂倉耕太^{*3}, 渡邊啓正^{*4}, 秋澤和輝^{*1}, 北原駿^{*1}, 奥脇弘次^{*1}, 土居英男^{*1}, 山本詠士^{*5}, 平野秀典^{*5}, 泰岡顕治^{*5}, 森脇由隆^{*2}, 大島聡史^{*6}, 片桐孝洋^{*6}: A64FXスーパーコンピュータ上でのABINIT-MPの改良と大規模応用計算.

第16回分子科学討論会 (2022.9.21)

*¹ 立教大学

*² 東京大学

*³ 計算科学振興財団

*⁴ HPCシステムズ

*⁵ 慶応大学

*⁶ 名古屋大学

Tsukagoshi E, Nakamura R, Asada H*, Saito Y: Development of a method for genotyping a surrogate marker of *HLA-B*58:01* for allopurinol-induced SJS/TEN.

第29回日本免疫毒性学会学術年会 (2022.9.12)

* 奈良県立医科大学

塚越絵里, 中村亮介, 浅田秀夫*, 斎藤嘉朗: アロプリノールによるSJS/TEN発症に関連する一塩基多型を用いた遺伝子診断の分析法バリデーション.

第43回日本臨床薬理学会学術総会 (2022.11.30)

* 奈良県立医科大学

土性梨香^{*1}, 斎藤朋子^{*1}, 才原良子^{*1}, 相川博明^{*1}, 高橋一彰^{*1}, 新田真一郎^{*1}, 細貝龍太^{*1}, 合田竜弥^{*2}, 孫雨晨, 齊藤公亮, 斎藤嘉朗, 三浦公道^{*1}: 生体試料中のモデル核酸医薬品濃度測定法に関する紹介: マイクロサンプリング手法を適応した採取血漿中の測定事例を交えて.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

^{*1} 株式会社LISメディエンス

^{*2} 第一三共株式会社

土性梨香^{*1}, 新田真一郎^{*1}, 高橋一彰^{*1}, 細貝龍太^{*1}, 合田竜弥^{*2}, 孫雨晨, 齊藤公亮, 斎藤嘉朗, 三浦公道^{*1}: AC-LC-質量分析計によるラット-マイクロサンプリング試料中のノシネルセン定量法の開発と薬物濃度測定.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

^{*1} 株式会社LISメディエンス

^{*2} 第一三共株式会社

孫雨晨, 新田真一郎^{*1}, 細貝龍太^{*1}, 中井恵子^{*1}, 藤田央^{*2}, 清水久夫^{*2}, 掛樋真彰^{*2}, 村田和之^{*3}, 山口建^{*3}, 松沼孝行^{*4}, 高原健太郎^{*4}, 加藤紀子^{*5}, 山田真希^{*5}, 翁昌子^{*6}, 青山和誠^{*6}, 神野文宏^{*6}, 唐川幸聖^{*7}, 中山聡^{*7}, 合田竜弥^{*8}, 山根真一^{*9}, 川端光彦^{*10}, 吉田徳幸, 齊藤公亮, 井上貴雄, 斎藤嘉朗: LC/MSを用いたsiRNA医薬品の生体試料中薬物濃度分析法に関する多施設分析法バリデーション.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

^{*1} 株式会社LISメディエンス

^{*2} 武田薬品工業株式会社

^{*3} 株式会社住化分析センター

^{*4} サーマフィッシャーサイエンティフィック株式会社

^{*5} 株式会社島津製作所

^{*6} Axcelead Drug Discovery Partners株式会社

^{*7} 株式会社味の素

^{*8} 第一三共株式会社

^{*9} 積水メディカル株式会社

^{*10} 株式会社新日本科学

Saito Y, Sun Y: Recent Developments of Biomarker Assay Validation (BAV) in Japan for qPCR Assays. 16th WRIB (2022.09.28)

孫雨晨, 齊藤公亮, 斎藤嘉朗: LC/MSを用いた核酸医薬品及びその代謝物に対する網羅的配列同定法並びに定量法の開発.

日本薬物動態学会第37回年会 (2022.11.9)

相川博明^{*1}, 久末大樹^{*2}, 渡辺秀幸^{*2}, 坂井紀文^{*2}, 新田真一郎^{*1}, 鍛冶秀文^{*1}, 菅野剛^{*2}, 樋口剛史^{*2}, 長田智治^{*1}, 合田竜弥^{*3}, 孫雨晨, 齊藤公亮, 斎藤嘉朗, 三浦公道: イメージング質量分析法を用いた核酸医薬品の分析事例紹介.

第14回JBFシンポジウム (2023.3.2)

^{*1} 株式会社LISメディエンス

^{*2} 株式会社LSIM安全科学研究所

^{*3} 第一三共株式会社

孫雨晨: 核酸医薬品のバイオアナリシス法の開発と標準化.

第14回JBFシンポジウム (2023.3.3)

孫雨晨, 齊藤公亮, 牛木淳人^{*1}, 安部光洋^{*2}, 斎藤好信^{*3}, 柏田建^{*3}, 堀益靖^{*4}, 弦間昭彦^{*4}, 巽浩一郎^{*3}, 服部登^{*4}, 津島健司^{*5}, 荒川憲昭, 赤根弘敏, 豊田武士, 小川久美子, 佐藤元信^{*6}, 高松一彦^{*6}, 森和彦^{*7}, 西矢剛淑^{*7}, 泉高司^{*8}, 大野泰雄^{*8}, 斎藤嘉朗, 花岡正幸^{*1}: 新規薬剤性間質性肺疾患バイオマーカーとしてのキヌレニン及びキノリン酸の同定並びに検証.

日本薬学会第143年会 (2023.3.3)

^{*1} 信州大学

^{*2} 千葉大学

^{*3} 日本医科大学

^{*4} 広島大学

*⁵ 国際医療福祉大学

*⁶ アステラス製薬株式会社

*⁷ 第一三共RDノバーレ株式会社

*⁸ 木原財団

Noriaki Arakawa: Novel biomarker exploration using SOMAscan.

The Third PSTC Japan Safety Biomarker Workshop (2023.2.20)

荒川憲昭：新規肺障害マーカータンパク質によるCOVID-19重症化の早期検出.

第96回日本薬理学会年会・第43回日本臨床薬理学会学術総会 (2022.12.3)

荒川憲昭：新規卵巣がんマーカーTFPI2の開発と臨床応用～探索から臨床応用を目指して～.

第31回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 (2022.10.16)

荒川憲昭, 弦間昭彦^{*1}, 巽浩一郎^{*2}, 服部登^{*3}, 大野泰雄^{*4}, 斎藤嘉朗, 花岡正幸^{*5}: SOMAscanを用いた薬剤性間質性肺炎の新規バイオマーカー探索と有用性検証. 日本プロテオーム学会2022年大会 (2022.8.10)

*¹ 日本医科大学

*² 千葉大学

*³ 広島大学

*⁴ 木原財団

*⁵ 信州大学

荒川憲昭, 斎藤嘉朗: COVID-19重症化予測因子としての肺障害関連バイオマーカータンパク質の有用性.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

荒川憲昭：新規卵巣がん血清診断マーカーTFPI2の開発：基礎から臨床応用まで.

第9回婦人科がんバイオマーカー研究会学術集会 (2022.5.7)

Nakamura R, Ozeki T^{*1}, Hirayama N^{*2}, Sekine A^{*3}, Mizukawa Y^{*4}, Shiohara T^{*4}, Watanabe H^{*5}, Sueki H^{*5}, Ogawa K^{*6}, Asada H^{*6}, Tsukagoshi E, Matsunaga K^{*7}, Niihara H^{*8}, Yamaguchi Y^{*9}, Aihara M^{*9}, Mushiroda T^{*1}, Saito Y, Morita E^{*8}: 日本人におけるスルホンアミド系薬剤による重症薬疹の発症とHLA-A*11:01の関連. 第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

*¹ 理化学研究所

*² 東海大学

*³ 千葉大学

*⁴ 杏林大学

*⁵ 昭和大学

*⁶ 奈良医科大学

*⁷ 藤田医科大学

*⁸ 島根大学

*⁹ 横浜市立大学

中村亮介: 培養マスト細胞株を用いたアレルギー試験法. 第34回バイオメディカル分析科学シンポジウム (2022.9.2)

近藤昌夫*, 中村亮介: レギュラトリーサイエンスの萌芽研究最前線.

第12回レギュラトリーサイエンス学術大会 (2022.9.9)

* 大阪大学

秋山晴代^{*1}, 栗坂知里^{*1}, 田所 哲^{*2}, 熊坂謙一^{*2}, 中村亮介: キメラ高親和性IgE受容体を発現する培養マスト細胞株を用いた高感度アレルギー試験法の開発. 第29回日本免疫毒性学会学術年会 (2022.9.10-11)

*¹ 帝京平成大学

*² 神奈川県衛生研究所

中村亮介, 菅原健*, 藤波宏治*, 土井雅津代*, 斎藤嘉朗: 培養細胞を用いたアレルギー力価評価法の開発および信頼性評価.

第71回日本アレルギー学会学術大会 (2022.10.7)

* 鳥居薬品株式会社

中村亮介, 大関健志^{*1}, 平山令明^{*2}, 関根章博^{*3}, 水川良子^{*4}, 塩原哲夫^{*4}, 渡辺秀晃^{*5}, 末木博彦^{*5}, 小川浩平^{*6}, 浅田秀夫^{*6}, 塚越絵里, 松永佳世子^{*7}, 新原寛之^{*8}, 山口由衣^{*9}, 相原道子^{*9}, 蒔田泰誠^{*1}, 斎藤嘉朗, 森田栄伸^{*8}: 日本人におけるサルファ剤による重症薬疹の発症とHLA-A*11:01の関連.

第71回日本アレルギー学会学術大会 (2022.10.7)

*¹ 理化学研究所

*² 東海大学

*³ 千葉大学

- *⁴ 杏林大学
*⁵ 昭和大学
*⁶ 奈良医科大学
*⁷ 藤田医科大学
*⁸ 島根大学
*⁹ 横浜市立大学

秋山晴代*, 栗坂知里*, 中村亮介: IgE架橋活性を評価するハイスループットスクリーニング系の確立.
日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

* 帝京平成大学

中村亮介, 大里智子, 栗田祥子, 青木良子, 佐井君江, 斎藤嘉朗: 国内承認薬の海外における承認状況及び安全性情報に関する調査と考察.
日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

田中庸一, 濱野彩香, 斎藤嘉朗: 組換えアデノウイルスベクター製品の生体内分布・排泄を評価するためのマルチサイトをターゲットとしたPCRによる定量法の構築.
日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

佐藤翼*, 安達昂一郎*, 村山典恵*, 清水万紀子*, 田中庸一, 斎藤嘉朗, 山崎浩史*: 簡易生理学的薬物動態モデルによるチトクロム P450 3A4/5 遺伝子多型患者でのアトルバスタチンおよびカルバマゼピン血中動態予測.
日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

* 昭和薬科大学

田中庸一: 遺伝子治療用製品の薬物濃度分析法の開発と標準化.
第14回JBFシンポジウム (2023.3.3)

斎藤嘉朗: マイクロサンプリングのトキシコキネティクス評価への応用に関するオーバービュー.
第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

斎藤嘉朗, 荒川憲昭, 塚越絵里, 中村亮介: 医薬品による重症薬疹の発症機序と発現予測.
第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

斎藤嘉朗: 学会賞受賞講演.
日本薬物動態学会第37回年会 (2022.11.8)

斎藤嘉朗, 齊藤公亮, 孫雨晨: 核酸医薬品の薬物動態に関する規制とレギュラトリーサイエンス.
日本薬物動態学会第37回年会 (2022.11.9)

斎藤嘉朗: 官民共同による4種の新規モダリティ医薬品に関する生体試料中濃度等分析法研究: 目的と概要.
第14回JBFシンポジウム (2023.3.3)

齊藤公亮: 次世代ペプチド医薬品バイオアナリシスの標準化: 研究構想と展望.
第14回JBFシンポジウム (2023.3.3)

石川リカ, 齊藤公亮, 立木秀尚^{*1}, 合田竜弥^{*2}, 新井浩司^{*3}, 清水久夫^{*4}, 安藤智弘^{*5}, 高原健太郎^{*6}, 内山仁^{*1}, 新田真一郎^{*3}, 掛樋真彰^{*4}, 林浩三^{*5}, 片桐直宏^{*1}, 小島恵子^{*3}, 藤田央^{*4}, 土永和弘^{*5}, 斎藤嘉朗: イムノアフィニティー (IA) -LC/MSを用いたグルカゴン様ペプチド1 (GLP-1) 分析の多施設バリデーション.
第14回JBFシンポジウム (2023.3.3)

*¹ 東和薬品株式会社

*² 第一三共株式会社

*³ 株式会社LISメディエンス

*⁴ 武田薬品工業株式会社

*⁵ Axcelead Drug Discovery Partners株式会社

*⁶ サーマフィッシャーサイエンティフィック株式会社

石川リカ, 齊藤公亮, 三澤隆史, 出水庸介, 斎藤嘉朗: ステープル型 α ヘリックスペプチド開発品ATSP-7041の*in vitro*における薬物相互作用の評価.
薬物動態学会第37回年会 (2022.11.9)

Kosuke Saito, Akihiko Gemma^{*1}, Koichiro Tatsumi^{*2}, Noboru Hattori^{*3}, Atsuhito Ushiki^{*4}, Kenji Tsushima^{*5}, Yoshinobu Saito^{*1}, Mitsuhiro Abe^{*2}, Yasushi Horimasu^{*3}, Takeru Kashiwada^{*1}, Kazuhiko Mori^{*6}, Motonobu Sato^{*7}, Takayoshi Nishiya^{*6}, Kazuhiko Takamatsu^{*7}, Yuchen Sun, Noriaki Arakawa, Takashi Izumi^{*8}, Yasuo Ohno^{*8}, Yoshiro Saito, Masayuki Hanaoka^{*4}: Identification and characterization of lysophosphatidylcholine 14:0 as a biomarker for drug-induced lung disease.
薬物動態学会第37回年会 (2022.11.9)

*¹ 日本医科大学

*² 千葉大学

*³ 広島大学

*⁴ 信州大学

*⁵ 国際医療福祉大学

*⁶ 第一三共RDノバーレ株式会社

*⁷ アステラス製薬株式会社

*⁸ 木原財団

平林容子：核酸医薬品の非臨床安全性評価におけるICH S6対応研究班の取組.

日本核酸医薬学会第7回年会（2022.8.3）

平林容子：JaCVAMにおけるNew Approach Methodsへの取組.

2022年度日化協LRI研究報告会（2022.8.26）

平林容子：非臨床安全性評価の課題と展望.

安全性評価研究会 第30回夏の教育フォーラム（2022.9.9）

平林容子：核酸医薬品の非臨床安全性試験ガイドラインについて.

第12回レギュラトリーサイエンス学会学術大会（2022.9.10）

平林容子：稀少疾患への核酸医薬品適用における安全性評価の考え方.

BioJapan2022（2022.10.1）

日野浩嗣*, 湯田幸*, 相澤信*, 壺井功*, 平林容子, 原田智紀*, 平井宗一*: 骨髄造血微小環境におけるM1・M2マクロファージの役割についての検討.

第128回日本解剖学会総会・全国学術集会（2023.3.19）

* 日本大学医学部

Kanno J, Aisaki KI, Ono R, Kitajima S: Comprehensive Histone, DNA Methylation, and mRNA Expression Analysis of Murine Liver Repeatedly Exposed to Chemicals: Percellome Project 2022 Update.

The 61th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2022.3.30)

牛山明^{*1}, 岡村匡史^{*2}, 津村秀樹^{*3}, 高木篤也, 塩谷恭子^{*4}, 小木曾昇^{*5}, 山海直^{*6}: 厚生労働省所管機関における動物実験の実施状況および指針の遵守状況に関する令和2年度アンケート調査.

第69回日本実験動物学会総会（2022.5.18）

*¹ 国立保健医療科学院

*² 国立国際医療研究センター

*³ 国立成育医療研究センター

*⁴ 国立循環器病研究センター

*⁵ 国立長寿医療研究センター

*⁶ 医薬基盤・健康・栄養研究所

Okubo Y, Kanno S*, Kitajima S, Hirabayashi Y, Fukuda J*: Establishment of developmental toxicity test based on the integration of FGF signal disruption effects for safety evaluation of drugs and chemicals using human iPS cells.

The 55th Annual Meeting of the Japanese Society of Developmental Biologist (2022.6.1-3)

* Yokohama National University

横田理, 関根尚^{*1}, 市瀬孝道^{*2}, 藤ノ木政勝^{*3}, 若山友彦^{*4}, 北嶋聡, 押尾茂^{*1}: ナノ銀の妊娠期曝露により生じる, 雄性生殖系列を介した継世代・多世代影響.

第41回アンドロロジー学会（2022.6.3）

*¹ 奥羽大学薬学部

*² 大分県立看護科学大学看護学部

*³ 獨協大学医学部

*⁴ 熊本大学大学院生命科学研究部

Okubo Y, Kanno S*, Kitajima S, Hirabayashi Y, Fukuda J*: Establishment of developmental toxicity test based on the integration of FGF signal disruption effects for safety evaluation of drugs and chemicals using human iPS cells.

ICCA-LRI & NITE Workshop (2022.6.20)

* Yokohama National University

小野竜一, 山本雄介^{*1}, 成瀬美衣^{*1}, 田邊思帆里, 吉岡祐亮^{*2}, 相崎健一, 広瀬明彦^{*3}, 落谷孝広^{*2}, 平林容子, 北嶋聡: cfDNAによる毒性評価.

第49回日本毒性学会学術年会（2022.6.29）

*¹ 国立がん研究センター

*² 東京医科大学 医学総合研究所

*³ 化学物質評価研究機構

菅野純, 相崎健一, 小野竜一, 北嶋聡: 新型反復曝露トランスクリプトミクスから見た発癌エピジェネティクスの考察.

第49回日本毒性学会学術年会（2022.6.30）

栗形麻樹子：ウサギを用いたサリドマイドの発生毒性；雄精漿移行による催奇形性発現の可能性。
第49回日本毒性学会学術年会（2022.6.30）

Taquahashi Y, Tsuruoka S*, Okubo Y, Aisaki KI, Kitajima S: An approach to prediction of mortality in acute toxicity studies by integrated assessment of vital signs.
第49回日本毒性学会学術年会（2022.6.30）

* Shinshu University

Taquahashi Y, Yokota S, Hirose A, Kanno J: Streamline of chronic inhalation exposure study protocol for nanomaterial.
第49回日本毒性学会学術年会（2022.6.30）

前野愛^{*1}，北條幹^{*1}，坂本義光^{*1}，湯澤勝廣^{*1}，長澤明道^{*1}，生嶋清美^{*1}，山本行男^{*1}，平松恭子^{*1}，矢野範男^{*1}，大貫文^{*1}，稲葉涼太^{*1}，鈴木仁^{*1}，横田理，高橋祐次，小林憲弘，菅野純，広瀬明彦，猪又明子^{*1}，中江大^{*2,3}：多層カーボンナノチューブ（MWCNT）の2年間間欠気管内投与によるラット発がん性試験。
第49回日本毒性学会学術年会（2022.6.30）

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 帝京平成大学

^{*3} 東京農業大学

五十嵐智女，松村万里^{*}，小川いずみ^{*}，矢川千織^{*}，早川孝彦^{*}，越智美代子^{*}，齊藤洋克，栗形麻樹子，北嶋聡：「新規の食品」の安全性を確保するための諸外国の制度比較。
第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.1）

* 株式会社三菱ケミカルリサーチ

大久保佑亮，菅野聖世^{*}，北嶋聡，平林容子，福田淳二^{*}：ヒトiPS細胞を用いたシグナル伝達かく乱作用のダイナミクスに基づく高精度かつ網羅的ヒト発生毒性試験法の開発。
第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.1）

* 横浜国立大学

齊藤洋克，種村健太郎^{*}，菅野純，北嶋聡：アセフェート単回経口投与による雄マウスの情動認知行動解析－化

学物質曝露影響から考える神経発達障害－。
第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.1）

* 東北大学大学院農学研究科

西村次平^{*}，西村拓也：小児開発における非臨床安全性試験の留意点について－規制当局の視点から－。
第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.1）

* 医薬品医療機器総合機構

菅野純，相崎健一，小野竜一，北嶋聡：Percellome projectからみた毒性AIの展望。
第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.2）

五十嵐智女，藤井咲子^{*}，釣本真理子，高橋祐次，北嶋聡，栗形麻樹子：ビスフェノール類似体4,4'- (1,3-dimethylbutylidene) diphenolの卵巣摘出マウスにおける皮下および経口投与による子宮肥大試験。
第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.2）

* 株式会社化合物安全性研究所安全性研究部

栗形麻樹子，種村健太郎^{*}：周産期の甲状腺機能低下による次世代影響。
第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.2）

* 東北大学大学院農学研究科

Taquahashi Y: Non-clinical Safety Issue in Pediatric Drug Development: What issues are to be considered from now on?
第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.2）

横田理：生殖発生毒性評価の予測性向上に資する精子染色診断技術の開発。
第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.2）

高島宏昌^{*1}，田中加奈子^{*1}，長谷川拓郎^{*2}，羽田亮^{*2}，山崎浩史^{*3}，北嶋聡，栗形麻樹子：サリドマイドに係る雄性生殖を介した発生毒性。
第62回日本先天異常学会学術集会（2022.7.29）

^{*1} 株式会社ボゾリサーチセンター御殿場研究所

^{*2} 株式会社ボゾリサーチセンターつくば研究所

^{*3} 昭和薬科大学薬物動態学研究室

横田理, 齊藤洋克, 若山友彦*, 北嶋聡: ビタミンA過剰マウス精上皮周期に着目した精巣毒性評価法の開発.
第62回日本先天異常学会学術集会 (2022.7.29)

* 熊本大学大学院生命科学研究部

大久保佑亮, 菅野聖世*, 北嶋聡, 平林容子, 福田淳二*: ヒトiPS細胞を用いたシグナルかく乱作用のダイナミクスに基づく高精度・網羅的な発生毒性試験法の開発.
第62回日本先天異常学会学術集会 (2022.7.30)

* 横浜国立大学

齊藤洋克, 菅康佑, 横田理, 阿部裕, 片岡洋平, 六鹿元雄, 種村健太郎*, 北嶋聡: キシレンの吸入曝露によるマウス行動影響解析.
第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

* 東北大学大学院農学研究科

横田理, 兼子智^{*1}, 宮宗秀伸^{*2}, 菅康佑, 高橋祐次, 北嶋聡: 医薬品開発の迅速化・高精度化に資する新規雄性生殖毒性評価法の開発.
第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

^{*1} 東京歯科大学市川総合病院

^{*2} 国際医療福祉大学医学部

Natsume-Kitatani Y*, Aisaki KI, Kitajima S, Kanno J: Comparative study of dynamic changes in gene expression profiles induced by PPARα ligands.
21st European Conference on Computational Biology (2022.9.18)

* National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition

Okubo Y, Kanno S*, Kitajima S, Hirabayashi Y, Fukuda J*: Establishment of developmental toxicity test based on the integration of FGF signal disruption effects for safety evaluation of drugs and chemicals using human iPS cells.
The XVITH International Congress of Toxicology (2022.9.18)

* Yokohama National University

Kanno J, Aisaki KI, Ono R, Kitajima S: Histone Modification, DNA Methylation, and mRNA Expression Analysis of Murine Liver Repeatedly Exposure to a Chemical.
The XVITH International Congress of Toxicology (2022.9.19)

Ono R: Horizontal Gene transfer mediated by exosomes: a possible new risk for genome editing.
International Congress of Toxicology, Maastricht (2022.9.20)

小野竜一, 田埜慶子, 安田智, 佐藤陽治, 内田恵理子, 平林容子, 北嶋聡: ゲノム編集技術を利用した際の、オンターゲット部位における非意図配列の挿入と、その検出方法の確立.
日本食品衛生学会第118回学術講演会 (2022.11.11)

Ono R: Toxicity Concerns of Exosome Products.
American College of Toxicology 2022 (2022.11.14)

大久保佑亮, 溝田華柊^{*1}, 北嶋聡, 平林容子, 中島芳浩^{*2}, 福田淳二^{*1}: リアルタイム発光測定法を用いたシグナルかく乱作用のダイナミクス測定による医薬品の発生毒性の評価.
日本動物実験代替法学会第35回大会 (2022.11.19)

^{*1} 横浜国立大学

^{*2} 産業技術総合研究所

高橋祐次: 動物を用いない新たなリスク評価アプローチ法の開発; *In vivo*毒性試験の経験に基づくNGRAによる安全性評価手法に関する考察.
日本動物実験代替法学会第35回大会 (2022.11.20)

高橋祐次: DPI製品化の課題; 粉体の吸入剤研究開発における有効性・薬物動態・安全性の評価を推進する非臨床評価手法の開発.
第13回粉末吸入剤研究会シンポジウム (2022.11.24)

相崎健一, 小野竜一, 菅野純, 北嶋聡: Percellomeプロジェクト〜トランスクリプトミクスとエピジェネティクス, インフォマティクスによる毒性分子機序の探求〜
第96回日本薬理学会年会 (2022.12.2)

北嶋聡：創薬研究における薬理－病理連携の必要性：毒性学の立場から－食品トキシコゲノミクスと薬理学－
第96回日本薬理学会年会 (2022.12.2)

Taquahashi Y, Tsuruoka S^{*1}, Okubo Y, Tanemura K^{*2}, Aisaki KI, Kitajima S: Modernization of acute toxicity testing with integrated assessment of multiple vital signs as endpoints.

第96回日本薬理学会年会 (2022.12.2)

^{*1} Shinshu University

^{*2} Tohoku University

大久保佑亮, 溝田華柊^{*1}, 平林容子, 中島芳浩^{*2}, 福田淳二^{*1}: リアルタイム発光測定法を用いたシグナルかく乱作用のダイナミクス測定による医薬品の発生毒性の評価.

第45回日本分子生物学会年会発生生物学会 (2022.12.2)

^{*1} 横浜国立大学

^{*2} 産業技術総合研究所

前野愛^{*1}, 北條幹^{*1}, 坂本義光^{*1}, 湯澤勝廣^{*1}, 長澤明道^{*1}, 平松恭子^{*1}, 大貫文^{*1}, 稲葉涼太^{*1}, 鈴木仁^{*1}, 横田理, 高橋祐次, 小林憲弘, 広瀬明彦, 猪又明子^{*1}, 中江大^{*2,3}: 多層カーボンナノチューブ (MWCNT) の2年間間欠気管内投与によるラット肺腫瘍及び中皮腫の発生.

第39回日本毒性病理学会 (2023.1.25)

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 帝京平成大学

^{*3} 東京農業大学

Kuwagata M, Takashima H^{*1}, Haneda R^{*1}, Tanaka K^{*1}, Hasegawa T^{*2}, Yamazaki H^{*3}, Kitajima S: Possible teratogenic effects via male semen exposed to thalidomide in rabbits.

The 62th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2023.3.22)

^{*1} Gotenba Laboratory, BoZo Research Center

^{*2} Tsukuba Laboratory, BoZo Research Center

^{*3} Showa Pharmaceutical University

Taquahashi Y, Yokota S, Tsuji M, Morita K, Suga K, Hojyo M^{*}, Hirose A, Kanno J: Preliminary report on a

two-year, 4-week-interval intermittent whole body inhalation study of the multi-walled carbon nanotube (MWNT-7) in male mice.

The 62th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2023.3.22)

^{*} Department of Pharmaceutical and Environmental Sciences, Tokyo Metropolitan Institute of Public Health, Tokyo, Japan.

吉岡弘毅^{*1}, 富永サラ^{*2}, 酒々井眞澄^{*2}, 横田理, 前田徹^{*3}, 三浦伸彦^{*4}: シスプラチンによる急性腎毒性と時計遺伝子の関与.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

^{*1} 岐阜医療科学大学薬学部

^{*2} 名古屋市立大学薬学部

^{*3} 金城学院大学薬学部

^{*4} 横浜薬科大学薬学部

横田理, 齊藤洋克, 若山友彦^{*}, 北嶋聡: 精子形成サイクルに着目したビタミンA過剰により生じる雄性生殖毒性の早期予測評価法の開発.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

^{*} 熊本大学大学院生命科学研究部

黒田幸恵, 堀内新一郎, 山崎大樹, 相星里葉^{*}, 陳野莉子^{*}, 古水雄志^{*}, 松下琢^{*}, 石田誠一^{*}: ヒト肝星細胞を用いた非侵襲的肝線維化評価方法の検討.

第29回HAB研究機構学術年会 (2022.5.19)

^{*} 崇城大学

堀内新一郎, 黒田幸恵, 山崎大樹, 親富祖亮太^{*}, 古水雄志^{*}, 松下琢^{*}, 石田誠一^{*}: 胆汁うっ滞評価系構築に向けたヒト凍結肝細胞のロット間における毛細胆管形成と胆汁排泄能の比較.

第29回HAB研究機構学術年会 (2022.5.19)

^{*} 崇城大学

松崎典弥^{*1}, 佐藤薫, 山本俊輔^{*2}, 岩崎慎治^{*2}, 平林秀樹^{*2}: ニューモダリティの受容体介在性細胞輸送評価のための開口型血液脳関門ネットワークモデルの構築.

第29回HAB研究機構学術年会 (2022.5.19-20)

*¹ 大阪大学

*² 武田薬品工業

山崎大樹：MPSを活用した新規*in vitro*評価法の開発－
心臓安全性評価における提案－

第29回HAB研究機構学術年会シンポジウム (2022.5.19)

Daiju Yamazaki: Development of cardiac
microphysiological system for detecting anti-cancer
drug-induced contractile dysfunction.

MPS World Summit (2022.5.30-6.3)

Seiichi Ishida^{*1}, Takumi Kubo^{*1}, Kazuya Maeda^{*2},
Shinichirou Horiuchi, Yukie Kuroda, Yuji Komizu^{*1},
Yuzuru Ito^{*3}, Hitoshi Naraoka^{*4}, Daiju Yamazaki,
Taku Matsushita^{*1}: Efforts to assess the technical
requirements based on unmet needs that MPS should
have for social implementation.

MPS World Summit (2022.5.30-6.3)

*¹ Sojo University

*² Kitasato University

*³ Tsukuba University

*⁴ Astelas Pharma Inc.

Sato K: Round Table: Developers Meet Regulators.

MPS World Summit (2022.5.31)

諫田泰成：ヒトiPS細胞技術を活用した新たな薬理試験
法の開発。

第152回創薬科学セミナー (2022.6.17)

平田尚也, 山田茂, 柳田翔太, 小野敦^{*1}, 安彦行人, 西
田基宏^{*2,3}, 諫田泰成：LPA刺激によるTRPC3チャネ
ルを介した乳がん幹細胞の増殖機構。

第146回日本薬理学会関東部会 (2022.6.18)

*¹ 岡山大学

*² 九州大学

*³ (国研) 生理学研究所

Shogo Mase^{*1,5}, Toshinari Mitsuoka^{*2}, Hiroyuki
Yamazaki^{*3}, Yonehiro Kanemura^{*4}, Daiju Yamazaki,
Noriko Koganezawa^{*5}, Yuko Sekino^{*1}: Proposal of a
new AOP for the neurotoxicity and developmental
neurotoxicity assessment of glutamate receptor
binding agonists that cause learning and memory

impairment.

2022 ICCA LRI & NITE Workshop (2022.6.20-21)

*¹ The University of Tokyo

*² Hokkaido University of Science

*³ Gunma University of Health and Welfare

*⁴ National Hospital Organization Osaka National
Hospital

*⁵ Gunma University

吉田祥子*, Veloo Sharumadhi*, 諫田泰成：胎生期の
化学物質投与は小脳小葉の過形成と顆粒細胞移動の異常
を誘発する。

Neuro2022 (2022.6.30)

* 豊橋技術科学大学

辰巳佳乃子^{*1}, 石田慶士^{*1}, 南川祥輝^{*1}, 森一馬^{*1}, 松
丸大輔^{*1}, 永瀬久光^{*2}, 諫田泰成, 田熊一敏^{*3}, 中西剛^{*1}:
発達神経毒性評価の効率化に向けた脳神経分化トレー
サーマウスの有用性検証。

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30)

*¹ 岐阜薬科大学

*² 岐阜医療科学大学

*³ 大阪大学

柳田翔太, 佐塚文乃, 林紗代, 小野敦*, 諫田泰成：ヒ
トiPS細胞由来心筋細胞のElectro-mechanical windowを
用いたCiPA化合物の催不整脈リスク評価。

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30)

* 岡山大学

Okamura A^{*1,2}, Matsubara T^{*1,3}, Ueda Y^{*1,4},
Shirakawa T^{*1,2}, Miyamoto N^{*1,5}, Odawara A^{*1,5}, Ojima
A^{*1,6}, Koyama T^{*1,7}, Kashiwazaki H^{*1,7}, Sato K^{*1},
Takahashi K^{*1,8}, PAWLAK A^{*1,9}, Asano Y^{*1,9},
Koshizuka S^{*1,10}, Kaga Y^{*1,10}, Nakayama T^{*1,10},
Ishibashi Y^{*1,11}, Suzuki I^{*1,11}: Preliminary study of
simplification of Microelectrode array (MEA) data
analysis method for *in vitro* convulsive risk detection
-CSAHi Neuro Team-.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30)

*¹ Consortium for Safety Assessment using Human
iPS Cells (CSAHi)

*² Astellas Pharma Inc.

*³ PerkinElmer Japan Co., Ltd.

*⁴ Axcelead Drug Discovery Partners Inc.

*⁵ Eisai Co., Ltd.

*⁶ TechnoPro R&D Company

*⁷ Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.

*⁸ The University of Tokyo

*⁹ Nihon Bioresearch Inc.

*¹⁰ RICOH COMPANY, LTD.

*¹¹ Tohoku Institute of Technology

Yamazaki D: Cardiac microphysiological system for detecting drug-induced contractile dysfunction.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30)

諫田泰成：ヒトiPS細胞技術を用いた薬剤性不整脈評価法の国際標準化と今後の展望.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30)

諫田泰成：ヒトiPS細胞由来分化細胞を用いたSARS-CoV-2感染モデルの開発.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

諫田泰成：化学物質のインビトロ発達神経毒性評価—甲状腺ホルモンの影響評価の取り組み.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

高橋華奈子, 中條かおり, 鈴木郁郎*, 佐藤薫：培養ヒトiPS由来神経系細胞において, グルタミン酸トランスポーターEAAT1とEAAT2は, 細胞外グルタミン酸を取り込み, NMDA受容体を介した細胞毒性保護を行っている.

Neuro2022 (2022.7.1)

* 東北工業大学

最上(重本)由香里, 北村(中山)貴美子, 佐藤薫：生後ラットの血液脳関門形成とグリア細胞の関与.

Neuro2022 (2022.7.1)

齋藤桜子*, 長田千尋*, 若林聖士*, 諫田泰成, 砂川陽一*, 森本達也*, 坂本多穂*, 黒川洵子*: 二卵性双生児男女由来iPS細胞の樹立.

第68回日本薬学会東海支部総会・大会 (2022.7.9)

* 静岡県立大学

石田慶士^{*1}, 南川祥輝^{*1}, 辰巳佳乃子^{*1}, 森一馬^{*1}, 松丸大輔^{*1}, 永瀬久光^{*2}, 諫田泰成, 田熊一敵^{*3}, 中西剛^{*1}: 化学物質の発達神経毒性評価の効率化に向けた神経分化トレーサーマウスの有用性検証.

第68回日本薬学会東海支部総会・大会 (2022.7.9)

*¹ 岐阜薬科大学

*² 岐阜医療科学大学

*³ 大阪大学

坂将成^{*1}, 山口賢彦^{*2}, 岩下賢士郎^{*2}, 佐塚文乃, 今井祐太^{*1}, 蟹江慧^{*1}, 諫田泰成, 黒川洵子^{*2}, 加藤竜司^{*1,3}: iPS細胞由来心筋細胞拍動解析における安定な心毒性評価法の開発.

第68回日本薬学会東海支部総会・大会 (2022.7.9)

*¹ 名古屋大学

*² 静岡県立大学

*³ 名古屋大学名大ナノライフシステム研究所

Shigeru Yamada, Yukuto Yasuhiko, Yasunari Kanda: Tributyltin inhibits neural induction via mitochondrial dysfunction in human iPS cells.

第8回メタロミクスに関する国際会議 (2022.7.11)

石田慶士^{*1}, 南川祥輝^{*1}, 辰巳佳乃子^{*1}, 森一馬^{*1}, 松丸大輔^{*1}, 永瀬久光^{*2}, 諫田泰成, 田熊一敵^{*3}, 中西剛^{*1}: 発達神経毒性評価の効率化に向けた*in vivo*神経細胞分化トレーサー系の構築.

第62回日本先天異常学会学術集会 (2022.7.29)

*¹ 岐阜薬科大学

*² 岐阜医療科学大学

*³ 大阪大学

安彦行人, 山田茂, 諫田泰成：多点電極アレイシステム(MEA)を用いたヒトiPS由来神経細胞によるピレスロイド発達神経毒性の評価.

第62回日本先天異常学会学術集会 (2022.7.30)

諫田泰成：新しい医療の実用化を加速するレギュラトリーサイエンス.

生体機能と創薬シンポジウム2022 (2022.8.25)

堀内新一郎, 黒田幸恵, 山崎大樹, 樋口裕一郎^{*1}, 末水洋志^{*1}, 石田誠一^{*2}: *in vitro*における医薬品の薬物性肝障害の評価に向けた各種ヒト肝細胞のシトクローム

P450代謝能と毛細胆管形成能を指標とした特性評価。
第8回次世代を担う若手レギュラトリーサイエンス
フォーラム (2022.8.26)

*¹ 公益財団法人実験動物中央研究所

*² 崇城大学

安彦行人, 石神美和*, 町野諭*, 藤井達也*, 青木政典*,
入江美美*, 吉田緑*, 諫田泰成: 農薬のげっ歯類発がん
性試験結果を例としたベンチマークドーズ法と
NOAEL法の比較。

第8回次世代を担う若手レギュラトリーサイエンス
フォーラム (2022.8.26)

* 食品安全委員会

最上(重本)由香里, 山崎大樹, 石田誠一*, 佐藤薫:
生体模倣システム(MPS)の新規ヒト型*in vitro*医薬品
評価法としての国際標準化に向けたレギュラトリーサイ
エンス(RS)としての取り組み。

第8回次世代を担う若手レギュラトリーサイエンス
フォーラム (2022.8.26)

* 崇城大学

諫田泰成: 甲状腺機能を考慮したインビトロ神経毒性試
験法の開発。

フォーラム2022衛生薬学・環境トキシコロジー (2022.8.30)

山崎大樹: MPSを取り巻く国内外の状況(レギュラト
リーサイエンスの視点から)。

第12回レギュラトリーサイエンス学会学術シンポジウム
(2022.9.10)

Satsuka A, Hayashi S, Yanagida S, Ono A^{*1}, Hayakawa
T^{*2}, Matsukawa H^{*3}, Kanda Y: Contractility
assessment of human iPSC-derived cardiomyocytes
using electrical cell-substrate impedance and imaging-
based cell motion vector systems.

Safety Pharmacology Society Annual Meeting
(2022.9.12)

*¹ Division of Pharmaceutical Sciences, Graduated
School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical
Sciences, Okayama University

*² Juntendo University

*³ Drug safety testing center Co., Ltd.

Yanagida S, Satsuka A, Hayashi S, Ono A^{*}, Kanda Y:
Assessment of BMS-986094-induced chronic
cardiotoxicity using human iPSC cell-derived
cardiomyocytes.

Safety Pharmacology Society Annual Meeting
(2022.9.12)

* Division of Pharmaceutical Sciences, Graduated
School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical
Sciences, Okayama University

Yasunari Kanda: Current status and future
perspectives of toxicity testing using stem cell-derived
3D models.

ICT2022 (2022.9.19)

Naoya Hirata, Yasunari Kanda: Lysophosphatidic acid
induced triple-negative breast cancer stem cells via
TRPC3 channels.

第81回日本癌学会学術総会 (2022.9.30)

山崎大樹: *in vitro*試験法に求められるヒトへの外挿性
について。

CBI学会2022年大会 (2022.10.25)

堀内新一郎, 黒田幸恵, 山崎大樹, 石田誠一*: *in vitro*
胆汁排泄評価系の構築に向けたドナー間における毛細胆
管形成の比較と胆汁排泄能向上のための検討。

動物実験代替法学会 第35回大会 (2022.10.30)

* 崇城大学

辰巳佳乃子^{*1}, 石田慶士^{*1}, 南川祥輝^{*1}, 森一馬^{*1}, 松
丸大輔^{*1}, 永瀬久光^{*2}, 諫田泰成, 田熊一敏^{*3}, 中西剛^{*1}:
化学物質の発達神経毒性評価系としての神経分化トレー
サーマウスの有用性検証。

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合
同学術大会2022 (2022.11.6)

*¹ 岐阜薬科大学

*² 岐阜医療科学大学

*³ 大阪大学

諫田泰成, 安彦行人: インビトロ神経毒性評価法の現状
と課題。

日本動物実験代替法学会第35回大会 (2022.11.20)

Yasunari Kanda: Development of SARS-CoV-2 infection model using human iPSC.

The 21st International Congress of the European Society of Toxicology *In Vitro* (2022.11.23)

Yasunari Kanda, Sae Hayashi, Ayano Satsuka: Development of *in vitro* cardiotoxicity assessment using human iPS cell technology.

The 21st International Congress of the European Society of Toxicology *In Vitro* (2022.11.23)

Yamazaki D, Matsushita K, Tokutake M, Chujo K: Phenotypic analysis in cardiac-specific TRIC-B-deficient mice.

第96回日本薬理学会年会 (2022.11.30)

平田尚也, 堀之内孝広*, 諫田泰成: 加熱式タバコ由来抽出液は肺癌細胞株の癌幹細胞性を促進する.

第96回日本薬理学会年会 (2022.11.30)

* 北海道大学

山田茂, 野田隆政^{*1,2}, 岡部かおり^{*1}, 柳田翔太, 西田基宏^{*3,4}, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来小腸上皮細胞を用いたSARS-CoV-2感染モデルの開発.

第96回日本薬理学会年会 (2022.11.30)

^{*1} (国研) 国立精神・神経医療研究センター

^{*2} 東京慈恵会医科大学

^{*3} 九州大学

^{*4} (国研) 生理学研究所

安彦行人, 山田茂, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた多点電極アレイシステムによるピレスロイド系農薬の神経毒性評価.

第96回日本薬理学会年会 (2022.11.30)

柳田翔太, 佐塚文乃, 林紗代, 小野敦*, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いたEGFRチロシンキナーゼ阻害薬の心毒性評価.

第96回日本薬理学会年会 (2022.11.30)

* 岡山大学

諫田泰成, 吉永貴志^{*1}, 杉山篤^{*2}: 抗がん剤の心毒性リスク.

第96回日本薬理学会年会 (2022.12.2)

^{*1} エーザイ

^{*2} 東邦大学

諫田泰成, 西田基宏*: COVID-19の病態メカニズムに基づく創薬への展開.

第96回日本薬理学会年会 (2022.12.2)

* 九州大学

諫田泰成, 安彦行人: 新たなアプローチによる薬理試験の展開.

第96回日本薬理学会年会 (2022.12.2)

諫田泰成: 創薬におけるビッグデータの現状と今後の課題.

第96回日本薬理学会年会 (2022.12.2)

Satsuka A, Yamada S, Yanagida S, Hayashi S, Asakura H, Nishida M^{*1,2}, Kanda Y: Development of SARS-CoV-2 infection model using human iPSC-derived cardiomyocytes.

24th Japan-Korea Joint Seminar on Pharmacology (2022.12.2)

^{*1} Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University

^{*2} National Institutes of Natural Sciences

佐塚文乃, 林紗代, 柳田翔太, 小野敦*, 諫田泰成: 配向性を有するヒトiPS細胞由来心筋細胞の収縮評価.

第96回日本薬理学会年会 (2022.12.3)

* 岡山大学

林紗代, 佐塚文乃, 柳田翔太, 小野敦*, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いたチロシンキナーゼ阻害薬の毒性評価.

第96回日本薬理学会年会 (2022.12.3)

* 岡山大学

Shigemoto-Mogami Y, Yamazaki D, Ishida S*, Sato K: The standardization study to apply microphysiological systems (MPS) in drug development as humanized pharmacological evaluation systems.

JPW2022 (2022.12.3)

* 崇城大学

Yasunari Kanda: Development of cardiotoxicity testing using iPSC cardiomyocytes.

SAAE-I annual meeting (2022.12.9)

石田慶士, 辰巳佳乃子^{*1}, 南川祥輝^{*1}, 森一馬^{*1}, 松丸大輔^{*1}, 村嶋亜紀^{*2}, 永瀬久光^{*3}, 諫田泰成, 田熊一徹^{*4}, 中西剛^{*1}: Neuronal differentiation reporter mice as a new methodology for detecting *in vivo* developmental neurotoxicity.

*In vivo*イメージングフォーラム2022 (2022.12.13)

^{*1} 岐阜薬科大学

^{*2} 岩手医科大学

^{*3} 岐阜医療科学大学

^{*4} 大阪大学

Yasunari Kanda: Current status and future challenge of developmental neurotoxicity.

3rd Asian Congress for Alternative to Animal Experiment (2022.12.14)

諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞の薬理評価と疾患モデルへの展開.

第32回日本循環薬理学会 (2023.1.27)

Yasunari Kanda: hiPSC-derived neural cells for chemical toxicity evaluation.

Inaugural International Scientific Conference of the SAAT- SL (2023.2.1)

堀内新一郎, 幸田奈々重, 山崎大樹: 安全性薬理試験に向けた三次元組織化された2種類のヒトiPS細胞由来心筋細胞における収縮特性の比較.

日本安全性薬理研究会第14回学術年会 (2023.2.17-18)

Mizuno T*, Yoshikai Y*, Sato K, Kusahara H*: Introduction of works to develop an algorithm to dynamically select reference compound group without arbitrariness.

日本安全性薬理研究会第14回学術年会 (2023.2.17-18)

* The University of Tokyo

諫田泰成: パンデミックの不確実性と創薬.

第35回自然科学研究機構シンポジウム (2023.3.12)

Daiju Yamazaki, Kohei Matsushita, Miki Nonaka*, Mika Tokutake, Kaori Chujo, Nanae Koda, Yasuhito Uezono*, Kumiko Ogawa: Pathophysiological analysis of heart failure in cardiac-specific TRIC-B-deficient mice.

第100回日本生理学会大会 (2023.3.14)

* The Jikei University

松崎典弥^{*1}, Piantino M^{*1}, 佐藤薫, 山本俊輔^{*3}, 岩崎慎治^{*3}, 平林秀樹^{*3}: 抗体医薬の脳輸送を評価可能な*in vitro*ヒト血液脳関門モデルの創製.

第22回日本再生医療学会 (2023.3.24)

^{*1} 大阪大学

^{*2} 武田薬品工業

坂将成^{*1}, 岩下賢士郎^{*2}, 佐塚文乃, 今井祐太^{*1}, 蟹江慧^{*3}, 坂本多穂^{*2}, 諫田泰成, 黒川洵子^{*2}, 加藤竜司^{*1}: iPSC細胞由来心筋細胞拍動解析における安定な心毒性評価法の開発.

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

^{*1} 名古屋大学

^{*2} 静岡県立大学

^{*3} 近畿大学

吉原沙織^{*1}, 佐々木晴江^{*1}, 川崎波留^{*1}, 吉原綾菜^{*1}, 増野弘幸^{*2}, 諫田泰成, 石澤通康^{*3}, 槇島誠^{*3}, 影近弘之^{*2}, 棚谷綾^{*1}: VDR機能の特異的制御を目指したリトコール酸誘導体の3位構造変換.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

^{*1} お茶の水女子大学

^{*2} 東京医科歯科大学

^{*3} 日本大学

加地憲武^{*1}, 渡邊倫^{*1}, 坂本多穂^{*1}, 行方衣由紀^{*2}, 田中光^{*2}, 芦原貴司^{*3}, 諫田泰成, 西田基宏^{*4,5,6}, 渡邊泰秀^{*1}, 黒川洵子^{*1,2}: ヒトiPS細胞由来分化心筋細胞の細胞特性に対する定電圧刺激の影響.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 東邦大学

*³ 滋賀医科大学

*⁴ 九州大学

*⁵ 生命創生探究センター

*⁶ (国研) 生理学研究所

糟谷佐保里^{*1}, 目加田京子^{*1}, 石田慶士^{*1}, 松丸大輔^{*1}, 村嶋亜紀^{*2}, 諫田泰成, 中西剛^{*1}: 母体甲状腺機能低下によって惹起される胎児発生毒性の評価.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

*¹ 岐阜薬科大学

*² 岩手医科大学

柳田翔太, 佐塚文乃, 林紗代, 小野敦*, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた慢性毒性評価法の構築. 日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

* 岡山大学

山崎大樹, 堀内新一郎, 幸田奈々重: 2種類のヒトiPS細胞由来分化心筋細胞を用いた三次元心筋組織による収縮特性の比較.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

安彦行人, 山田茂, 花尻瑠理, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた解離性麻酔剤の神経毒性評価.

日本薬学会第143年会 (2022.3.27)

諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞による抗がん薬心毒性のリスク予測.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

最上(重本)由香里, 北村(中山)貴美子, 降幡知巳^{*1}, 奈良岡準^{*2}, 松崎典弥^{*3}, 山崎大樹, 石田誠一^{*4}, 佐藤薫: 新規ヒト型*in vitro*医薬品評価法としての生体模倣システム(MPS)の開発研究およびレギュラトリーサイエンスの並行的研究アプローチ—Blood brain barrier(BBB) MPSをモデルとして.

日本薬学会第143年会 医療系 (2023.3.28)

*¹ 東京薬科大学

*² 幹細胞協同組合

*³ 大阪大学

*⁴ 崇城大学

最上(重本)由香里, 北村(中山)貴美子, 降幡知巳^{*1}, 奈良岡準^{*2}, 松崎典弥^{*3}, 山崎大樹, 石田誠一^{*4}, 佐藤

薫: 新規ヒト型*in vitro*医薬品評価法としての生体模倣システム(MPS)の開発研究およびレギュラトリーサイエンスの並行的研究アプローチ—Blood brain barrier(BBB) MPSをモデルとして.

日本薬学会第143年会 領域融合セッション (2023.3.28)

*¹ 東京薬科大学

*² 幹細胞協同組合

*³ 大阪大学

*⁴ 崇城大学

森川朋美, 豊田武士, 赤根弘敏, 松下幸平, 小川久美子: ラットを用いたオリゴガラクトン酸の90日間亜慢性反復経口投与毒性試験.

日本食品化学学会第28回総会・学術大会 (2022.5.20)

松下幸平, 豊田武士, 赤根弘敏, 森川朋美, 小川久美子: AKIからCKDへの移行におけるCD44の役割とバイオマーカーとしての応用.

第65回日本腎臓学会学術総会 (2022.6.10)

小川久美子, 西村次平*, 西川秋佳: ICH S1ガイドラインの改定とrasH2-Tgマウス.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30)

* (独) 医薬品医療機器総合機構

小野寺博志: 非臨床試験成績から臨床の安全性を予測する考え方・対応—既存ガイドラインとnewモダリティ—. 第49回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30)

瀧本憲史, 石井雄二, 満元達也, 並木萌香, 高須伸二, 渋谷淳*, 小川久美子: Acetamideが誘発するラット肝細胞における大型小核の形成機序.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30)

* 東京農工大学

相馬明玲*, 石黒聖奈*, 日比大介, 高須伸二, 石井雄二, 梅村隆志*: ラット肝発がん物質フラン投与によるSOX9陽性肝細胞の葉特異的出現.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30)

* ヤマザキ動物看護大学

山下修司*, 小川久美子, 平田岳史*: レーザーアブレーション—単一粒子誘導結合プラズマ質量分析法によるナ

ノ粒子・溶存イオンの定量イメージング分析.
第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

* 東京大学

飯島護丈*, 小野寺博志: 新医薬品承認審査資料の毒性
概要からみた10年間の新添加剤の開発傾向.
第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

* 名古屋市立大学

赤木純一, 水田保子, 赤根弘敏, 豊田武士, 小川久美子:
ナノサイズ酸化チタン (IV) の毒性研究.
第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

石井雄二, 瀧本憲史, 河上強志, 田原麻衣子, 中村賢志,
満元達也, 並木萌香, 高須伸二, 渋谷淳*, 小川久美子:
Acetamideの肝発がん機序に関する検討: 血液及び肝臓
中動態のラット系統差の比較.
第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

赤根弘敏, 豊田武士, 松下幸平, 森川朋美, 小坂忠司*,
田島均*, 青山博昭*, 小川久美子: 甲状腺ホルモン代
謝促進物質投与ラットにおける抗甲状腺作用の検出に対
する病理組織学的及び免疫組織化学的解析と血中ホルモ
ン値との比較.
第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

* (一財) 残留農薬研究所

松下幸平, 豊田武士, 赤根弘敏, 森川朋美, 小川久美子:
アロプリノール誘発腎線維化モデルラットを用いた
CD44の腎線維化バイオマーカーとしての有用性の検証.
第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.1)

豊田武士, 松下幸平, 赤根弘敏, 森川朋美, 小川久美子:
 γ -H2AXを指標とした化学物質の腎発がん性早期検出系
の開発.
第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

小林琢磨^{*1}, 豊田武士, 吉岡泰淳^{*1}, 岸本真治^{*1}, 松下
幸平, 赤根弘敏, 小川久美子, 渡辺賢二^{*1}, 高村岳樹^{*2},
戸塚ゆ加里^{*3}, 若林敬二^{*1}, 三好規之^{*1}: 細胞毒性を有
する*o*-Toluidineと*o*-anisidineの尿中代謝物はラット膀胱
上皮でALDH1A1を誘導する.
がん予防学術大会2022京都 (2022.7.2)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 神奈川工科大学

^{*3} 日本大学

松下幸平, 豊田武士, 赤根弘敏, 森川朋美, 小川久美子:
薬剤性腎障害から慢性腎臓病への移行を予測するバイオ
マーカーの探索.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエ
ンスフォーラム (2022.8.26)

Kobayashi T^{*1}, Toyoda T, Yoshioka Y^{*1}, Murai N^{*1},
Kishimoto S^{*1}, Matsushita K, Yamada T, Ogawa K,
Watanabe K^{*1}, Takamura-Enya T^{*2}, Totsuka Y^{*3},
Wakabayashi K^{*1}, Miyoshi N^{*1}: Cytotoxic metabolites
of *o*-toluidine and *o*-anisidine induce ALDH1A1 in rat
bladder epithelium.

13th International Conference on Environmental
Mutagen (2022.8.30)

^{*1} University of Shizuoka

^{*2} Kanagawa Institute of Technology

^{*3} Nihon University

石井雄二: 病理学から見た化学物質安全性評価における
イメージング質量分析の有用性.
第47回日本医用マスペクトル学会 (2022.9.10)

赤木純一, 豊田武士, 小川久美子: γ -H2AXとの組み合
わせによる肝発癌物質検出のためのバイオマーカーとし
てのEpCAMおよびアミノペプチダーゼNの有用性.
第81回日本癌学会学術総会 (2022.9.29)

豊田武士, 赤根弘敏, 小川久美子: 化学物質誘発ラット
膀胱腫瘍の発生過程における γ -H2AXの役割.
第81回日本癌学会学術総会 (2022.9.29)

赤根弘敏, 豊田武士, 小川久美子: ラットを用いた病理
組織学的及び免疫組織化学的手法による抗甲状腺物質の
検出.
第81回日本癌学会学術総会 (2022.9.29)

増田寛喜^{*1}, 豊田武士, 宮下知治^{*2}, 吉田寛^{*1}, 瀬戸泰
之^{*3}, 野村幸世^{*3}: ラット外科的逆流モデルにおけるバ
レット食道に対するMEKインヒビターの治療効果の検
討.
第81回日本癌学会学術総会 (2022.9.29)

*¹ 日本医科大学

*² 金沢医科大学

*³ 東京大学

Ogawa K: Further facts from orally exposed nanomaterials.

Global Summit on Regulatory Science 2022 (2022.10.20)

赤木純一, 水田保子, 赤根弘敏, 豊田武士, 小川久美子:
ナノサイズ二酸化チタンの90日間反復経口投与毒性.
第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.1)

赤木純一, 横井雅幸^{*1}, 曹永晩, 花岡文雄^{*2}, 菅澤薫^{*1},
岩井成憲^{*3}, 小川久美子: Ring-opened N7-deoxyguanosine adduct of glycidamide induces DNA replication inhibition and mutagenesis.

第49回国際核酸化学シンポジウム (2022.11.3)

*¹ 神戸大学

*² 国立遺伝学研究所

*³ 大阪大学

増田寛喜^{*1}, 豊田武士, 宮下知治^{*2}, 吉田寛^{*1}, 瀬戸泰之^{*3}, 野村幸世^{*3}: ラット外科的逆流モデルにおけるパレット食道に対するMEKインヒビターの治療効果の検討.

第33回日本消化器癌発生学会総会 (2022.11.11)

*¹ 日本医科大学

*² 金沢医科大学

*³ 東京大学

瀧本憲史, 石井雄二, 満元達也, 並木萌香, 高須伸二, 渋谷淳*, 小川久美子: ラット肝細胞におけるAcetamideの大型小核誘発機序に関する研究.

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.15)

* 東京農工大学

日比大介, 高須伸二, 石井雄二, 梅村隆志*: フランのラット肝発がん薬特異性に着目した変異原性評価.
日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.15)

* ヤマザキ動物看護大学

満元達也, 石井雄二, 瀧本憲史, 高須伸二, 並木萌香, 梅村隆志*, 能美健彦, 小川久美子: アカネ色素のラッ

ト腎臓における部位特異的な腫瘍形成の機序.

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.15)

* ヤマザキ動物看護大学

石井雄二, 中村賢志, 高須伸二, 瀧本憲史, 満元達也, 並木萌香, 小川久美子: 全ゲノム解析から明らかになったacetamideのラット肝腫瘍形成におけるがん遺伝子c-Mycの関与.

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.15)

石井雄二, 瀧本憲史, 中村賢志, 満元達也, 高須伸二, 小川久美子: アセトアミドのラット肝発がん機序に関する研究.

第35回発癌病理研究会 (2022.11.28-29)

松下幸平, 豊田武士, 赤根弘敏, 森川朋美, 小川久美子: 薬剤性腎障害の慢性化病変におけるCD44陽性尿細管の病態生理学的意義.

第5回医薬品毒性機序研究会 (2022.12.8)

小川久美子, 長野嘉介^{*1}, 小島肇, 福島昭治^{*2}, 西川秋佳: 鼻腔発がんの機序について—AOP的考え方.

第5回医薬品毒性機序研究会 (2022.12.9)

*¹ 長野毒性病理コンサルティング

*² (社) 化学物資安全性評価研究推進機構

水田保子, 赤木純一, 赤根弘敏, 松下幸平, 豊田武士, 小川久美子: デキストラン硫酸ナトリウム誘発ラット腸炎モデルにおけるナノポリスチレンの28日間反復経口投与毒性試験.

第39回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2023.1.25)

高須伸二, 石井雄二, 瀧本憲史, 満元達也, 相馬明玲, 能美健彦, 小川久美子: *gpt delta*ラットを用いた肝中期試験法による6-methoxyquinolineの*in vivo*遺伝毒性・発がん性の評価.

第39回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2023.1.25)

石井雄二, 瀧本憲史, 並木萌香, 高須伸二, 満元達也, 渋谷淳*, 小川久美子: Acetamide投与ラットの肝臓に生じる大型小核の形成機序.

第39回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2023.1.25)

* 東京農工大学

満元達也, 石井雄二, 瀧本憲史, 並木萌香, 高須伸二, 梅村隆志*, 能美健彦, 小川久美子: *gpt delta* ラットを用いた包括的毒性試験による 2-isopropyl-N-2,3-trimethyl buthylamide (ITB) の評価.

第39回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2023.1.25)

* ヤマザキ動物看護大学

松下幸平, 豊田武士, 赤根弘敏, 森川朋美, 小川久美子: 腎線維化における部分的上皮間葉転換の生じた尿細管の役割とCD44との関連.

第39回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2023.1.25)

豊田武士, 松下幸平, 赤根弘敏, 森川朋美, 小川久美子: γ -H2AX免疫染色を指標とした腎発がん性の短期評価法開発.

第39回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2023.1.25)

赤根弘敏, 豊田武士, 松下幸平, 森川朋美, 小坂忠司*, 田島均*, 青山博昭*, 小川久美子: ヨウ素取込み阻害剤によるラット抗甲状腺作用の検出指標としての病理組織学的及び免疫組織化学的解析と血中ホルモン値の比較.

第39回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2023.1.25)

* (一財) 残留農薬研究所

赤木純一, 水田保子, 赤根弘敏, 豊田武士, 小川久美子: ナノサイズ酸化チタンの90日間反復経口投与による毒性研究.

第39回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2023.1.25)

佐藤順子^{*1}, 藤原利久^{*2}, 飯田麻里^{*3}, 小川久美子, 甲斐清徳^{*4}, 柿本恒知^{*5}, 神鳥仁志^{*6}, 仲辻俊二^{*7}, 畠山洋文^{*8}, 岩田聖^{*9}: げっ歯類一般毒性試験常用所見集及びげっ歯類発がん性試験常用所見集 - JSTP国際用語委員会によるCommon Finding Listの公表.

第39回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2023.1.25)

^{*1} (株) LSIM安全科学研究所

^{*2} (株) 新日本科学

^{*3} University of Wisconsin-Madison

^{*4} (株) 第一三共

^{*5} (株) ボゾリサーチセンター

^{*6} (株) Axcelead Drug Discovery Partners

^{*7} (株) Altasciences Preclinical Seattle

^{*8} (株) イナリサーチ

^{*9} (株) ルナパス毒性病理研究所

瀧本憲史, 石井雄二, 中村賢志, 並木萌香, 高須伸二, 満元達也, 渋谷淳*, 小川久美子: アセトアミドのラット肝発がん機序におけるchromoanagenesisの関与の可能性.

第39回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2023.1.26)

* 東京農工大学

小林琢磨^{*1}, 豊田武士, 吉岡泰淳^{*1}, 渡邊正悟^{*1}, 岸本真治^{*1}, 松下幸平, 赤根弘敏, 小川久美子, 渡辺賢二^{*1}, 高村岳樹^{*2}, 戸塚ゆ加里^{*3}, 若林敬二^{*1}, 三好規之^{*1}: 単環芳香族アミンの新規尿中代謝物はラット膀胱上皮におけるALDH1A1の発現を誘導する.

日本農芸化学会2023年度大会 (2023.3.14)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 神奈川工科大学

^{*3} 日本大学

Akane H, Toyoda T, Matsushita K, Morikawa T, Kosaka T*, Tajima H*, Aoyama H*, Ogawa K: Comparison of sensitivity between histopathological and immunohistochemical analyses and blood hormone levels for early detection of antithyroid effects in rats treated with thyroid peroxidase inhibitors and promoters of thyroid hormone metabolism.

62nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2023.3.20)

* Institute of Environmental Toxicology

Toyoda T, Yamada T, Matsushita K, Akane H, Morikawa T, Ogawa K: Early detection of urinary bladder carcinogens in rats by immunohistochemistry for γ -H2AX.

62nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2023.3.21)

Ogawa K, Akagi J, Mizuta Y, Akane H, Toyoda T: Oral toxicological study of titanium dioxide nanoparticles with a crystallite diameter of 6 nm in rats.

62nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2023.3.22)

石井雄二, 中村賢志, 瀧本憲史, 高須伸二, 満元達也,

小川久美子：Acetamideが誘発する肝細胞質内封入体の意義と肝発がんへの関与。

日本薬学会第143年会 (2023.3.26)

松下幸平：薬剤性腎障害の可逆性を予測する新規バイオマーカーの探索。

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

赤木純一, 水田保子, 赤根弘敏, 豊田武士, 小川久美子：結晶子径 6 nm の超微小粒子径アナターゼ型二酸化チタンナノ粒子の反復経口投与毒性。

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

古濱彩子, 杉山圭一, 本間正充：大規模変異原性データを用いた第二回Ames/QSAR国際チャレンジプロジェクト。

構造活性相関フォーラム2022 (2022.6.3)

杉山圭一：ゲノム不安定性から見た食品の安全性。

第42回日本食品・機械研究会年次大会 (2022.6.22)

古濱彩子, 清家伸康^{*1}, 小野敦^{*2}：農薬およびその代謝物等に対する変異原性Ames インシリコ評価 その2。

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

^{*1} 農業環境技術研究所

^{*2} 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

Furuhama A, Sugiyama K, Honma M: Overview of Outcomes of 2nd Ames/QSAR Project.

13th International Conference on Environmental Mutagens and 53rd Annual Meeting of The Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2022.8.27)

Horibata K, Sugiyama K: Detection of Genotoxic Reactions Through Directly Analyzing DNA Damage Responses on Chromatin Fraction.

13th International Conference on Environmental Mutagens and 53rd Annual Meeting of The Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2022.8.27)

Morita T^{*}, Furuham A, Sugiyama K: Contraception of Genotoxic Pharmaceuticals in Japanese Market.

13th International Conference on Environmental

Mutagens and 53rd Annual Meeting of The Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2022.8.29)

^{*} National Institute of Technology and Evaluation

Ono A^{*1}, Furuham A, Seike N^{*2}: Evaluation of *in silico* method for Ames mutagenicity of pesticides and their metabolites.

IUTOX XVIth International Congress of Toxicology (ITC2022) (2022.9.18)

^{*1} Okayama University, Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences

^{*2} National Agriculture and Food Research Organization

Grúz P, Yasui M, Ukai A, Horibata K, Honma M, Sugiyama K: Potent mutagenicity of azidoglycerol in human TK6 cells.

7th Asian Conference on Environmental Mutagens and the 19th Conference of Chinese Environmental Mutagen Society (2022.11.5)

清水雅富^{*1}, 台蔵彩子^{*2}, 川田憲一^{*1}, グルーズピーター：1 年齢マウスにおける食事性脂肪酸が脂質酸化ストレスに与える影響。

第95回日本生化学会大会 (2022.11.9)

^{*1} 東京医療保健大医療栄養学科

^{*2} 聖徳大学人間栄養学科

堀端克良, 木本崇文^{*}：Pig-a アッセイ。

哺乳動物試験研究会第81回定例会 (2022.11.14)

^{*} 帝人ファーマ (株)

堀端克良, 杉山圭一：クロマチン分画上のDNA損傷応答解析による遺伝毒性反応の検出。

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.15)

古濱彩子, 杉山圭一, 本間正充：15物質の芳香族並びに環状N-ニトロソ化合物のAmes変異原性の探求。

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.15)

グルーズピーター, 清水雅富^{*1}, 台蔵彩子^{*2}, 川田憲一^{*1}, 山田雅巳^{*3}, 本間正充, 堀端克良, 杉山圭一：エ

テノ-DNA損傷の原因としての食餌由来の脂質.
日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.15)

*¹ 東京医療保健大医療栄養学科

*² 聖徳大学人間栄養学科

*³ 防衛大学校

黛結衣子^{*1}, 高藤賢^{*1}, 立川明日香^{*1}, 中谷一真^{*2}, 安井学, 本間正充, 杉山圭一, 菅澤薫^{*3}, 浦聖恵^{*1}, 佐々彰^{*1}: ゲノム中リボヌクレオチドの蓄積が誘発するDNA二本鎖切断の修復機構.

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.15)

*¹ 千葉大学大学院融合理工学府

*² 千葉大学大学院医学薬学府

*³ 神戸大学バイオシグナル総合研究センター

安井学, 鶴飼明子, 足立淳*, 鈴木孝昌, 杉山圭一: Data Independent Acquisition法によるトキシコプロテオミクスの統合型*in vitro*遺伝毒性試験の試みと問題点.
日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.16)

* 医薬基盤・健康・栄養研究所

竹入章^{*1}, 和田直子^{*1}, 本山茂記^{*1}, 田中美咲^{*1}, 田中健司^{*1}, 松崎香織^{*1}, 松尾沙織里^{*1}, 藤井悦子^{*1}, 三島雅之^{*1}, 寺社下浩一^{*2}, グルーズピーター, 増村健一, 能美健彦, 杉山圭一, 本間正充: DNA polymerase kappa不活性化マウスにおいてmitomycin Cによって誘発される γ H2AXの免疫組織学的解析.

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.16)

*¹ 中外製薬 (株)

*² (株) 中外医科学研究所

北村蒼史*, 山田治人*, 高藤賢*, 小田切瑞基*, 安井学, 本間正充, 杉山圭一, 浦聖恵*, 佐々彰*: クロマチン構造変化を検出可能なエピ遺伝毒性試験法の開発.

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.16)

* 千葉大学大学院融合理工学府

高藤賢^{*1}, 岩崎滉^{*1}, 黛結衣子^{*1}, 立川明日香^{*1}, 中谷一真^{*2}, 安井学, 本間正充, 杉山圭一, 藤木亮次^{*3}, 金田篤志^{*3}, 菅澤薫^{*4}, 浦聖恵^{*1}, 佐々彰^{*1}: DNA修復欠損による自然免疫惹起の分子メカニズムの解明.

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.16)

*¹ 千葉大学大学院融合理工学府

*² 千葉大学大学院医学薬学府

*³ 千葉大学大学院医学研究院

*⁴ 神戸大学バイオシグナル総合研究センター

岩崎滉^{*1}, 東條あかり^{*1}, 安井学, 本間正充, 上村慶高^{*2}, 孫継英^{*2}, 田代聡^{*2}, 佐々彰^{*1}, 浦聖恵^{*1}: DNA二本鎖切断修復におけるNSD2の機能解析.
第40回染色体ワークショップ・第21回核ダイナミクス研究会 (2022.12.21)

*¹ 千葉大学大学院融合理工学府

*² 広島大学原爆放射線医科学研究所

小島肇: 食品添加物としてのカフェインの次世代リスク評価の事例報告.

日本薬学会第143年会 (2023.3.28)

大野彰子, 西田明日香^{*1}, 飯島一智^{*2}, 足利太可雄: 様々なナノマテリアルを用いたTHP-1細胞の活性化に伴う指標の有効性評価.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

*¹ 横浜国立大学大学院理工工学府

*² 横浜国立大学大学院工学研究院

田邊思帆里, Sabina Quader^{*1}, 小野竜一, Horacio Cabral^{*2}, 青柳一彦^{*3}, 広瀬明彦, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*3}: コロナウイルス病態パスウェイとEIF2シグナリングの関連について.

日本薬学会第143年会 (2023.3.27)

*¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*² 東京大学大学院工学系研究科

*³ 国立がん研究センター研究所

*⁴ 神戸大学大学院医学研究科

田邊思帆里, Sabina Quader^{*1}, 小野竜一, Horacio Cabral^{*2}, 青柳一彦^{*3}, 広瀬明彦, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*3}: がん幹細胞分子ネットワークにおける微小環境RNA制御.

第22回日本再生医療学会総会 (2023.3.24)

*¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*² 東京大学大学院工学系研究科

*³ 国立がん研究センター研究所

*4 神戸大学大学院医学研究科

Ashikaga T, Ohno A, Nishida A^{*1}, Iijima K^{*2}: Development of toxicity evaluation method for nanomaterials using activation of THP-1 cell as an index.

SOT 62nd Annual Meeting (2023.3.22)

^{*1} Graduate School of Engineering Science, Yokohama National University

^{*2} Faculty of Engineering, Yokohama National University

Yamada T, Meiseki Y, Watanabe-Matsumoto S, Yamamoto S, Katsutani N, Yoshida K: Constructing a database of parameters for physiologically based kinetic modeling to predict toxicokinetics of inhalation exposure to industrial chemicals.

SOT 62nd Annual Meeting (2023.3.21)

Reinke EN^{*1}, Corsini E^{*2}, Ono A^{*3}, Fukuyama T^{*4}, Ashikaga T, Gerberick GF^{*5}: Peer Review Report of the EpiSensA Skin Sensitization Assay.

SOT 62nd Annual Meeting (2023.3.21)

^{*1} Inotiv, RTP, USA

^{*2} Università degli Studi di Milano, Italy

^{*3} Okayama University

^{*4} Azabu University

^{*5} GF3 Consultancy, West Chester, USA

Ashikaga T: Exploration of the MAT in Japan. EDQM-EPAA Pyrogenicity Event (2023.2.14)

Tanabe S, Kim YJ^{*1}, Paini A^{*2}, Mayasich S^{*3}, Amorim MJ^{*4}, Parissis N^{*2}, Nymark P^{*5}, Martens M^{*6}, Jacobson D^{*7}, Gavins FNE^{*8}, Margiotta-Casaluci L^{*9}, Halappanavar S^{*10}, Garcia-Reyero N^{*11}, Edwards SW^{*12}, Ram R^{*13}, Layton A^{*14}, Landesmann B^{*2}, Yepiskoposyan H^{*15}, Sund J^{*2}, Wittwehr C^{*2}, Clerbaux L-A^{*2}: The development of AOP379 "Binding to ACE2 leading to thrombosis and disseminated intravascular coagulation."

CIAO (Modelling the Pathogenesis of COVID-19 using the Adverse Outcome Pathway framework) Final online Workshop (2023.2.8)

^{*1} Korea Institute of Science and Technology Europe Forschungsgesellschaft mbH, Germany

^{*2} European Commission, Joint Research Centre, Italy

^{*3} University of Wisconsin-Madison Aquatic Sciences Center at US EPA, USA

^{*4} Instituto Gulbenkian de Ciência, Portugal

^{*5} Institute of Environmental Medicine, Karolinska Institutet, Sweden

^{*6} Department of Bioinformatics - BiGCaT, NUTRIM, Maastricht University, The Netherlands

^{*7} Biosciences, Oak Ridge National Laboratory, Oak Ridge, TN, USA

^{*8} The Centre for Inflammation Research and Translational Medicine (CIRTM), Brunel University London, UK

^{*9} King's College London, London, UK

^{*10} Environmental Health Science and Research Bureau, Health Canada, Canada

^{*11} US Army Engineer Research and Development Center, USA

^{*12} RTI International, USA

^{*13} Safer Medicines Trust, United Kingdom

^{*14} US Consumer Product Safety Commission, USA

^{*15} Philip Morris International, Switzerland

田邊思帆里：薬剤応答性判別のためのがん組織アーキテクトニクス分子ネットワーク解析モデリング。第1回がんアーキテクトニクス公開シンポジウム (2022.12.20)

Wittwehr C^{*1}, Landesmann B^{*1}, Villeneuve D^{*2}, Angrish M^{*2}, O'Brien J^{*3}, Meek B^{*4}, Carusi A^{*5}, Tanabe S, Hench G^{*6}, Edwards S^{*6}, Delrue N^{*7}: Recent improvements and future challenges for the Adverse Outcome Pathway (AOP) framework and the AOP-Wiki.

OECD Webinar Series on Testing and Assessment Methodologies (2022.12.14)

^{*1} European Commission, Joint Research Centre, Italy

^{*2} US EPA, USA

^{*3} Environment and Climate Change Canada, Canada

^{*4} University of Ottawa, Ottawa, ON, Canada

^{*5} Interchange Research, UK

^{*6} RTI International, USA

^{*7} Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD), France

田邊思帆里：OECDにおけるAOP開発とその理解。
第5回医薬品毒性機序研究会（2022.12.9）

Kojima H: JaCVAM activities for motivating the Indian Scientists.

5th Annual Conference of SAAE-India（2022.12.9）

田邊思帆里，カデール サビーナ^{*1}，小野竜一，カブラル オラシオ^{*2}，青柳一彦^{*3}，広瀬明彦，横崎宏^{*4}，佐々木博己^{*3}：コロナウィルス病態パスウェイのmicroRNAネットワークと治療ターゲット予測。

第96回日本薬理学会年会／第43回日本臨床薬理学会学術総会（2022.12.2）

^{*1} ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）

^{*2} 東京大学大学院工学系研究科

^{*3} 国立がん研究センター研究所

^{*4} 神戸大学大学院医学研究科

小島肇：Computational Toxicologyの利用の実際と将来展望。

第96回日本薬理学会年会（2022.11.30）

山田隆志：次世代リスクアセスメント（NGRA）のケーススタディの開発と行政受入へ向けた考慮事項。

日本動物実験代替法学会第35回大会（2022.11.20）

山田隆志，辻井伸治，三浦稔，齊藤亮子，川村智子，丸山多恵子，勝谷成男，広瀬明彦：IATAによる化学物質の神経毒性評価を補完する*in silico*アプローチ：神経毒性に関連する部分構造と物理化学的および生化学的パラメータを用いたカテゴリーの精緻化。

日本動物実験代替法学会第35回大会（2022.11.19）

西田明日香^{*1}，足利太可雄，大野彰子，飯島一智^{*2}：ヒト気管支上皮細胞／THP-1細胞共培養系によるナノマテリアルの吸入毒性評価法の開発。

日本動物実験代替法学会第35回大会（2022.11.19）

^{*1} 横浜国立大学大学院理工学府

^{*2} 横浜国立大学大学院工学研究院

伊藤潤^{*}，安部賀央里^{*}，足利太可雄，頭金正博^{*}：化学構造情報からヒトの皮膚感作性を予測する機械学習モデルの開発。

日本動物実験代替法学会第35回大会（2022.11.19）

^{*} 名古屋市立大学大学院薬学研究科

荒井りおん^{*1}，足利太可雄，大野彰子，飯島一智^{*1}：h-CLAT を用いたナノマテリアルのアジュバント効果の評価とメカニズムの解析。

日本動物実験代替法学会第35回大会（2022.11.19）

^{*1} 横浜国立大学大学院理工学部

^{*2} 横浜国立大学大学院工学研究院

飯島一智^{*1}，鈴木美穂^{*2}，山城真輝^{*3}，大野彰子，足利太可雄：THP-1細胞を用いたナノマテリアルの抗原提示細胞活性化能評価における新規指標の探索。

日本動物実験代替法学会第35回大会（2022.11.19）

^{*1} 横浜国立大学大学院工学研究院

^{*2} 横浜国立大学大学院理工学部

^{*3} 横浜国立大学大学院理工学府

木下啓^{*}，安部賀央里^{*}，足利太可雄，頭金正博^{*}：皮膚感作性評価における*in vitro*試験法の効率化を目指した機械学習モデルの開発。

日本動物実験代替法学会第35回大会（2022.11.19）

^{*} 名古屋市立大学大学院薬学研究科

山城真輝^{*1}，足利太可雄，大野彰子，飯島一智^{*2}：THP-1細胞を用いた二酸化セリウムおよび酸化亜鉛ナノ粒子の免疫毒性の評価。

日本動物実験代替法学会第35回大会（2022.11.19）

^{*1} 横浜国立大学大学院理工学府

^{*2} 横浜国立大学大学院工学研究院

中嶋菜都美^{*1}，山本裕介^{*1}，鰐淵彩花^{*1}，小島肇^{*2}，小野敦^{*3}，松本一彦^{*4}，藤田正晴^{*1}，笠原利彦^{*1}：OECDのDASS化合物セットを対象とした複数の感作性代替法を組み合わせた皮膚感作予測におけるADRAの適用性について。

日本動物実験代替法学会第35回大会（2022.11.19）

^{*1} 富士フイルム株式会社 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター

^{*2} 一般財団法人食品薬品安全センター

^{*3} 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科薬学系

^{*4} 名古屋市立大学大学院医学研究科

鰐淵彩花^{*1}, 藤田正晴^{*1}, 中嶋菜都美^{*1}, 山本裕介^{*1}, 小島肇^{*2}, 小野敦^{*3}, 笠原利彦^{*1}: ADRAによる反応性基を有するポリマーの感作性評価.

日本動物実験代替法学会第35回大会 (2022.11.19)

^{*1} 富士フイルム株式会社 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター

^{*2} 一般財団法人食品薬品安全センター

^{*3} 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科薬学系

増村健一, 安東朋子, 石井雄二, 杉山圭一: *gpt delta* マウスを用いたアクリルアミドの生殖細胞変異原性と次世代個体ゲノム変異の解析.

日本環境変異原ゲノム学会第51回大会 (2022.11.16)

増村健一, 橋本清弘^{*}: 8th IWGT概要報告.

日本環境変異原ゲノム学会・MMS研究会第81回定例会 (2022.11.14)

^{*} 武田薬品工業

Dumont AF^{*1}, Fernandez EN^{*1}, Koning F^{*2}, Moreno J^{*3}, Tanabe S: Adverse Outcome Pathways (AOPs) for celiac disease towards next generation risk assessment of innovative proteins.

ISMA-RHINA Digital 2022 (International Symposium on Molecular Allergology and the European Rhinallergy Meeting) (2022.11.5)

^{*1} European Food Safety Authority, Parma, Italy

^{*2} Medical University of Leiden, The Netherlands

^{*3} CIAL (CSIC-UAM), Madrid, Spain

菅谷なえ子^{*}, 井上薫, 田原麻衣子, 河上強志: 家庭用品規制法におけるエアゾール製品中塩化ビニルモノマー試験法の検討.

第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31-11.1)

^{*} 横浜市衛生研究所

Yamada T, Tsujii S, Miura M, Saito A, Kawamura T, Maruyama T, Katsutani N, Hirose A: *In silico* approach that supports neurotoxicity assessment of chemical substances by IATA: Refining categories by using substructures and physicochemical and biochemical parameters related to neurotoxicity.

11th Annual Meeting of the American Society for

Cellular and Computational Toxicology (2022.10.20)

田邊思帆里, カデル サビーナ^{*1}, 小野竜一, カブラル オラシオ^{*2}, 青柳一彦^{*3}, 広瀬明彦, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*3}: 金属製剤による上皮間葉転換関連分子ネットワーク.

第81回日本癌学会学術総会 (2022.10.1)

^{*1} ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

^{*2} 東京大学大学院工学系研究科

^{*3} 国立がん研究センター研究所

^{*4} 神戸大学大学院医学研究科

Tanabe S, Quader S^{*1}, Ono R, Cabral H^{*2}, Aoyagi K^{*3}, Hirose A, Yokozaki H^{*4}, Sasaki H^{*3}: Molecular network pathway analysis of arsenic and cisplatin in cancer.

ICT2022 The XVIth International Congress of Toxicology (2022.9.20)

^{*1} Innovation Centre of NanoMedicine (iCONM)

^{*2} University of Tokyo

^{*3} National Cancer Center Research Institute

^{*4} Kobe University of Graduate School of Medicine

Matsumoto M, Murata Y, Hirose N, Iso T, Shigeta Y, Umamo T, Hirose A: Derivation of a target value of 1,3-butadiene, a possible contaminant, in drinking water.

ICT/EUROTOX2022 (2022.9.20)

増村健一: マウス雄性生殖細胞に誘発された点突然変異と次世代個体の*de novo*突然変異の解析.

日本放射線影響学会第65回大会 (2022.9.17)

足利太可雄, 大野彰子, 西田明日香^{*1}, 飯島一智^{*2}: 皮膚感作性物質あるいは発熱性物質とナノシリカの混合曝露によるTHP-1細胞の活性化に関する研究.

第29回日本免疫毒性学会学術年会 (2022.9.12)

^{*1} 横浜国立大学大学院理工学府

^{*2} 横浜国立大学大学院工学研究院

田邊思帆里, Villeneuve D^{*1}, Perkins E^{*2}, Filipovska J^{*3}, FitzGerald R^{*4}, Halappanavar S^{*5}, O'Brien J^{*6}, Landesmann B^{*7}, Terron A^{*8}, La Rocca C^{*9}, LaLone C^{*1}, Tcheremenskaia O^{*9}, Burgdorf T^{*10}, Choi J^{*10}, Viviani B^{*11}, Tollefsen KE^{*12, 13, 14}, Sachana M^{*15}, Delrue

N^{*15}, Song Y^{*12}, Scholz S^{*10}, Yauk C^{*16}, Luijten M^{*17} : 経済協力開発機構 (OECD) における健康影響評価有害性発現経路 (AOP) の開発及びコーチング状況並びに AOP関連国際共同研究について.

第12回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2022.9.9)

-
- ^{*1} Great Lakes Toxicology and Ecology Division, US EPA, United States
^{*2} Environmental Laboratory, US Army Engineer Research and Development Center, United States
^{*3} Independent, North Macedonia
^{*4} Universities of Basel and Geneva, Switzerland
^{*5} Environmental Health Science and Research Bureau, Health Canada, Canada
^{*6} Wildlife Toxicology Research Section, Environment and Climate Change Canada, Toronto, Canada
^{*7} European Commission Joint Research Centre (JRC), Ispra, Italy
^{*8} EFSA Europe, Italy
^{*9} Istituto Superiore Di Sanità (ISS), Italy
^{*10} German Federal Institute for Risk Assessment (BfR), Germany
^{*11} DiSFeB, University of Milan, Italy
^{*12} Norwegian Institute for Water Research (NIVA), Norway
^{*13} Norwegian University of Life Sciences (NMBU), Norway
^{*14} Centre for Environmental Radioactivity (CERAD) Norway
^{*15} Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD), France
^{*16} University of Ottawa, Canada
^{*17} National Institute of Public Health and the Environment (RIVM), Netherland

Tanabe S, Villeneuve D^{*1}, Perkins E^{*2}, Filipovska J^{*3}, FitzGerald R^{*4}, Halappanavar S^{*5}, O'Brien J^{*6}, Landesmann B^{*7}, Terron A^{*8}, La Rocca C^{*9}, LaLone C^{*1}, Tcheremenskaia O^{*9}, Burgdorf T^{*10}, Choi J^{*10}, Viviani B^{*11}, Tollefsen KE^{*12, 13, 14}, Sachana M^{*15}, Delrue N^{*15}, Song Y^{*12}, Scholz S^{*10}, Yauk C^{*16}, Luijten M^{*17}: International collaboration in coaching the development of Adverse Outcome Pathways (AOPs) in OECD. SETAC Asia-Pacific 2022 (2022.9.5)

-
- ^{*1} Great Lakes Toxicology and Ecology Division, US EPA, United States

- ^{*2} Environmental Laboratory, US Army Engineer Research and Development Center, United States
^{*3} Independent, North Macedonia
^{*4} Universities of Basel and Geneva, Switzerland
^{*5} Environmental Health Science and Research Bureau, Health Canada, Canada
^{*6} Wildlife Toxicology Research Section, Environment and Climate Change Canada, Canada
^{*7} European Commission Joint Research Centre (JRC), Italy
^{*8} EFSA Europe, Italy
^{*9} Istituto Superiore Di Sanità (ISS), Italy
^{*10} German Federal Institute for Risk Assessment (BfR), Germany
^{*11} DiSFeB, University of Milan, Italy
^{*12} Norwegian Institute for Water Research (NIVA), Norway
^{*13} Norwegian University of Life Sciences (NMBU), Norway
^{*14} Centre for Environmental Radioactivity (CERAD) Norway
^{*15} Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD), France
^{*16} University of Ottawa, Canada
^{*17} National Institute of Public Health and the Environment (RIVM), Netherland

Masumura K: Mutagenicity in germ cells and *de novo* mutations in the offspring.

The 13th International Conference on Environmental Mutagens (ICEM) and the 53rd Annual Meeting of the Environmental Mutagenesis and Genomics Society (EMGS) (2022.8.30)

木下啓*, 安部賀央里*, 足利太可雄, 頭金正博*: 皮膚感作性の*in vitro*試験法であるKeratiNoSensTMの結果を予測する機械学習モデルの構築.

第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

* 名古屋市立大学大学院薬学研究科

Ohno A, Nishida A^{*1}, Iijima K^{*2}, Hirose A, Ashikaga T: *in silico* elucidation of physicochemical properties factor on activation of THP-1 cells of TiO₂ NP. 264th ACS National Meeting & Exposition (2022.8.22)

*¹ Graduate School of Engineering Science, Yokohama National University

*² Faculty of Engineering, Yokohama National University

Ohno A, Okiyama Y, Hirose A, Fukuhara K*: Effects of the nitro-group on the mutagenicity of nitrated benzo[a]pyrenes.

264th ACS National Meeting & Exposition (2022.8.22)

* Showa University School of Pharmacy

Tanabe S, Quader S*¹, Ono R, Cabral H*², Aoyagi K*³, Hirose A, Perkins EJ*⁴, Yokozaki H*⁵, Sasaki H*³: Regulation of the Epithelial-Mesenchymal Transition in Human Treatment-Resistant Cancer.

The 7th JCA-AACR Special Joint Conference (2022.7.9)

*¹ Innovation Centre of NanoMedicine (iCONM)

*² University of Tokyo

*³ National Cancer Center Research Institute

*⁴ U.S. Army Engineer Research and Development Center, USA

*⁵ Kobe University of Graduate School of Medicine

小島肇：医薬品等の薬効および安全性評価を支える*in vitro*試験の未来。

日本組織培養学会第94回大会 (2022.7.8)

山本直樹*, 平松範子*, 加藤由布*, 西川千恵子*, 横井友香*, 足利太可雄, 小島肇：医薬品の生殖毒性試験代替法に有用なヒト由来iPS細胞レポーター細胞株の作製と評価に関する研究。

日本組織培養学会第94回大会 (2022.7.7)

* 藤田医科大学研究推進本部

田邊思帆里, カデール サビーナ*¹, 小野竜一, カブラル オラシオ*², 青柳一彦*³, 広瀬明彦, エド パーキンス*⁴, 横崎宏*⁵, 佐々木博己*³: 治療抵抗性胃がんに関するAdverse Outcome Pathway (AOP; 有害性発現経路)の開発。

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

*¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*² 東京大学大学院工学系研究科

*³ 国立がん研究センター研究所

*⁴ U.S. Army Engineer Research and Development Center, USA

*⁵ 神戸大学大学院医学研究科

井上薫, 鈴木洋, 橋本清弘*¹, 三島雅之*², 古濱彩子, 杉山圭一, 広瀬明彦: 微量変異原性不純物として検出されたニトロソアミン類の変異原性及び発がん性ポテンシャルに応じた管理のための条件の検索。

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

*¹ 武田薬品工業

*² 中外製薬

牛田和夫, 井上薫, 甲斐薫, 山下ルシア幸子, 鈴木洋, 広瀬明彦: 化審法のリスク評価 (一次) 評価 I での発がん性定量的評価のために求められる変異原性評価のあり方: 閾値の有無に関する再検討。

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

川島明, 井上薫, 牛田和夫, 甲斐薫, 鈴木洋, 山下ルシア幸子, 広瀬明彦: 各評価機関による既存化学物質の有害性評価の違いとその科学的背景について。

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

Murata Y, Iso T, Shigeta Y, Hirose N, Umano T, Horibata K, Masumura K, Sugiyama K, Matsumoto M, Hirose A: The gene mutation test of styrene using the transgenic mouse.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

Matsumoto M, Hirose N, Iso T, Murata Y, Shigeta Y, Umano T, Hirose A: Derivation of a target value of perfluorooctanoic acid in drinking water.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

Iso T, Murata Y, Shigeta Y, Hirose N, Umano T, Horibata K, Masumura K, Sugiyama K, Matsumoto M, Hirose A: Evaluation of the *in vivo* mutagenicity of carbendazim.

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

山田隆志: ヒト用医薬品の環境リスク評価を支援する生態毒性データベースと予測の不確実性を考慮した*in silico*アプローチの開発。

第49回日本毒性学会学術年会 (2022.7.2)

小島肇：3Rsを取り巻く国際動向と課題。
第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.2）

安彦由喜恵*, 榊原隆史*, 越田美*, 立崎陸美*, 古川桂子*, 松浦正男*, 松井豊*, 小島肇：ウシ角膜を用いる混濁度および透過性（BCOP）試験法への病理組織検査組み込みの提案－病理組織検査によるUN GHS予測モデルの構築－。

第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.2）

* 株式会社化合物安全性研究所

大野彰子, 西田明日香^{*1}, 飯島一智^{*2}, 広瀬明彦, 足利太可雄：THP-1細胞への活性化に及ぼす二酸化チタンナノ粒子の物理化学的特性因子。

第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.2）

^{*1} 横浜国立大学大学院理工学府

^{*2} 横浜国立大学大学院工学研究院

山田隆志, 勝谷成男, 丸山多恵子, 村山典恵*, 山崎浩史*, 山添康, 広瀬明彦：ピロリジジナルカロイドの肝毒性評価へのNew Approach Method（NAM）の適用。

第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.1）

* 昭和薬科大学

飯島一智^{*1}, 鈴尾美穂^{*2}, 三浦結美^{*2}, 西田明日香^{*2}, 大野彰子, 足利太可雄：未分化および分化THP-1細胞を用いたナノマテリアルの免疫毒性評価。

第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.1）

^{*1} 横浜国立大学大学院工学研究院

^{*2} 横浜国立大学大学院理工学府

大野彰子, 沖山佳生, 広瀬明彦, 福原潔*：ニトロ多環芳香族炭化水素の変異原性：ニトロ基の付加位置に関する*in silico*解析。

第49回日本毒性学会学術年会（2022.7.1）

* 昭和大学薬学部

勝谷成男, 山田隆志, 村山典恵*, 山崎浩史*, 山添康, 広瀬明彦：食品中に含まれるクマリンの肝毒性リスク評価についての*in silico*アプローチ。

第49回日本毒性学会学術年会（2022.6.30）

* 昭和薬科大学

足利太可雄：THP-1細胞の活性化を指標にしたナノマテリアル（NM）の*in vitro*免疫毒性試験法の開発。

第49回日本毒性学会学術年会（2022.6.30）

村崎亘*, 安部賀央里*, 頭金正博*, 山田隆志, 足利太可雄：機械学習アプローチによる皮膚感作性強度を予測する回帰モデルの開発。

第49回日本毒性学会学術年会（2022.6.30）

* 名古屋市立大学大学院薬学研究科

Kojima H: Approach to New Approach Methods developed by Japan in OECD WNT.

ICCA-LRI Workshop 2022（2022.6.20-21）

増村健一：HESI GTTC annual meeting報告。

日本環境変異原ゲノム学会・MMS研究会第80回定例会（2022.6.17）

松本真理子：新興化学物質の人健康影響に関する講演。
環境化学物質系3学会合同大会招待講演（2022.6.15）

安部賀央里^{*1}, 成田和人^{*2}, 小林陸^{*2}, 立花滋博^{*2}, 村崎亘^{*1}, 鈴木政晴^{*1}, 頭金正博^{*1}, 足利太可雄：機械学習アプローチを用いた*in silico*モデルによるヘアカラー原料の皮膚感作性強度予測。

第47回日本化粧品学会（2022.6.10）

^{*1} 名古屋市立大学大学院薬学研究科

^{*2} 一般社団法人食品薬品安全センター 秦野研究所

小島肇：MPSの標準化のための国際戦略。

第29回HAB研究機構学術年会（2022.5.19）

Tanabe S: ROS-related KEs（KE1940 and 1869）in development of AOPs.

The Mystery of ROS（III）（2022.5.10）

Tanabe S: Linking UN SDGs and COVID-19: The Sustainable Development Goals Report 2021.

The CIAO multi-scale working group 2022 Apr meeting（2022.4.4）